

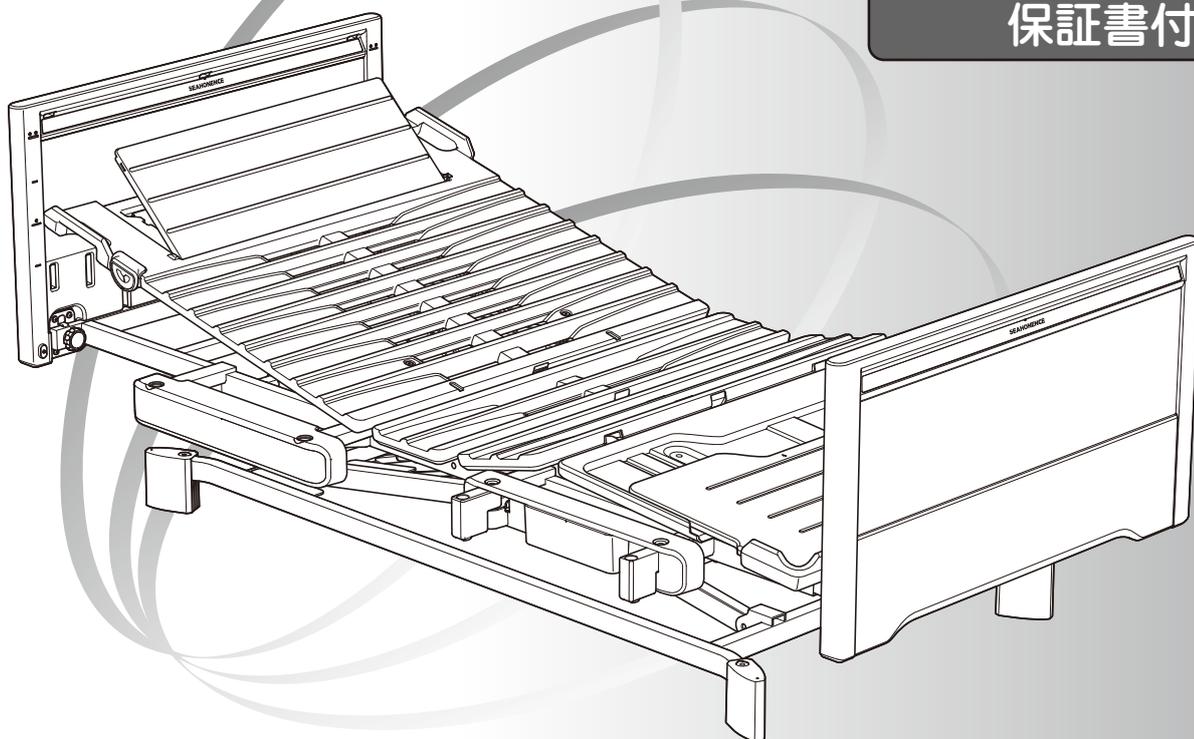
電動在宅介護ベッド

- NX-1 3モーターベッド
- NX-2 2モーターベッド
- NX-B 背上げ1モーターベッド
- NX-H ハイロー1モーターベッド



取扱説明書

保証書付



ベッドを正しくお使いいただくために シーホネンスからのお願い

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書にはご使用上の注意事項や操作方法が記載されています。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになって、正しくお使いください。
- ベッドを使用される方ばかりでなく、付き添いの方にも安全な操作方法を説明してください。
- お読みになった後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または弊社までお問合せください。
- このベッドは日本国内専用です。電源・電圧が異なるため海外では使用できません。



シーホネンス株式会社

ベッドの使用目的・特長

「電動在宅介護ベッド 和夢シリーズ“彩”」は、ベッドを使用する方の動作を助けること、介護する方の介護負担を軽減することを目的として作られたベッドです。

● ベッドには主に次のような特長があります。

1. 電源ボタンと動作ロック機能の採用で誤操作を防止します。

- ◆一定時間(5分)手元スイッチを操作しないときは、電源が自動で切れます。電源が切れた状態で、誤って操作ボタンが押されてもベッドが動くことはありません。
- ◆電源が切れた状態で電源ボタン以外のボタンに触れると、電源ボタンが10秒間点滅します。暗い場所で電源ボタンの位置が確認しやすくなります。
- ◆動作ロック機能により、専用のキーを使用し全ての操作または、高さ操作をロックできます。

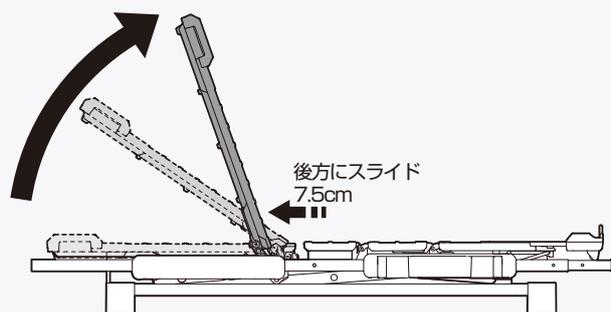
2. 手元スイッチ操作 でベストポジションを自在にコントロールできます。

- ◆NX-2・NX-Bは、ボトム角度を無段階に調節できます。当社独自構造「背上げ脚連動モーション」を搭載。より良い姿勢を保ちながら、身体の前ズレを最小限に抑えて腹部にかかる圧迫も軽減できます。
NX-2は、高さ調節も無段階に調節できます。
- ◆NX-1は、背ボトム、膝ボトムの角度と高さ調節が個別に調節できます。
- ◆NX-Hは、高さ調節を無段階に調節できます。



3. スイングバック機能を採用しています。

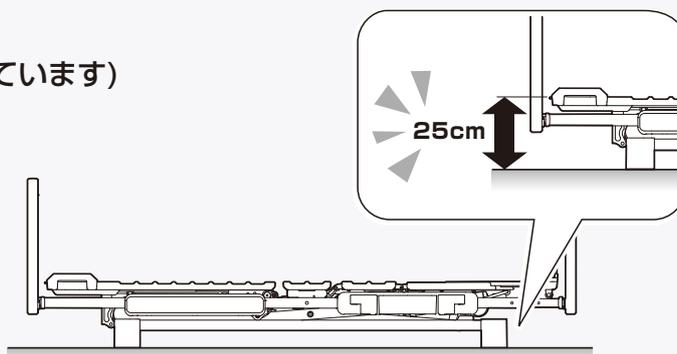
- ◆背上げをする際、背ボトムが背上げ動作に連動して後方にスライドしながら立ち上がるため、身体への負担を軽減し、自然な座位を保つことができます。
(NX-1・NX-2・NX-Bのみ)



4. 低床25cm。

(ゆかからボトム上面までの高さを示しています)

- ◆乗り降りしやすく安定した端座位をとることができます。
- ◆最高床高67.5cm(マットレスを除く)まで上がり、介護する方の腰痛を予防し、介護の負担を軽減します。
(NX-1・NX-2・NX-Hのみ)

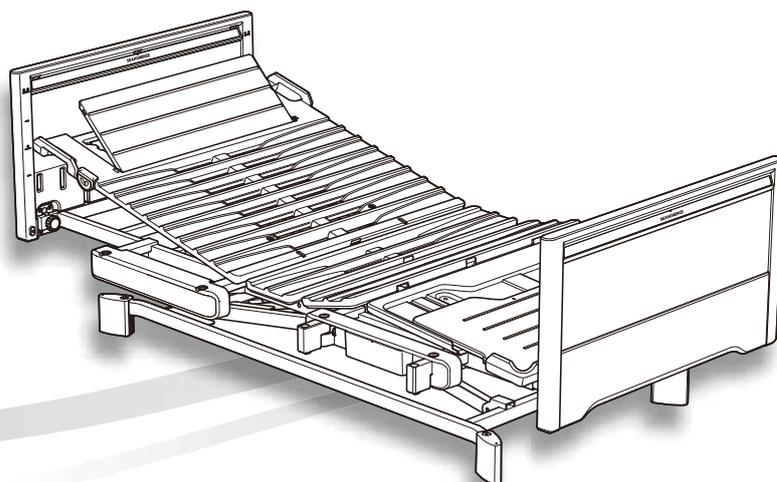


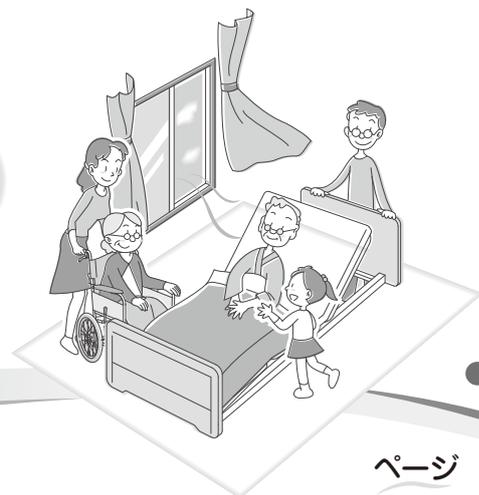
5. 高性能リニアアクチュエーターを採用しています。

- ◆安定して動作する静音・高推力アクチュエーター。
- ◆万一の漏電にも安全な「低電圧DC24Vシステム」。
- ◆電装部は、生活防水仕様で清拭も安心におこなえて衛生的です。

6. 抗菌粉体焼付塗装で安全・衛生的。

- ◆高い抗菌効果を発揮するシーホネンス独自の粉体焼付塗装を施しています。





取扱説明書

もくじ

もくじ内の「利用者さま」のタグが付いた項目は、主にベッドを使われるかた、
 「販売店さま」のタグが付いた項目は、主に販売店さまが対象になります。

		ページ
はじめに	利用者さま	安全にお使いいただくために 1～7
		表示と絵表示について 1
		警告ラベルについて 1
		警告内容について 2
		注意内容について 6
		8
使いかた	利用者さま	操作のしかた 9～16
		電源ボタンと動作ロック機能について 9
		手元スイッチのボタン操作のしかた 10～11
		NX-2・NX-B 背上げ脚連動モーションの切り換えについて 12
		手元スイッチの取り付け位置について 13
		角度計の取り付けについて 13
		コードクランプについて 14
		ヘッドレストについて 15
脚先角度調整について 16		
寝位置の調整	利用者さま	和夢“彩”専用ポジションスケールの活用方法について 17
		ベッドのポジション（寝位置）の調節について 17
設置	販売店さま	設置場所について 18
		開梱と部品の確認 19～20
		ユニット変換について 21～22
		組み立てかた 23～42
		STEP1 脚座の取り付け 23
		STEP2 ボトムの高さ調節 24
		STEP3 リアユニットの取り付け 25～26
		STEP4 リアユニットの調節 27
		STEP5 フロントユニットの取り付け 28～30
		STEP6 スペーサーの取り外し 30
		STEP7 背上げ脚連動モーションユニットの取り付け 31
		STEP8 コード類の接続 32～35
		STEP9 ベッドの動作の確認 36～37
		STEP10 座ボトムの取り付け 37
STEP11 膝・脚ボトムの取り付け 38～39		
STEP12 背ボトムの取り付け 40～41		
STEP13 ヘッドボード・フットボードの取り付け 42～43		
		44

オプション

販売店さま

	ページ
オプション受けの使用方法	45
サイドレール	45~47
サポートグリップ	48
回転式アーム介助バー	49
キャスターセット	50~55
部品の確認	50
取り付けかた	50~51
IV ポールホルダー	52
介護リフト使用時のご注意	53
脚座保護パッド	53
ハイトスペーサー	54
部品の確認	54
取り付けかた	54
ロングボトムユニット	55~56
部品の確認	55
取り付けかた	55~56
後付けフットモータユニット	57~59
部品の確認	57
取り付けかた	57~59
取り外した部品	59
マットレス	60

ベッドの分解

販売店さま

ベッドの分解の前に	61
ベッドの分解のしかた	61~70
STEP1 ヘッドボード・フットボードの取り外し	61
STEP2 背ボトムの取り外し	62
STEP3 膝・脚ボトムの取り外し	63
STEP4 座ボトムの取り外し	63
STEP5 ベッドの高さを一番下まで下げる	64
STEP6 コード類の取り外し	65
STEP7 背上げ脚連動モーションユニットの取り外し	66
STEP8 リアユニットの調節	66~67
STEP9 フロントユニットの取り外し	67~68
STEP10 リアユニットの取り外し	68
STEP11 ボトムの高さ調節	69
STEP12 スペーサーを収納する	70
STEP13 脚座の取り外し（脚座を取り外して保管する場合）	70
付属部品と分解したユニットの保管	71

こんなときは

利用者さま

販売店さま

日常のお手入れ	72
故障かな？と思ったら	72
緊急時の背下げ操作（停電・故障時などの対応）	73~75
セーフティハンドスイッチ(SHS-135)【別売】を使用する方法について	73~74
手動での方法	74
もどしかた	75
保管と移動	76
組み立てた状態で保管する場合	76
組み立てた状態で移動する場合	76
分解して保管または移動する場合	76

仕様	77
----------	----

保証とアフターサービス	裏表紙
-------------------	-----

はじめに

使いかた

寝位置の調整

設置

オプション

分解

こんなときは



はじめに

安全にお使いいただくために

必ずお読み ください

必ずご使用前に『安全にお使いいただくために』をよくお読みになり正しくお使いください。
ベッド本体とオプションを安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためです。

表示と絵表示について

説明書の内容を無視し、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が命にかかわるケガを負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がケガを負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

<絵表示の例>



感電注意

△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図中の中に具体的な注意内容（左の図の場合には『感電注意』）が描かれています。



分解禁止

⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左の図の場合には『分解禁止』）が描かれています。



必ず守る

Ⓛ記号は、必ず実行していただく強制の内容があることを告げるものです。左図は、「必ず守る」を示します。

ベッドのご使用时には、下記の項目の『警告』および『注意』を必ずお読みください。

警告ラベルについて **下記参照**

警告内容について **2～5ページ 参照**

注意内容について **6～7ページ 参照**

警告ラベルについて

ベッドをお使いの方に対して、特に注意していただきたいことをラベルにして、各ユニットなどに貼っています。

警告ラベルは、はがしたり傷をつけたりしないでください。



警告

以下の項目は、全て危険行為ですので必ず守ってください。守らなければ人が生命にかかわるケガを負う可能性が想定されます。

●サイドレールやヘッド・フットボードのすき間に注意する

身体の一部（特に頭や首）がサイドレールと回転式アーム介助バーのすき間、サイドレール・回転式アーム介助バーとヘッド・フットボードや各ボトム・マットレスなどのすき間に入らないように注意してください。

すき間に入った状態でベッドを操作すると、はさまれてケガをするおそれがあります。

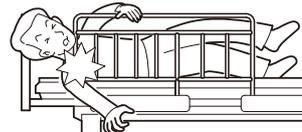
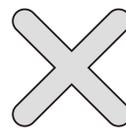


必ず守る

また、すき間にはさまれたり、入ると抜けなくなったりするなどして、ケガをするおそれがあります。

特に予測できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方、自分で危険な状態から回避することができないと思われる方につきましては、十分注意してください。

45 ページ 参照



●サイドレールを使用するときはベッドからの転落に注意する

サイドレールとサイドレール・回転式アーム介助バー、各ボードとサイドレールのすき間から転落してケガをするおそれがあります。また、サイドレールの上から身を乗り出して転落し、ケガをするおそれがあります。

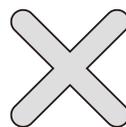
厚みのあるマットレスを使用する場合は、相対的にサイドレールが低くなり、サイドレールを乗り越えやすくなりますのでご注意ください。

ベッドの背ボトムを上げた状態で使用する場合、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。

突起物に衣類などが絡まないように注意してください。特に予測できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方、自分で危険な状態から回避することができないと思われる方につきましては、十分注意してください。



必ず守る



●オプション部品は正しい向きで取り付ける

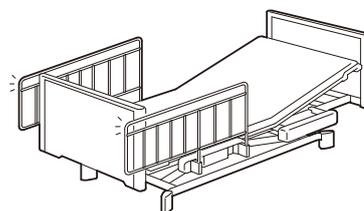
サイドレールや回転式アーム介助バーなどのオプション部品を取り付ける際は、正しい向きで取り付けてください。

ベッドから転落したり、意図せぬすき間が発生したりして、身体の一部がはさまれてケガをするおそれがあります。

正しい向きでの取り付けかたについては、必ず各オプションの「取扱説明書」を参照してください。



必ず守る



●ベッドの下にもぐり込んだり、身体の一部を入れない

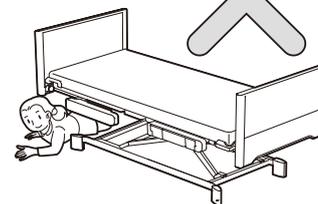
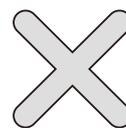
ベッドの可動部分（ボトムなど）とフレームやサイドレール、回転式アーム介助バーなどとの間に身体の一部（頭や手、足）をはさんでケガをするおそれがあります。

ベッドの操作時は、ベッドの下や周りに障害物がないことを確認して操作してください。

やむをえずベッドの下にもぐり込んだり、身体の一部を入れる必要がある場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止



●オプション部品やヘッドボードなどに腰掛けたり、踏み台代わりにしたり、足をかけて立ち上がらない

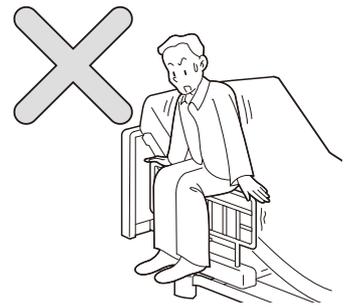


禁止

サイドレールや回転式アーム介助バー、ロングボトムユニットなどのオプション部品やヘッド・フットボードに腰掛けたり、踏み台代わりにしたり、足をかけて立ち上がったりしないでください。

乗り降りの際は、足元のスペースを確保し、足がしっかりゆかにつくようにベッド高さを調節してください。

ベッドから転落・転倒してケガをしたり、ベッドやサイドレール・回転式アーム介助バー、ロングボトムユニットなどが破損・変形するおそれがあります。



●操作が理解できないと思われる方(お子さまや認知症の方など)に操作させない



禁止

操作が理解できないと思われる方(お子さまや認知症の方など)が1人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬケガをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合は、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

- ・手元スイッチの動作ロック機能で「高さの操作」または「全ての操作」をロックする。手元スイッチに付属している専用キーを切り離して紛失しないよう保管してください。 **9ページ 参照**

動作ロックの設定後、手元スイッチのロックランプが点灯していることと、動作ロックを設定した手元スイッチのボタンを押して正しく設定されているか必ず確認してください。

- ・電源プラグを抜いてください。



●ベッドをご使用の方に注意して操作する



必ず守る

ベッドをご使用の方がボトム角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、サイドレール・回転式アーム介助バーなどや各ボードなどとのすき間にはさまれたりして、ケガをするおそれがあります。

無意識にボタンが押されることのないよう手元スイッチは安全な位置に置いてください。

特に予測できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方、自分で危険な状態から回避することができないと思われる方につきましては、十分注意してください。



●ベッドから離れるときは注意する



必ず守る

介護者などがベッドから離れたり、ベッドをご使用の方から一時的に目を離したりする際は、万一のベッドからの転落に備え、ご使用の方の状況に応じてボトム角度を水平にしてベッドの高さを一番低い位置にしてください。

思わぬケガをするおそれがあります。

●乳幼児やお子さまには使用しない



禁止

本製品は、乳幼児やお子さま向けに設計されていません。サイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、ケガをするおそれがあります。

サイドレールを使用してもすき間から転落して、ケガをするおそれがあります。

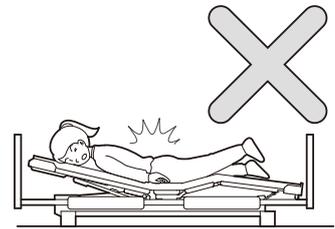
●うつ伏せや無理な姿勢での角度調節はおこなわない



禁止

うつ伏せや無理な姿勢（仰向け以外）での角度調節は、ケガをするおそれがあります。

また、ベッドの頭側と足側を間違えた状態での角度調節も無理な姿勢となり、ケガをするおそれがあります。



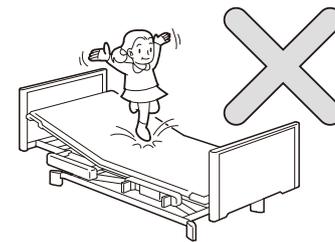
●ベッドの上で飛び跳ねたりしない



禁止

ベッドから転落・転倒してケガをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。

特にお子さまにご注意ください。



●上がっている背ボトムや背ボトムに取付けられたオプション部品を手すりの代わりにしない



禁止

無理に体重をかけたりすると、破損・抜け・変形などがおこり、転落・転倒してケガをするおそれがあります。

●分解、改造はしない

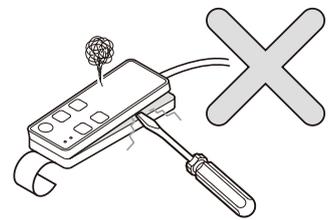


禁止

意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、ケガをするおそれがあります。

弊社指定の技術者以外の方は絶対に修理しないでください。

改造などをおこなった場合は、JIS 認証品として取扱いができなくなります。



●コード類を傷つけない



禁止

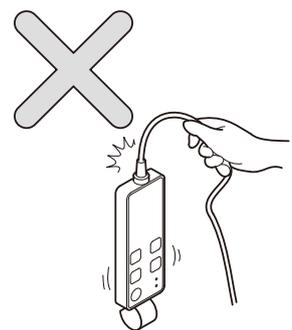
手元スイッチなどの電装部品やコード類（電源コードなど）が破損し、感電・火災のおそれがあります。

ベッドの可動部に手元スイッチやコード類をはさまないようにしてください。

コード類に重い物を置いたり無理な力を加えたりしないでください。

ベッドでコード類を踏みつけないでください。

傷んだ手元スイッチなどの電装部品やコード類は修理（交換）を依頼してください。



●コード類に足を引っ掛けない

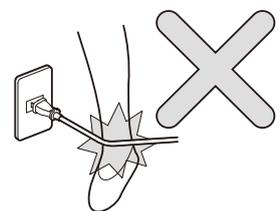


禁止

手元スイッチなどの電装部品やコード類（電源コードなど）に足を引っ掛けないようにしてください。

プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

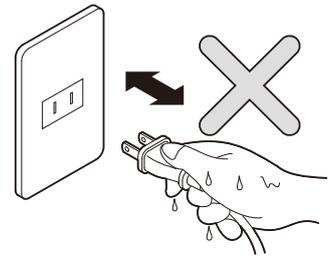
また、転倒してケガをするおそれがあります。



●電源プラグを濡れた手で抜き差ししない



ショートして感電・故障するおそれがあります。

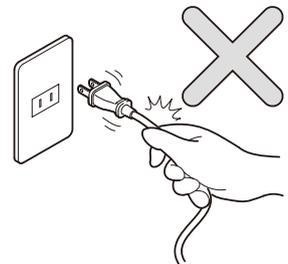


●電源プラグを持って抜く



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。

コードが傷んで感電・発火のおそれがあります。また、電源プラグには、無理な力を加えないでください。

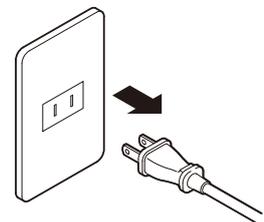


●お手入れは電源プラグを抜いてからおこなう



お手入れや掃除などベッドの下に入る際は、電源プラグを抜いてからおこなってください。

誤操作によるケガやショートによる感電のおそれがあります。



●このベッドは1人用の設計になっています

このベッドの最大利用者体重は 138kg です。一時的に介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確認してください。

○ベッドにかかる荷重が最大利用者体重 138kg を超えていないこと



禁止

安全動作荷重について

・このベッドの安全動作荷重は 174kg です。安全動作荷重は、ベッドの動作がおこなえる最大荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。

※ベッドに安全動作荷重以上の荷重を加えないでください。

・ベッドが破損してケガをするおそれがあります。

●マットレス厚みとサイドレールの高さに注意して使用する

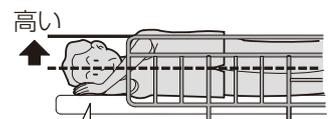
厚みのあるマットレスを使用する場合は、サイドレールの有効寸法高さが低くなり、サイドレールを乗り越えやすくなりますのでご注意ください。転倒・転落してケガをするおそれがあります。

最大マットレス厚 (17cm) を超えない厚みのマットレスを使用してください。 **60 ページ** 参照

高さの高いサイドレールが必要な場合は弊社カスタマーサポートにお問い合わせください。



必ず守る



褥創予防マットレスは、厚みがありますので注意しましょう。



注意

以下の項目は、全て危険行為ですので必ず守ってください。守らなければ人がケガを負う可能性や物的損害の発生が想定されます。

●静電気に注意する



禁止

コード類をコントロールボックスに接続する前に、ベッド以外の金属部分に触れるなどして、人体や衣服から静電気を除去してください。また、コード類を接続する際には差し込み口の内部に触れないよう注意をしてください。静電気の影響によって故障などの原因となるおそれがあります。 **32～34、58ページ** 参照

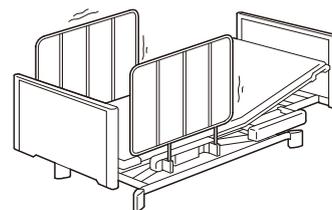
●適合品以外と組み合わせしない



禁止

弊社が指定する適合品以外の製品とは組み合わせしないでください。

オプション製品などは、必ず弊社が指定する適合品を使用してください。適合品以外の製品と組み合わせると意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、ケガをしたり、ベッドが故障するおそれがあります。 **45～60ページ** 参照



●電源プラグにほこりを付着させない



禁止

電源プラグの表面にほこりが付着していると水分を含んで電流が流れ、絶縁状態が悪くなり、発火のおそれがあります。電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。



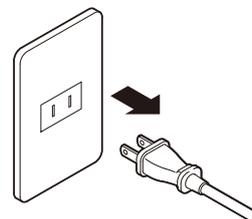
●電子治療器を使用するときは、必ず電源プラグを抜く



プラグを抜く

電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器など）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。

なお、他の ME 機器と併用する際は、安全を確認の上、使用してください。

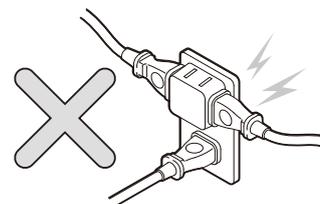


●タコ足配線はおこなわない



禁止

コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して発火するおそれがあります。



●ベッドは定期的に点検する



必ず守る

1年に1回は定期的に各部のゆるみ、可動部の動作破損の有無などを点検してください。思わぬケガをするおそれがあります。

使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。

点検項目は「組み立て後の点検」を参照してください。 **44ページ** 参照

●被災したベッドは点検・修理する



必ず守る

地震・火災・水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサポートまで点検・修理を依頼してください。

電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によってケガをするおそれがあります。

●容態にあわせて使用する



必ず守る

ベッドをご使用の方の容態にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談してください。

ご使用の方の容態によっては、ベッドの操作で容態を悪化させる可能性があります。ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

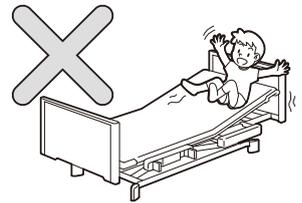


●上がっている背ボトムや脚ボトムに乗らない



禁止

ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因になります。



●火器に近付けない



必ず守る

ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・発火などの原因になります。

●ヘッドレストを持ち上げた状態でヘッドレストの上に座らない



禁止

ヘッドレストを持ち上げた状態でヘッドレストに大きな負荷をかけないでください。

破損・故障の原因になります。

また、ご利用にならない際は介護者が操作し、介護者がベッドから離れる際は、安全確保のためヘッドレストを水平な位置に戻してください。 **15 ページ** 参照



●足先をベースフレームの上や下に置かない



禁止

ベースフレームの上に足をかけたり、足先を下にいれたりしないでください。

はさまれてケガをするおそれがあります。



●水などをこぼさない

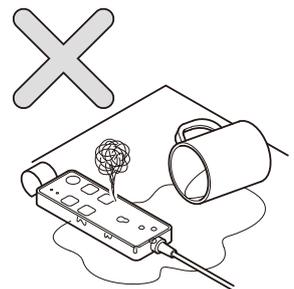


必ず守る

手元スイッチなどの電装品は防水仕様ですが、水などをこぼさないでください。

故障の原因になります。

水などがかかってしまった場合には、すぐに拭き取り、乾いてから動作確認をおこなってください。動作に異状がある場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。



●スプレータイプの殺虫剤をサイドレールに直接噴射しない



禁止

殺虫剤に含まれる溶剤によって樹脂部品が破損・変形・溶解するおそれがありますので十分ご注意ください。

●ベッドやベッド以外の電気機器のコード類(電源コードなど)をベッドの下に通す場合は十分注意してください



必ず守る

キャスターや可動部にはさまれてコード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。

主要部のなまえとはたらき

手元スイッチ

ベッドの高さ、ボトムを無段階で調節できます。手元スイッチの上部のフックでボードやサイドレールにかけてください。

※操作(動作)については、「使いかた」を参照してください。

9～11 ページ 参照

ヘッドボード

ノブボルトを外して、上に持ち上げると外れます。

42～43、61 ページ 参照

ヘッドレスト

ヘッドレスト部を30°持ち上げて固定できます。(NX-Hは使用できません)

15 ページ 参照

フットボード

ノブボルトを外して、上に持ち上げると外れます。

42～43、61 ページ 参照

背上げ脚連動モーション

※NX-2、NX-Bのみ

背ボトムと膝ボトムが連動し、背ボトム70°、膝ボトム20°まで上がります。

12、31、66 ページ 参照

背ボトム

あたま側

座ボトム

膝ボトム

脚ボトム

電源プラグ

あし側

角度計

背ボトムの角度を確認できます。

13 ページ 参照

オプション受け

オプションを取り付けられます。片側にそれぞれ4ヶ所あります。あし側のオプション受けは使用しない時には、ボトム下部に回転させて収納できます。

45 ページ 参照

脚座

左右に4カ所あります。

23、70 ページ 参照

マットレス止め

マットレスのズレを防止します。

38 ページ 参照

使いかた

操作のしかた

手元スイッチのボタンでベッドの背ボトム、膝ボトムの角度、ベッドの高さを無段階に調節できます。ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。必要な位置まで動かしてお使いください。

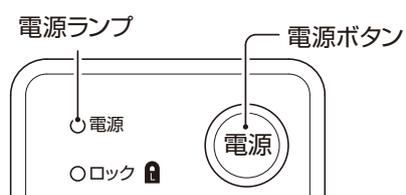
※NX-2・NX-B（背上げ1モーター）は、膝ボトムだけでの角度調節はできません。

NX-H（ハイロー1モーター）は、背ボトムの角度調節はできません。

- 操作の前に、ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

電源ボタンと動作ロック機能について

- 電源ボタン



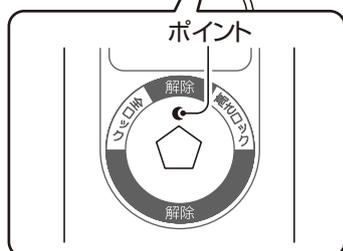
手元スイッチの電源ボタンを押すことで各操作ができるようになります。

（電源ランプ：緑点灯）

誤操作による事故を未然に防ぐため、操作が終わったら電源ボタンを押して電源を切ってください。

- 動作ロック機能

手元スイッチ裏側のロックスイッチを付属している専用キーで回転させることで、ロック操作を設定できます。ロックスイッチを回転させて設定するときは、ポイントの位置を表示の中央に合わせてください。



- ・ポイントの位置が「解除」のとき
→全ての操作ができます。
工場出荷時は「解除」になっています。



- ・ポイントの位置が「高さロック」のとき
（NX-B・NX-Hは「高さロック」ではなく、「ロック」と表示されています）
→操作ができません。
（ロックランプ：オレンジ点灯）



- ・ポイントの位置が「全ロック」のとき
（NX-B・NX-Hは「全ロック」ではなく、「ロック」と表示されています）
→全ての操作ができません。
（ロックランプ：オレンジ点灯）

Point

- 電源が切れている状態で電源ボタン以外のボタンを押すと、電源ボタンが約10秒間点滅します。暗い部屋でも電源ボタンの位置を確認できます。
- 動作ロックを設定したにもかかわらず、ロックランプが点灯していないときは、動作ロックが正しく設定できていません。再度設定してください。

手元スイッチのボタン操作のしかた

下図のボタンでベッドの背ボトム、膝ボトムの角度、ベッドの高さを無段階に調節できます。ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。必要な位置まで動かしてお使いください。

3モーター	2モーター	1モーター	各ボタンについて
NX-1	NX-2	NX-B	
		NX-H	
			1 背上げ+膝上げ 2 背上げ 3 膝上げ 4 高さ調節 5 背上げ脚連動モーション 各ボタンの操作方法について 11 ページ 参照

Point

- 手元スイッチの操作ボタンや使える機能は、お使いのベッドのタイプにより異なります。お使いのベッドのタイプをご確認のうえ、手元スイッチを操作してください。
- 電源ボタンとロック機能の操作のしかたはP.9「電源ボタンと動作ロック機能について」を参照してください。 **9 ページ** 参照
- 手元スイッチを押してもベッドが動かないときは、72ページに記載の「故障かな?と思ったら」を参照して点検してください。 **72 ページ** 参照
それでも正常に動作しない場合は、販売店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

警告

- ◆操作が理解できないと思われる方（お子さまや認知症の方など）が1人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬケガをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合は、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
 - ・手元スイッチの動作ロック機能で「高さの操作」または「全ての操作」をロックする。手元スイッチに付属している専用キーを切り離して紛失しないよう保管してください。 **9 ページ** 参照
 - 動作ロックの設定後、手元スイッチのロックランプが点灯していることと、動作ロックを設定した手元スイッチのボタンを押して正しく設定されていることを必ず確認してください。
 - ・電源プラグを抜いてください。

注意

故障の原因になります

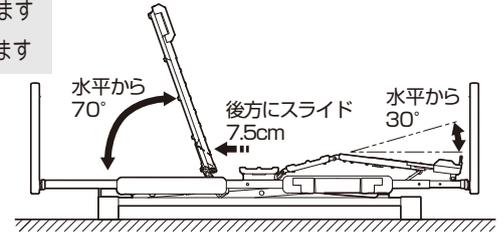
- ◆モーターの連続使用時間は2分までです。2分以上の連続使用はおこなわないでください。続けて使用する場合はしばらく時間をおいて使用してください。
- ◆手元スイッチは防水仕様ですが、水などをこぼさないでください。水などがかかってしまった場合には、すぐに拭き取ってください。乾いてから動作確認をおこなってください。動作に異状がある場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。
- ◆手元スイッチは和夢シリーズ“彩”以外のベッドに取り付けられないでください。また、他の機種の手元スイッチを和夢シリーズ“彩”のベッドに取り付けられないでください。誤った手元スイッチの組み合わせは、誤動作や故障の原因となるおそれがあります。

1 背上げ+膝上げについて (NX-1)

からだに負担をかけない

-  を押すと背ボトムと膝ボトムが同時に上がります
-  を押すと背ボトムと膝ボトムが同時に下がります

●背ボトムと膝ボトムの角度を同時に調節できます。

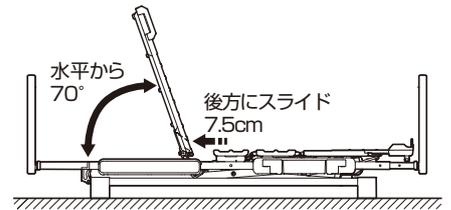


2 背上げについて (NX-1)

・ベッドから起き上がる時
・ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利

-  を押すと背ボトムが上がります
-  を押すと背ボトムが下がります

●背ボトムの角度を調節できます。
背ボトムは、水平から最大70°まで調節できます。

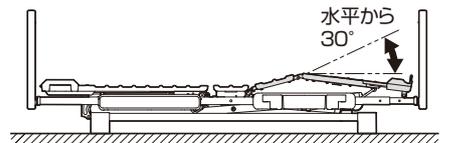


3 膝上げについて (NX-1)

・背上げをおこなう場合に便利
・からだに負担をかけない

-  を押すと膝ボトムが上がります
-  を押すと膝ボトムが下がります

●膝ボトムの角度を調節できます。
膝ボトムは、水平から最大30°まで調節できます。
※背上げをおこなう場合、先に膝ボトムを上げておくと体のずれが少なくなります。
※からだに負担がかからないように調節します。

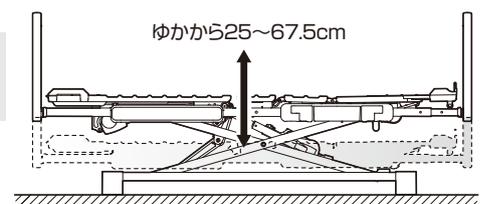


4 高さ調節について (NX-1・NX-2・NX-H)

・乗り降りするときの高さを調節
・サポートしやすい高さに調節するときに便利
・介護する方の腰に負担をかけない

-  を押すと高さが上がります
-  を押すと高さが下がります

●ベッドの高さを調節できます。
ゆかからボトムまでの高さは25~67.5cm間で調節できます。(マットレスを除く)

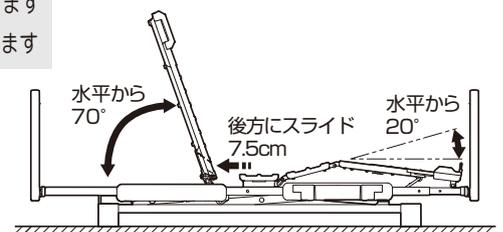


5 背上げ脚連動モーションについて (NX-2・NX-B)

・ベッドから起き上がる時
・ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利

- 背上げ脚連動モーション使用時
 -  を押すと背ボトムと膝ボトムが同時に上がります
 -  を押すと背ボトムと膝ボトムが同時に下がります
- 背上げ脚連動モーション解除時
 -  を押すと背ボトムが上がります
 -  を押すと背ボトムが下がります

●背ボトムと膝ボトムが連動し、背ボトム最大70°、膝ボトム最大20°まで上がります。
●NX-B・NX-2は、膝ボトムだけの角度調整はできません。

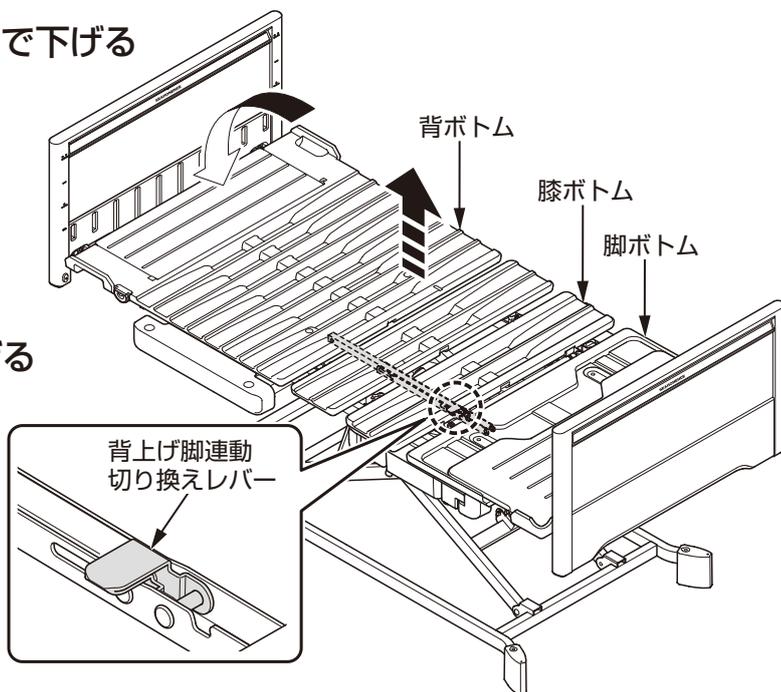


NX-2・NX-B 背上げ脚連動モーションの切り換えについて

NX-2・NX-B（背上げ脚連動モーション）は切り換えレバーの操作により、背上げ時の膝ボトムの動きを切り換えることができます。療養されている方の状態にあわせて使い分けてください。

1 背ボトムと膝ボトムを一番下まで下げる

手元スイッチの「あたま」の「▽さがる」ボタンを押して背ボトムと膝ボトムを一番下まで下げてください。ベッドを使用されている方にベッドから降りていただってください。



2 ベッドの高さを一番上まで上げる

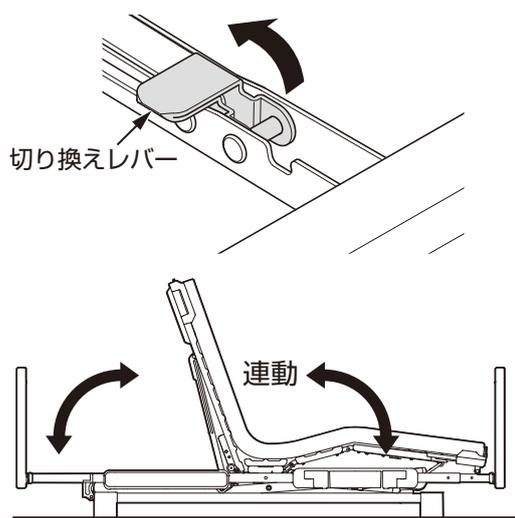
手元スイッチの「たかさ」の「△あがる」ボタンを押してベッドの高さを一番上まで上げてください。

3 背上げ脚連動切り換えレバーを操作する

<背上げ脚連動状態>

レバーを下図の位置にします。

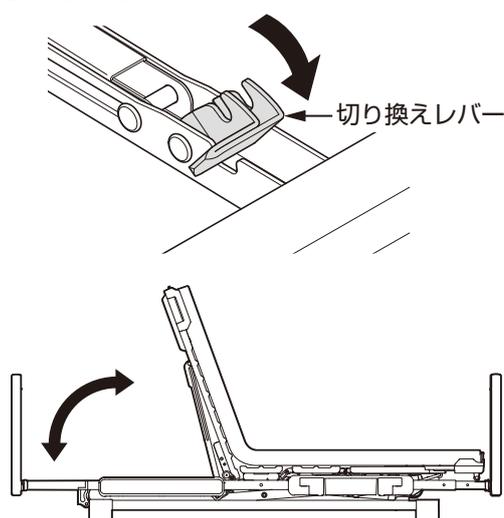
※背ボトムと膝ボトムが連動して動作します。



<背上げ脚連動解除状態>

レバーを下図の位置にします。

※連動が解除され、背上げのみの操作になります。



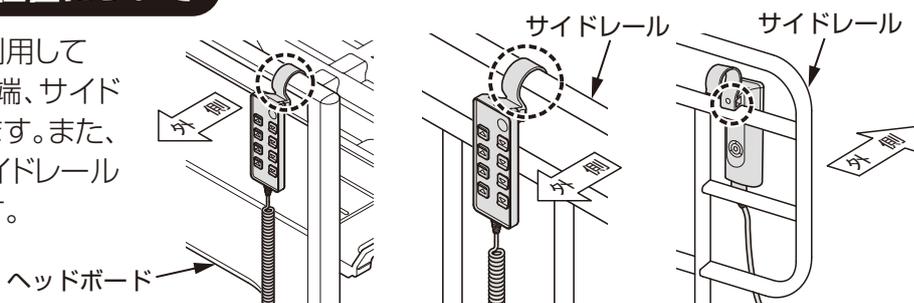
⚠ 注意

ケガをするおそれがあります

- ◆背上げ脚連動切り換えレバーの操作は、背ボトムを水平にして必ず手でおこなってください。
- ◆ボトムとフレームの間で手をはさまないように注意してください。
- ◆ベッドをご使用中の方に必ずベッドから降りていただき、切り換えレバーの操作をおこなってください。

手元スイッチの取り付け位置について

手元スイッチの上部のフックを利用してヘッドボードやフットボードの上端、サイドレールに引っ掛けることができます。また、フックの根元付近を利用してサイドレールや手に引っ掛けることもできます。



警告

ケガをするおそれがあります

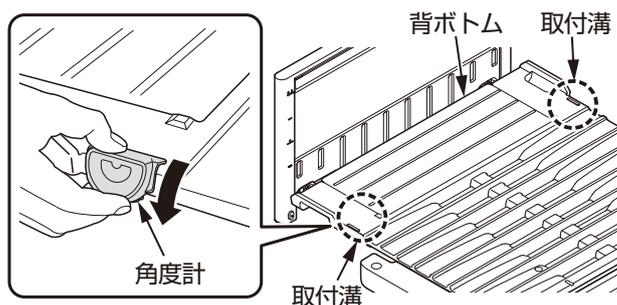
- ◆ベッドをご使用の方が手元スイッチを操作するときは、必ず手に持って操作してください。誤操作や意図しない動作をして、ベッドの可動部分（ボトムなど）とフレームやサイドレール、回転式アーム介助バーなどとはさんでケガをするおそれがあります。
- ◆手元スイッチをヘッドボードやフットボード、サイドレールに引っ掛けるときは、安全のためベッドの外側に掛けてください。ベッドの外側以外の場所に掛けるとボトムとサイドレールのすき間に手元スイッチがはさまれ、手元スイッチが破損・変形するおそれがあります。

角度計の取り付けについて

付属の角度計を使用することによって、背ボトムの角度を確認することができます。ベッドの設置に合わせて、左右どちらかに取り付けします。

1 背ボトムに取り付ける

背ボトム上面の取り付け溝に角度計のつめを引っ掛けるように取り付けます。

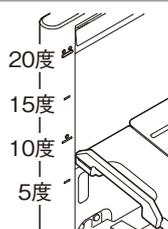


2 背ボトムの角度を確認する



Point

- ヘッドボード内側のマークを参照することで5度から20度までの背ボトム角度が分かります。

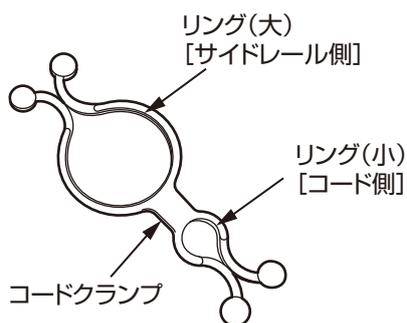


注意

破損・故障の原因になります

- ◆角度計を分解しない。
 - ◆角度計に衝撃を与えない。
- サイドレールや介助バーなどの取り付け、取り外しの際はご注意ください。

コードクランプについて



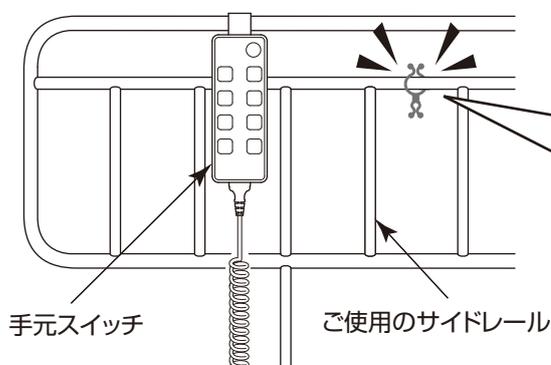
Point

こんなときに便利です

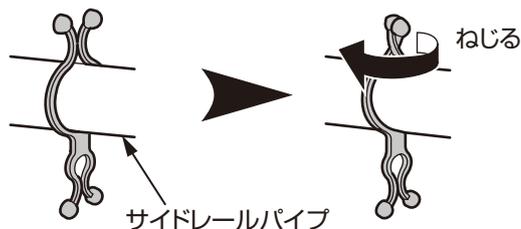
- 手元スイッチコードが、ゆかに接触して汚れてしまうのを防ぎたい。
- たれ下がった手元スイッチコードに、手や足を引っ掛けたりする危険があるので、たれ下がりを防ぎたい。
- たれ下がった手元スイッチコードを足やキャスター（別売）で踏んでしまうのを防ぎたい。

1 サイドレールの使用したい場所に取り付ける

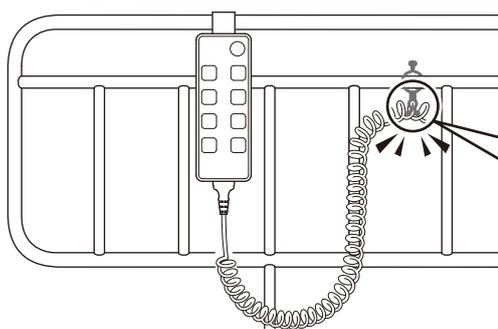
取り付け箇所はサイドレールのみとなります。



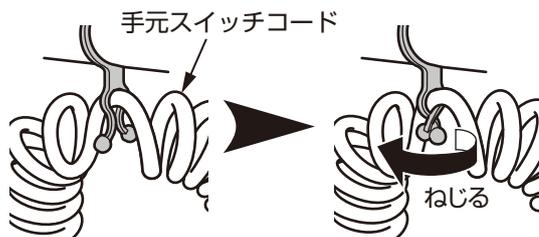
リング（大）にサイドレールのパイプを通し、先端部をねじって固定します。



2 手元スイッチコードを通して固定する



リング（小）に手元スイッチコードを通し、先端部をねじって固定します。



⚠ 注意

ケガ・破損の原因になります

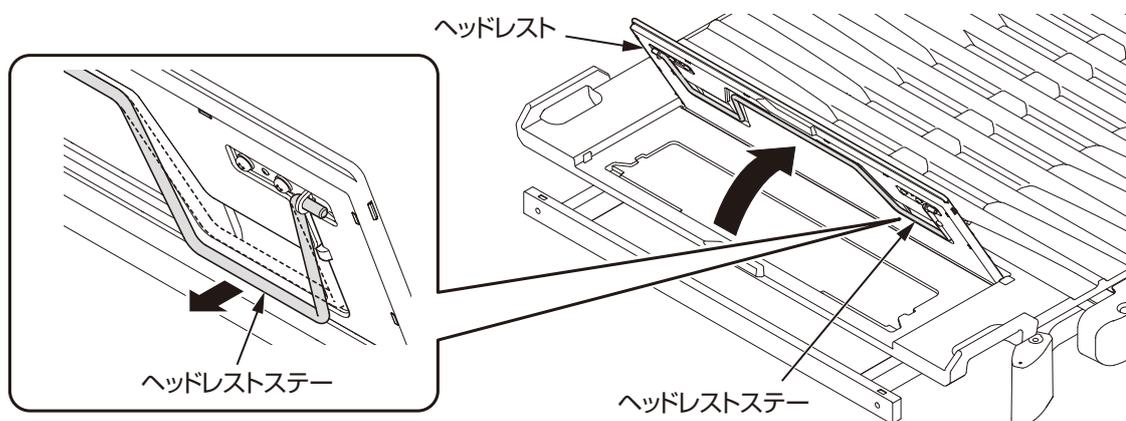
- ◆サイドレールのみに取り付け、乗り降りの邪魔にならない場所へ設置する。
- ◆サイドレールへの取り付けや、手元スイッチコードの取り付けをした際は、必ずリング先端部をねじって固定する。
- ◆衣服等に引っかからない場所へ取り付ける。
- ◆手元スイッチコードを取り付けたコードクランプをサイドレールに固定している状態で、サイドレールを取り外さない。
- ◆手元スイッチは、サイドレールのベッド外側に取り付ける。

ヘッドレストについて

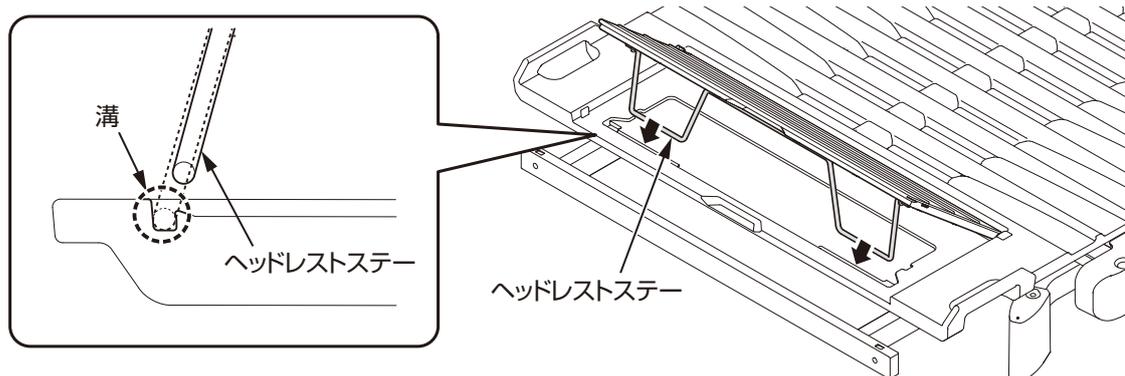
背ボトムのヘッドレスト部は、約30°持ち上げて固定できます。

ヘッドレスト部を持ち上げて使用すると、顎を少し引いた姿勢となり、飲み物を口に入れやすく、また飲み込みやすくして誤嚥を軽減することができます。

1 ヘッドレスト部を持ち上げ、裏側に固定されているヘッドレストステーを外す



2 ヘッドレストステーを起して背ボトムの溝にはめて固定する



Point

- ベッド上で飲食される際には、背ボトムを上げてヘッドレストをご使用いただき誤嚥のリスク低減を図ってください。また、就寝中に唾液を誤嚥する危険のあるご利用者は、就寝時にもヘッドレストをご利用いただけます。ヘッドレストをご使用の場合は、かかりつけの医師やホームヘルパーなどにご相談ください。

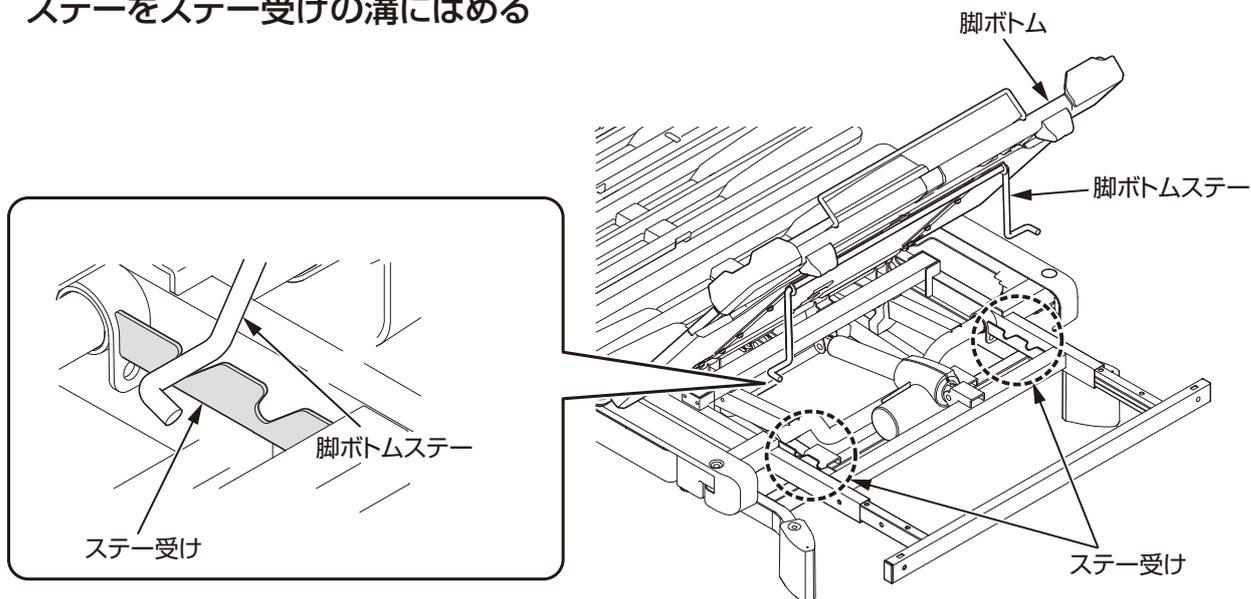
⚠ 注意

ケガ・破損の原因になります

- ◆ヘッドレストを持ち上げた状態でヘッドレストに大きな負荷をかけないでください。
- ◆ヘッドレストを持ち上げた状態で背ボトムを必要以上に高く上げないでください。
ご使用者の方が体位を崩し、ベッドから転落するおそれがあります。ベッド頭側にサイドレールや介助バーを取り付け、転落事故を未然に防いでください。
ご利用にならない際は水平な位置に戻してください。
- ◆ヘッドレストは介護者が操作してください。体位をご自分で保持できないご利用者がご使用になる場合、介護者がベッドから離れる際には、安全確保のためヘッドレストを水平な位置に戻してください。
- ◆ヘッドレストを操作する際は、ヘッドレストとステーの間に手や指を挟まないように注意してください。

足のむくみ対策のため、膝上げ時に足先を持ち上げることができます。
脚ボトムステーの位置を変えることで、2種類のポジションから最適な角度を選択できます。

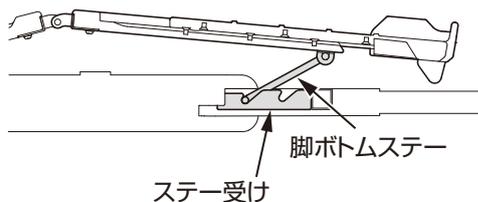
1 脚ボトムを持ち上げ、裏側にある脚ボトムステーをステー受けの溝にはめる



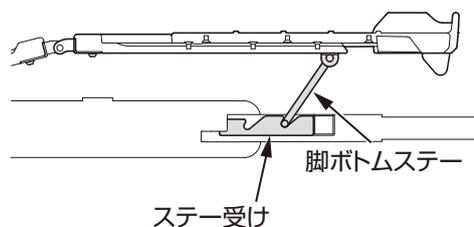
Point

●脚ボトムステーをはめる溝の位置により脚先の持ち上げ角度が変わります。

頭側の溝のとき



足側の溝のとき



膝ボトムを最大角度まで上がった状態で、脚ボトムステーをステー受けの足側の溝にはめると、脚ボトムを水平にすることができます。

⚠ 注意

ケガ・破損の原因になります

- ◆脚ボトムステーは、ステー受けの溝以外の位置に移動させないでください。
- ◆角度調整は、手や腕などをはさまないように注意してください。
- ◆角度調整は、ベッドをご使用中の方に必ずベッドから降りていただき、調整をおこなってください。
- ◆脚ボトムを水平にする際には、膝ボトムを最大角度まで上がった状態でおこなってください。
- ◆膝ボトムを下げる場合は、脚ボトムステーをステー受けの頭側の溝にはめてください。



ベッドの寝位置の調整

↑ 展開 ↓

和夢彩専用
ポジションスケール
SEAHONENCE

185 cm

180 cm

175 cm

170 cm

165 cm

160 cm

155 cm

150 cm

145 cm

140 cm

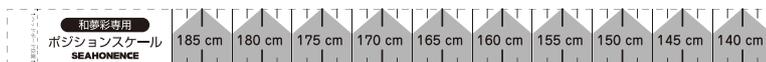
和夢“彩”専用ポジションスケールの活用方法について

「ポジションスケール」を使用することで、ベッドを利用される方の身長からおおよその寝位置を合わせることができます。
ベッドの背上げ動作(スイングバック機能)の効果を十分発揮させるためにご活用ください。

ベッドのポジション(寝位置)の調節について

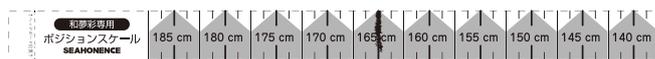
1 ポジションスケールを用意する

1. このページまたは78ページをコピーします。
2. ポジションスケールを切り取り線にそって、下図のように切り抜きます。



3. ご利用になる方の身長に合わせてペンやマジックなどでマーキングし、はさみでカットします。

マーキング



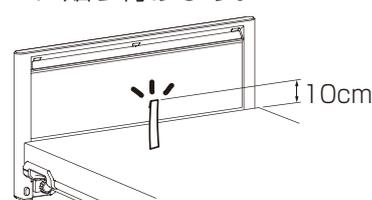
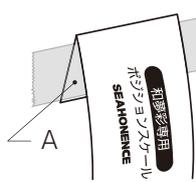
カット



(例:身長165cmの人の場合、165cmラインでマーキングしてカットします。)

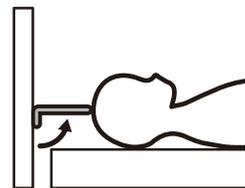
2 ポジションスケールをヘッドボードに貼り付ける

1. ポジションスケールを点線部で折り曲げます。
2. Aの面にセロハンテープを貼ります。
3. ヘッドボードのマットレス面から10cmほどの位置に貼り付けます。



3 ベッドの寝る位置を確認する

スケールを水平に伸ばします。頭の頂点とマーキングしたポイントが合わさる場所がおおよそのポジションです。



Point

- 寝る位置の目安がいたら枕の位置を合わせてご使用ください。
- このポジションスケールは、“和夢”“彩”専用です。他のベッドでご使用になれません。
- 全てのご使用者様にとって正確な寝る位置を示すものではありません。ベッドに寝る位置を合わせる際のおおよその目安としてご活用ください。



設置

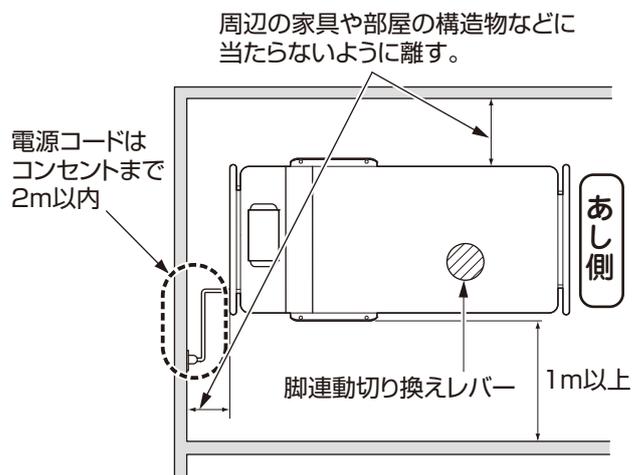
設置場所について

ベッドを設置する際は、以下の条件を考慮してください。

● 設置スペースを確保する

右図を参考に設置します。

1. ベッドは垂直に昇降しますが、ヘッドボードと壁との隙間を最小にする場合でも、3cmは空けることを推奨します。
2. ベッドの一方の側面を壁際に寄せて設置する場合は、ご利用者の乗り降りや介助をするためのスペースと方向を予め検討してください。
3. ご利用者や介護する方が、誤って電源コードに足を引っ掛けないように引回しをしてください。



寝位置の調整

● 水平で丈夫なゆかを選ぶ

ベッドの重量は最大約88kgです。ベッドの重量と療養される方、オプション製品、寝具なども含めた重量が使用時の静荷重となります。この荷重に十分耐えられるゆかの強度を確保してください。



警告

ケガの原因になります

- ◆ 滑りやすいゆか材（フローリングなど）の上で使用する場合は、脚座やキャスターの下に別売の脚座保護パッド（品番K-145）などを敷く。使用中にベッドが動き、転倒やケガをするおそれがあります。



注意

家財破損の原因になります

- ◆ 畳やじゅうたんなどの上で長期間使用する場合は、脚座やキャスターの下に別売の脚座保護パッド（品番K-145）などを敷く。畳やじゅうたんなどがへこむおそれがあります。

● 電源プラグが抜き差ししやすいところにベッドを設置してください。



注意

事故・破損・ケガの原因になります

- ◆ ベッドと壁、周りのものとのすき間にはさまれないように注意してください。特に予測できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方、自力で危険な状態から回避することができないと思われるかたにつきましては十分ご注意ください。
- ◆ ベッドを操作する（高さ調節や背上げ）際に周辺のポータブルトイレやくすかご、家具、部屋の構造物に当たらないように気を付けてください。ご使用の際には、ベッドの可動範囲周辺のポータブルトイレやくすかご、家具、部屋の構造物、電源プラグにあたらないことを確認してください。
- ◆ 火気に近付けないでください。
- ◆ タコ足配線はおこなわないでください。

開梱と部品の確認

- 組み立てる前に下記の部品がすべて揃っているか確認してください。
- 不足している部品や破損している部品がある場合は、販売店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。



ハイローベースユニット

■ NX-1・NX-2・NX-H

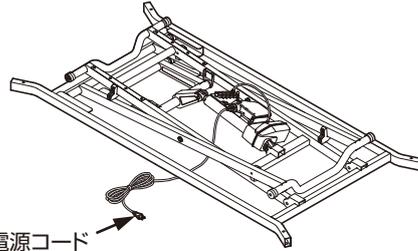
153×78×19 (cm)
約 26kg (30kg)*

■ NX-B

153×78×19 (cm)
約 25kg (29kg)*

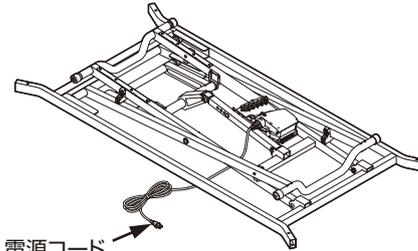
ハイローベースユニット

NX-1・NX-2・NX-H



電源コード

NX-B



電源コード

脚座(4個)



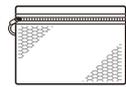
プッシュリベット(4本)



取扱説明書(1冊)



収納バック(1個)



リアユニット(NX-1/NX-H)

■ NX-1

(900 幅)
121×90×19 (cm)
約 14.5kg (19.5kg)*

(830 幅)
121×83×19 (cm)
約 14kg (19kg)*

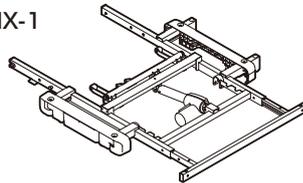
■ NX-H

(900 幅)
121×90×19 (cm)
約 11.5kg (16.5kg)*

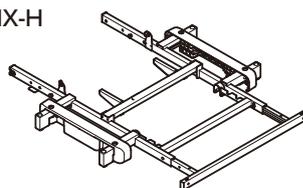
(830 幅)
121×83×19 (cm)
約 11kg (16kg)*

リアユニット

NX-1



NX-H



手元スイッチ

NX-1



NX-H



組立てピンセット(1セット)



ピンA(2本)
(長さ60mm)



ピンB(2本)
(長さ73mm)



ピンC(2本)
(長さ22mm)



スピードピン
(6本+予備1本)



ノボルト(4個)



スパック
ワッシャ(4個)



ワッシャ(4個)



背ボトム止め
ネジD(2本)



角度計(1個)



六角レンチ(1本)



コードクランプ(2個)



フック(2個)



*: (kg) は梱包材を含めた重量です。

リアユニット
NX-2 / NX-B

- **NX-2**
(900 幅)
121×90×19 (cm)
約 14kg (19kg)*
- (830 幅)
121×83×19 (cm)
約 13.5kg (18.5kg)*

- **NX-B**
(900 幅)
121×90×19 (cm)
約 14kg (19kg)*
- (830 幅)
121×83×19 (cm)
約 13.5kg (18.5kg)*

リアユニット
 手元スイッチ
 スペーサー(1個) ▶NX-Bのみ
 組立てピンセット (1セット)

※イラストはNX-2です。

背上げ脚連動
 モーションユニット

ピンA(2本) (長さ60mm)
 ピンB(2本) (長さ73mm)
 ピンC(2本) (長さ22mm)
 ピンE(2本) (長さ46mm)
 スピードピン (8本+予備1本)

ノブボルト(4個)
 スパックワッシャ(4個)
 ワッシャ(4個)
 背ボトム止めネジD(2本)

角度計(1個)
 六角レンチ(1本)
 コードクランプ(2個)
 フック(2個)

フロントユニット

- **NX-1・NX-2・NX-B**
(900 幅)
119×103×22 (cm)
約 14kg (19kg)*
- (830 幅)
119×96×22 (cm)
約 13.5kg (18.5kg)*
- **NX-H**
(900 幅)
119×103×22 (cm)
約 10kg (15kg)*
- (830 幅)
119×96×22 (cm)
約 9.5kg (14.5kg)*

フロントユニット
 NX-1・NX-2・NX-B NX-H

ボトムユニット

- **NX シリーズ共通**
(900 幅)
95×90×24 (cm)
約 21kg (25kg)*
- (830 幅)
88×90×24 (cm)
約 19kg (23kg)*

背ボトム
 座ボトム
 膝・脚ボトム

ヘッドボード
フットボード

- **NX シリーズ共通**
(樹脂ボード)
(900 幅)
95×53×11 (cm)
約 9kg (11kg)*
- (830 幅)
88×53×11 (cm)
約 8kg (10kg)*
- (DX 木製ボード)
(900 幅)
101×56×11 (cm)
約 11kg (13kg)*
- (830 幅)
94×56×11 (cm)
約 10kg (12kg)*

ヘッドボード
 フットボード

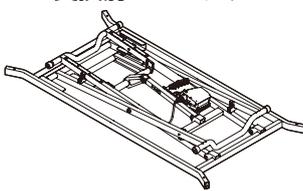
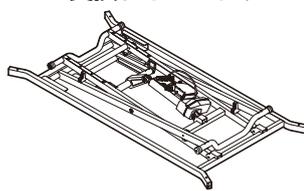
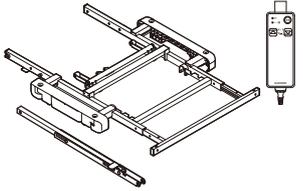
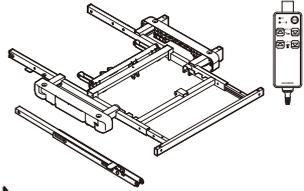
イラストは樹脂ボードです。

*: (kg) は梱包材を含めた重量です。

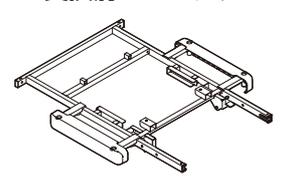
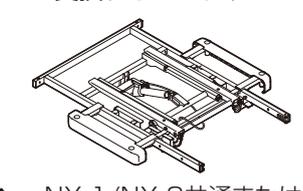
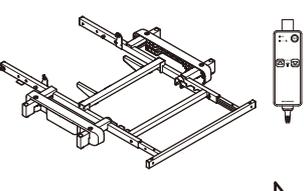
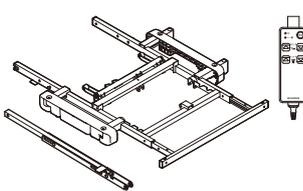
ユニット変換について

ユニット変換により、3モーターから2モーターさらに1モーターへとベッド機能の選択が広がります。

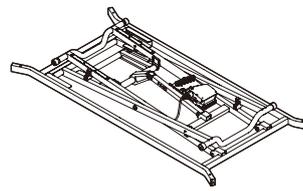
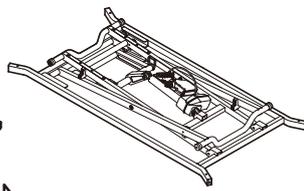
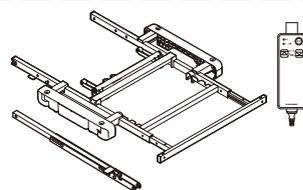
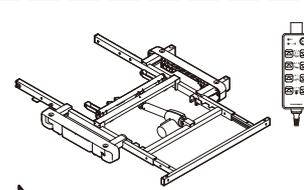
NX-B(背上げ1モーター)をNX-2(2モーター)へ

変換前のユニット 	変換するユニット 
背上げ1モーター専用 ハイローベースユニット	NX-1/NX-2共通または NX-1/NX-2/NX-H共通 ハイローベースユニット
	
背上げ1モーター専用 リアユニット 背上げ脚連動モーションユニット 背上げ1モーター手元スイッチ	NX-2 リアユニット 背上げ脚連動モーションユニット 2モーター手元スイッチ

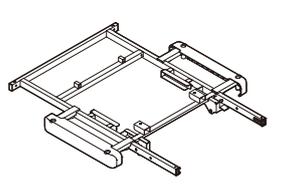
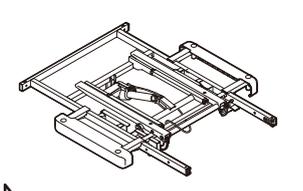
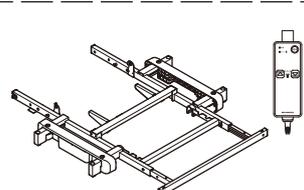
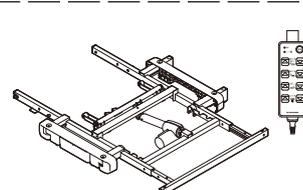
NX-H(ハイロー1モーター)をNX-2(2モーター)へ

変換前のユニット 	変換するユニット 
ハイロー1モーター専用 フロントユニット	NX-1/NX-2共通または NX-1/NX-2/NX-H共通 フロントユニット
	
ハイロー1モーター専用 リアユニット ハイロー1モーター手元スイッチ	NX-2 リアユニット 背上げ脚連動モーションユニット 2モーター手元スイッチ

NX-B(背上げ1モーター)をNX-1(3モーター)へ

変換前のユニット 	変換するユニット 
背上げ1モーター専用 ハイローベースユニット	NX-1/NX-2共通または NX-1/NX-2/NX-H共通 ハイローベースユニット
	
背上げ1モーター専用 リアユニット 背上げ脚連動モーションユニット 背上げ1モーター手元スイッチ	NX-1 リアユニット 3モーター手元スイッチ

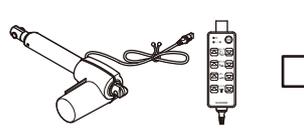
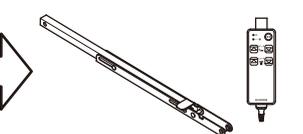
NX-H(ハイロー1モーター)をNX-1(3モーター)へ

変換前のユニット 	変換するユニット 
ハイロー1モーター専用 フロントユニット	NX-1/NX-2共通または NX-1/NX-2/NX-H共通 フロントユニット
	
ハイロー1モーター専用 リアユニット ハイロー1モーター手元スイッチ	NX-1 リアユニット 3モーター手元スイッチ

NX-2(2モーター)を3モーターへ

変換前のユニット 	変換するユニット 
背上げ脚連動モーションユニット 2モーター手元スイッチ	後付けフットモーターユニット 脚上げモーター 3モーター手元スイッチ

3モーターに変換したNX-2を2モーターへ

変換前のユニット 	変換するユニット 
後付けフットモーターユニット 脚上げモーター 3モーター手元スイッチ	背上げ脚連動モーションユニット 2モーター手元スイッチ

NX-2(2モーター)をNX-B(背上げ1モーター)へ

変換前のユニット	変換するユニット
NX-1/NX-2共通または NX-1/NX-2/NX-H共通 ハイローベースユニット	背上げ1モーター専用 ハイローベースユニット
NX-2 リアユニット 背上げ脚連動モーションユニット 2モーター手元スイッチ	背上げ1モーター専用 リアユニット 背上げ脚連動モーションユニット 背上げ1モーター手元スイッチ

NX-2(2モーター)をNX-H(ハイロー1モーター)へ

変換前のユニット	変換するユニット
NX-1/NX-2共通または NX-1/NX-2/NX-H共通 フロントユニット	ハイロー1モーター専用 フロントユニット
NX-2 リアユニット 背上げ脚連動モーションユニット 2モーター手元スイッチ	ハイロー1モーター専用 リアユニット ハイロー1モーター手元スイッチ

NX-1(3モーター)をNX-B(背上げ1モーター)へ

変換前のユニット	変換するユニット
NX-1/NX-2共通または NX-1/NX-2/NX-H共通 ハイローベースユニット	背上げ1モーター専用 ハイローベースユニット
NX-1 リアユニット 3モーター手元スイッチ	背上げ1モーター専用 リアユニット 背上げ脚連動モーションユニット 背上げ1モーター手元スイッチ

NX-1(3モーター)をNX-H(ハイロー1モーター)へ

変換前のユニット	変換するユニット
NX-1/NX-2共通または NX-1/NX-2/NX-H共通 フロントユニット	ハイロー1モーター専用 フロントユニット
NX-1 リアユニット 3モーター手元スイッチ	ハイロー1モーター専用 リアユニット ハイロー1モーター手元スイッチ

警告

事故・破損・ケガの原因になります

◆ユニット交換をおこなう際には、以下のページをご参照ください。

- ・ベッドの「分解」を参照してベッドを分解してください。 **61～70ページ 参照**
- ・「組み立てかた」「組み立て後の点検」を参照して変換前のユニットから変換するユニットへ組み立ててください。 **23～44ページ 参照**

◆本書に記載された組合せ以外でのユニット交換はしないでください。

組み立てかた

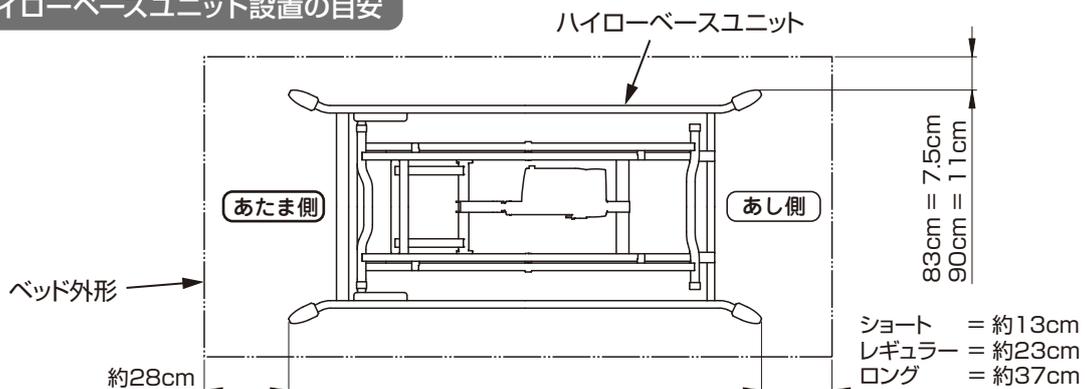
STEP1 脚座の取り付け

▶NXシリーズ共通

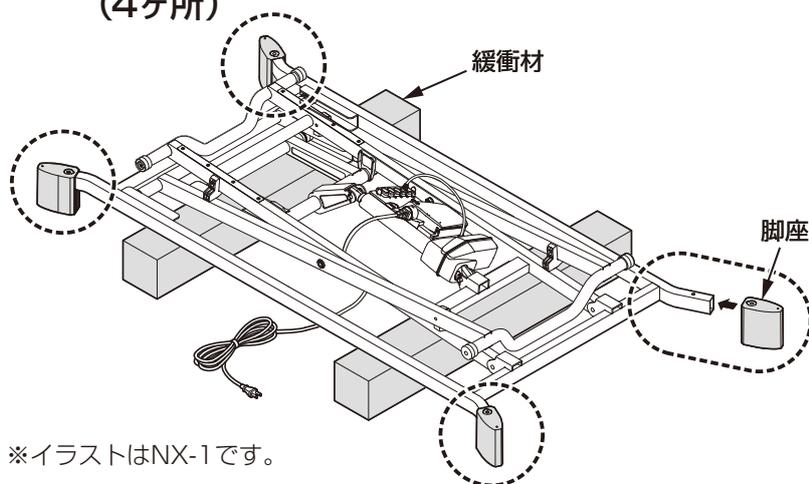
Point

- 組立前に下図を参考にし、18ページ「設置場所について」に従い、ベッドの設置場所を決めてください。また、ハイローベースユニットは「あたま側」「あし側」の向きに注意して置いてください。

ハイローベースユニット設置の目安

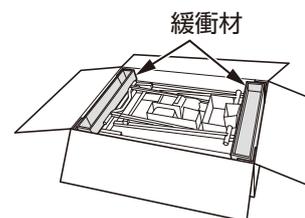


1 ハイローベースユニットに脚座を差し込む (4ヶ所)



Point

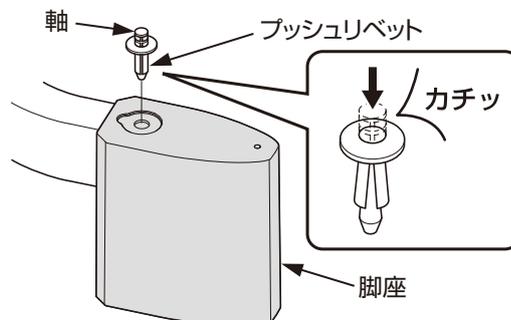
- 梱包箱の中の緩衝材を取り出し、ゆかに裏返して置きます。



- ハイローベースユニットを梱包箱から取り出し、緩衝材の上に乗せます。
- 四隅のパイプの先端に脚座を差し込みます。

2 脚座をプッシュリベットで固定する (4ヶ所)

1. 脚座にプッシュリベットを差し込みます。
2. カチッと音がするまで軸を差し込みます。



3 ハイローベースユニットの緩衝材を取り除く

⚠ 注意

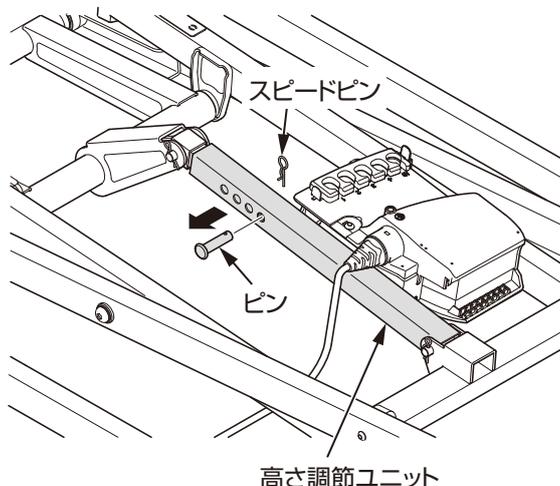
事故・破損の原因になります

- ◆脚座はプッシュリベットで確実に固定してください。
- ◆脚座を取り付けしないでハイローベースユニットをゆかに直に置くと、ゆかを傷つけてしまうおそれがあります。

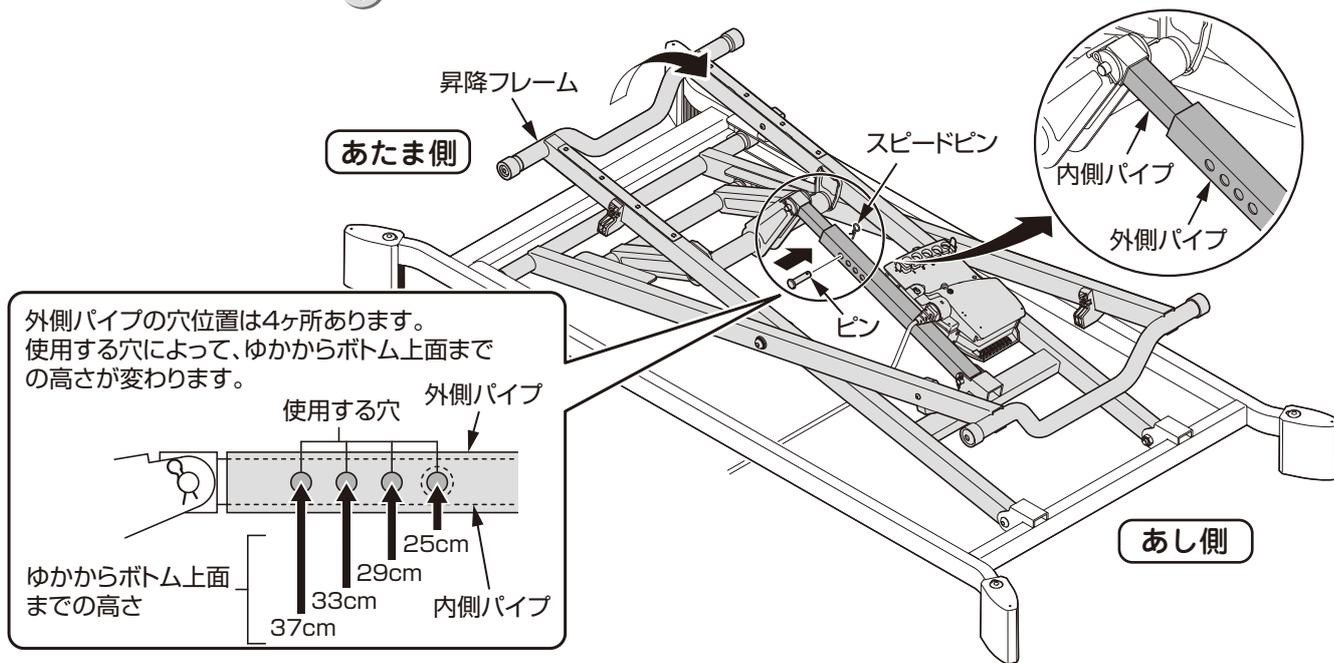
1 高さ調節ユニットのピンを取り外す

Point

- 工場出荷時は、ボトム高さ25cmに設定されています。
ボトム高さ25cmでご使用になる場合は、この作業は必要ありませんので、そのままご使用ください。
25cm以外の高さでご使用になる場合は、以下の作業をおこなってください。

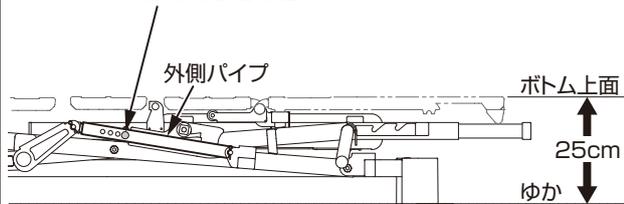


2 あたま側の昇降フレームを持ち上げて、内側パイプの穴と外側パイプの高さ調節穴を合わせて、①で取り外したピンを差し込み、スピードピンで固定する

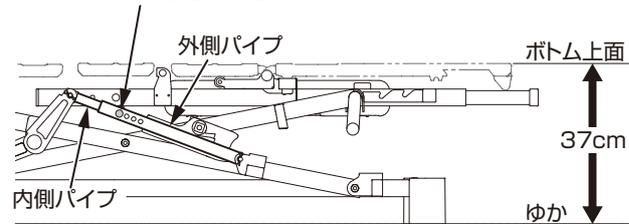


[例]

25cmの穴を使用した場合



37cmの穴を使用した場合



警告

内側パイプが脱落しケガをしたり、ベッドが破損する原因になります

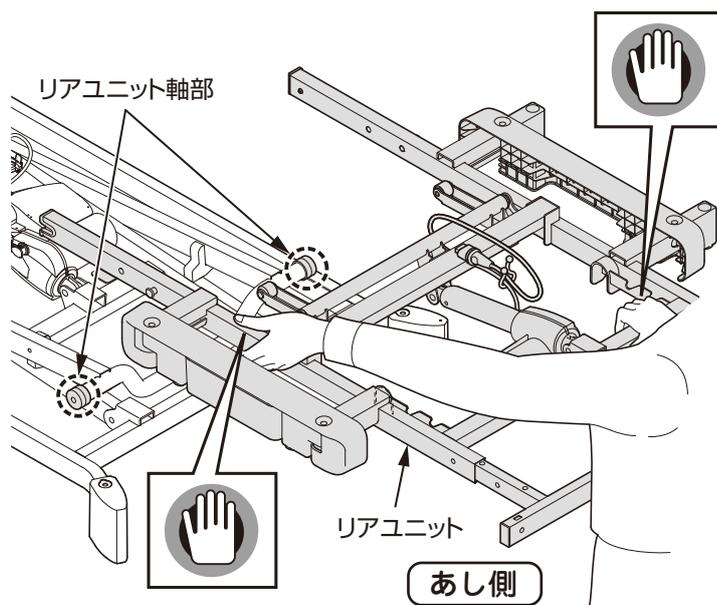
◆あたま側の昇降フレームを持ち上げすぎないでください。

1 リアユニットを取り付ける

1. リアユニットはハイローベースユニットの「あし側」に取り付けます。リアユニットを図のように持ってください。

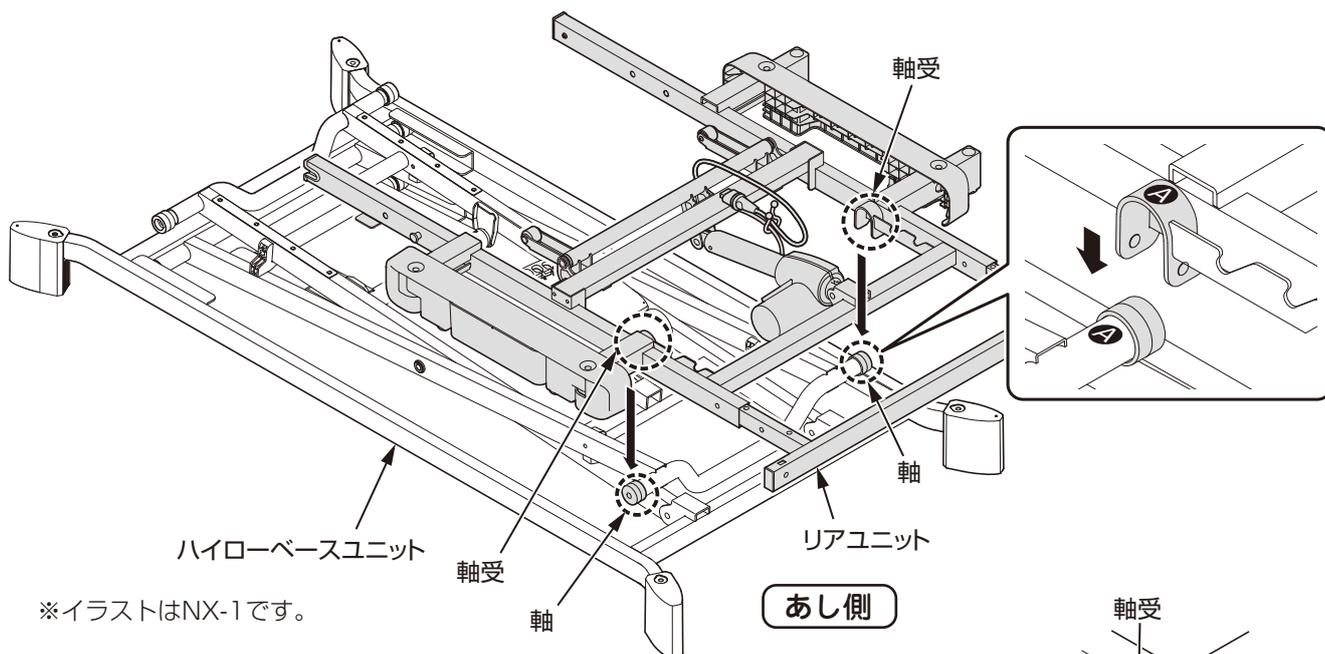
Point

-  シール位置を持つとバランス良く持ち上げることができます。



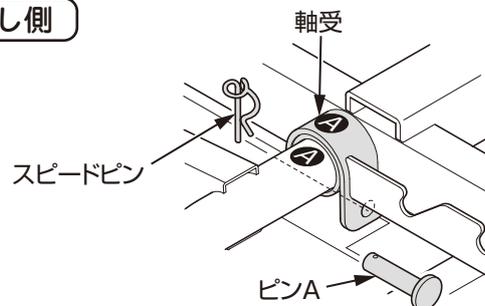
※イラストはNX-1です。

2. ハイローベースユニットのAシールとリアユニットのAシールを合わせて、ハイローベースユニットの軸がリアユニットの軸受けにはまるように乗せてください。



2 ピンAで固定する

リアユニット軸受下側の穴にあし側からピンAを通し、スピードピンで固定します。(左右2ヶ所)


 注意

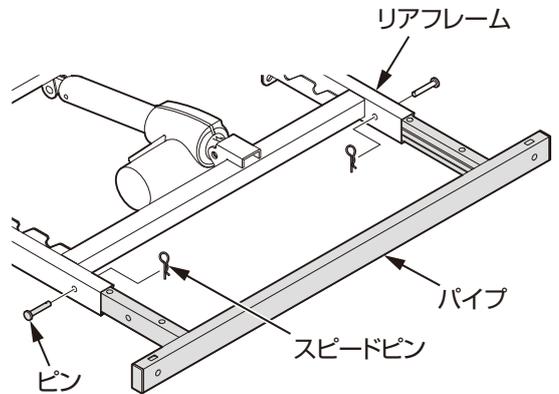
事故・破損の原因になります

- ◆ハイローベースユニットの軸部がリアユニットの軸受に確実にハマり込んでいることを確認してください。
- ◆ピンAとスピードピンは確実に固定してください。

Point

- ショートサイズおよび、ロングサイズ（ロングボトムユニット使用時）で使用する場合
 ※工場出荷時は、レギュラーサイズに設定されています。
 ロングサイズをご使用になる際は、ロングボトムユニット（オプション）をご利用ください。
 NXシリーズ共通です。

1. リアフレームのパイプを固定しているピンを取り外します。（左右）



※イラストはNX-1です。

2. リアフレームのパイプ長さを調整します。

使用するサイズの位置決め穴が見えるまでパイプを引き出します

位置決め穴
パイプ

使用するサイズの位置決め穴に、取り外したピンを差し込みます

ピン

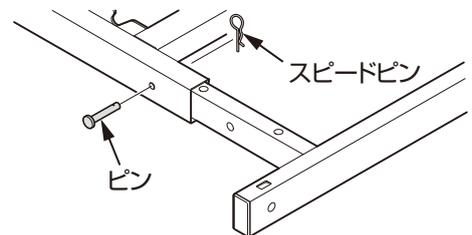
ピンの頭で止まるまで、パイプを押し込みます

パイプ

※位置決めに使ったピンは取り外します

ロングサイズ	レギュラーサイズ	ショートサイズ

3. 先の手順で外したピンを通しスピードピンで固定します。（左右）



⚠ 注意

事故・破損の原因になります

◆ピンはスピードピンで確実に固定してください。

◆リアフレームの長さを変更したときは、必ず脚ボトムも同じサイズに変更してください。

39 ページ 参照

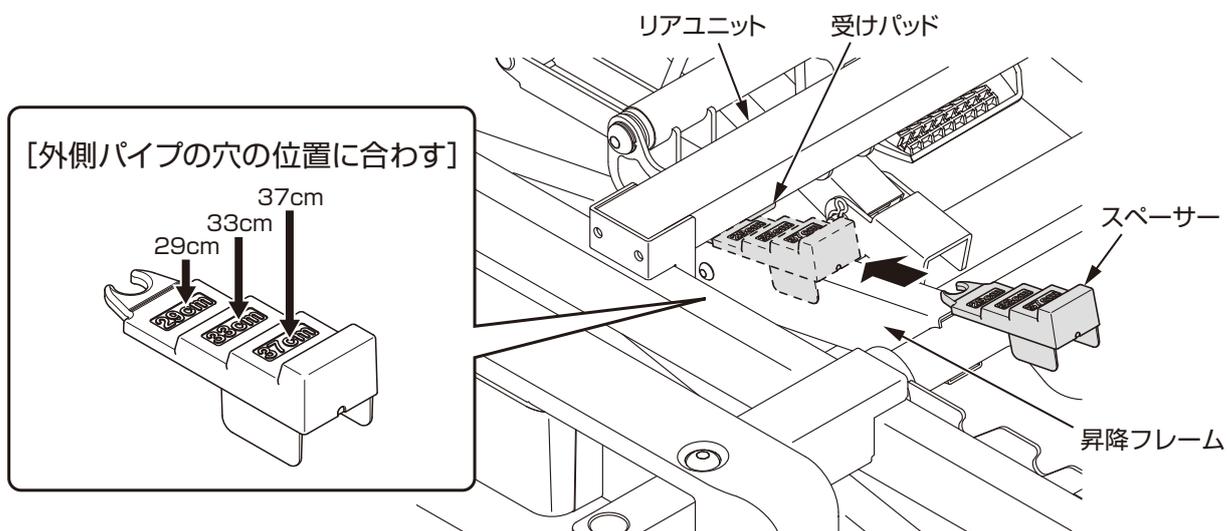
Point

- STEP2で、NX-Bのゆかからボトム面までの高さを、29cm・33cm・37cmに調節した場合は、必ずスペーサーを昇降フレームとリアユニットの間にはめ込み、リアユニットが水平になるように調節します。
- 25cmの場合はスペーサーは使用しません。P30「STEP6 ②スペーサーを収納する」を参照して、スペーサーを収納してください。

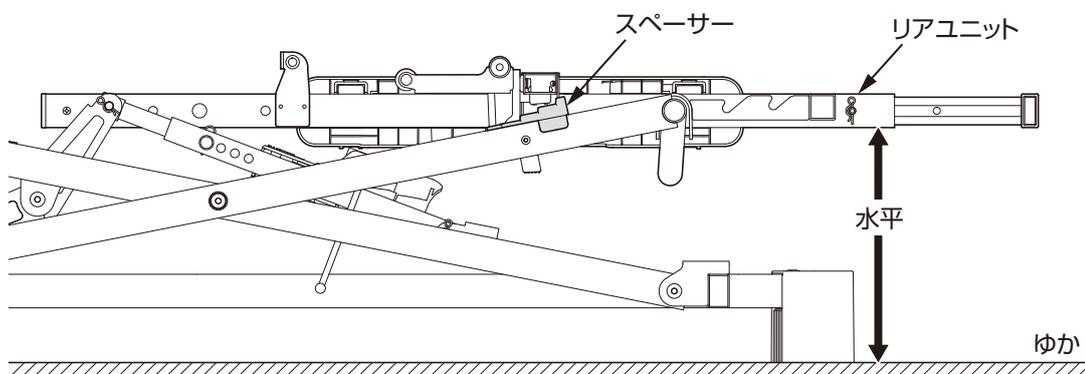
1 スペーサーを昇降フレームとリアユニットの間にはめ込む

STEP2で調節した高さの表示があるスペーサーの段に、リアユニットの受けパッドが乗るように、スペーサーを昇降フレームとリアユニットの間にはめ込みます。

例えば、29cmに調節した場合は、スペーサーの29cmの段のところに、リアユニットの受けパッドが乗るようにはめ込んでください。



2 リアユニットがゆかと水平になっていることを確認する



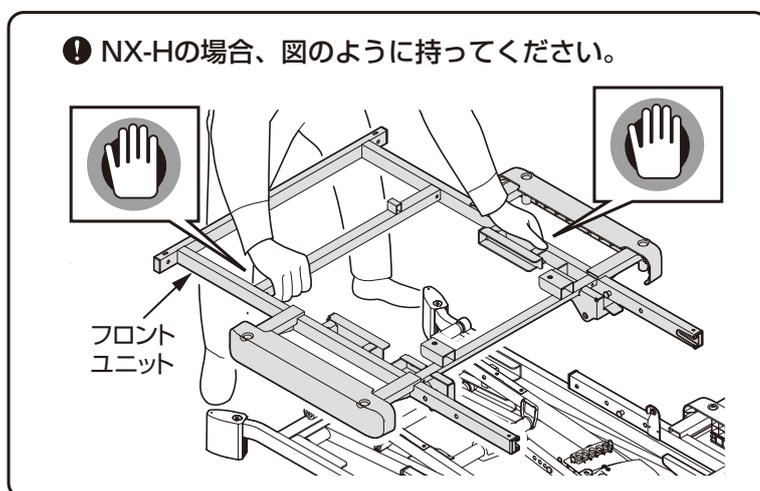
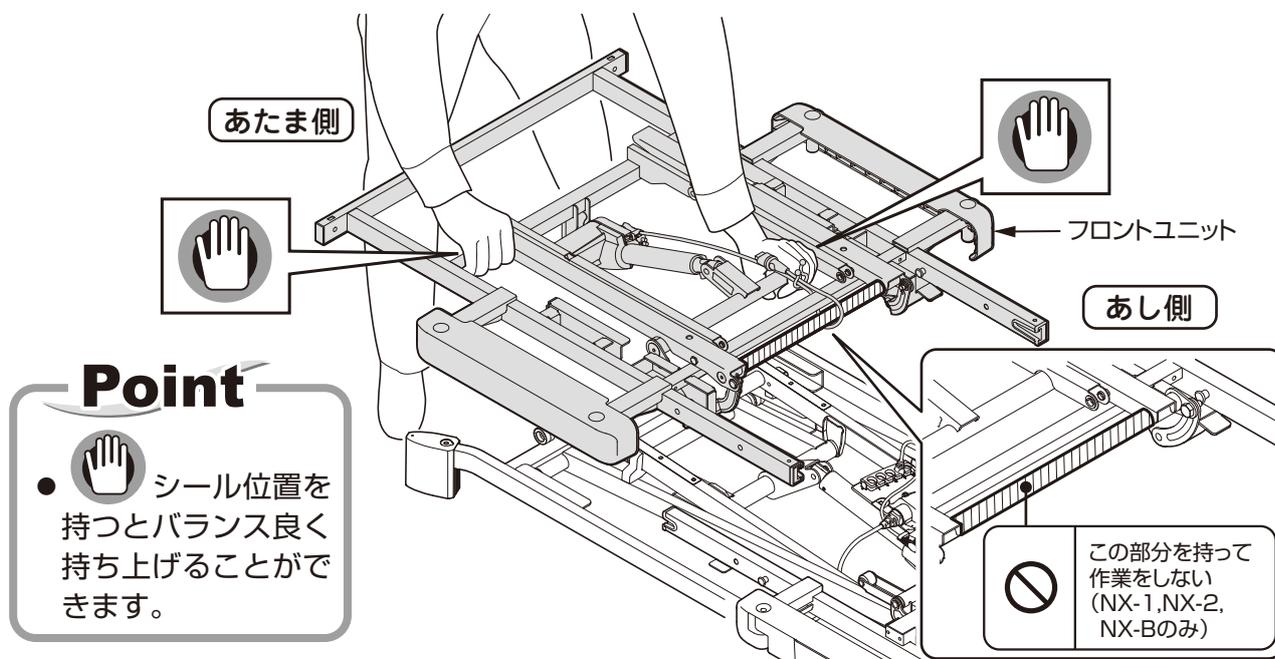
⚠ 注意

事故・破損の原因になります

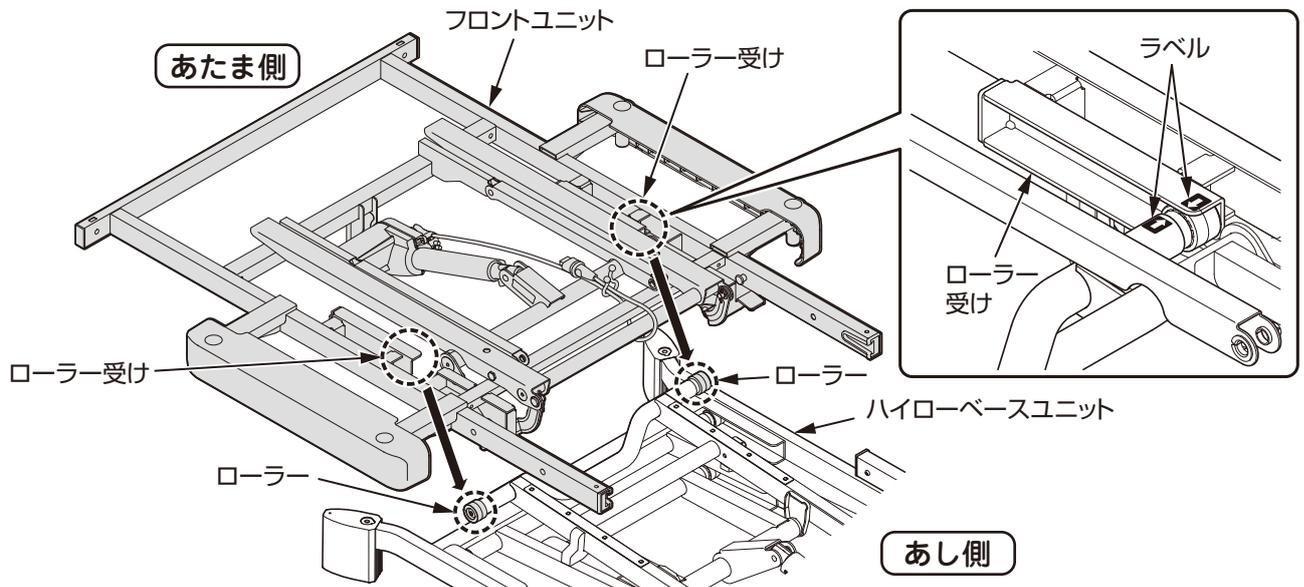
- ◆リアユニットがゆかと水平になっていないと、フロントユニットの組付けができません。ボトム面の高さに合った段のところにスペーサーをはめ込んでください。

1 フロントユニットを取り付ける

1. フロントユニットはハイローベースユニットの「あたま側」に取り付けます。
フロントユニットを図のように持ってください。

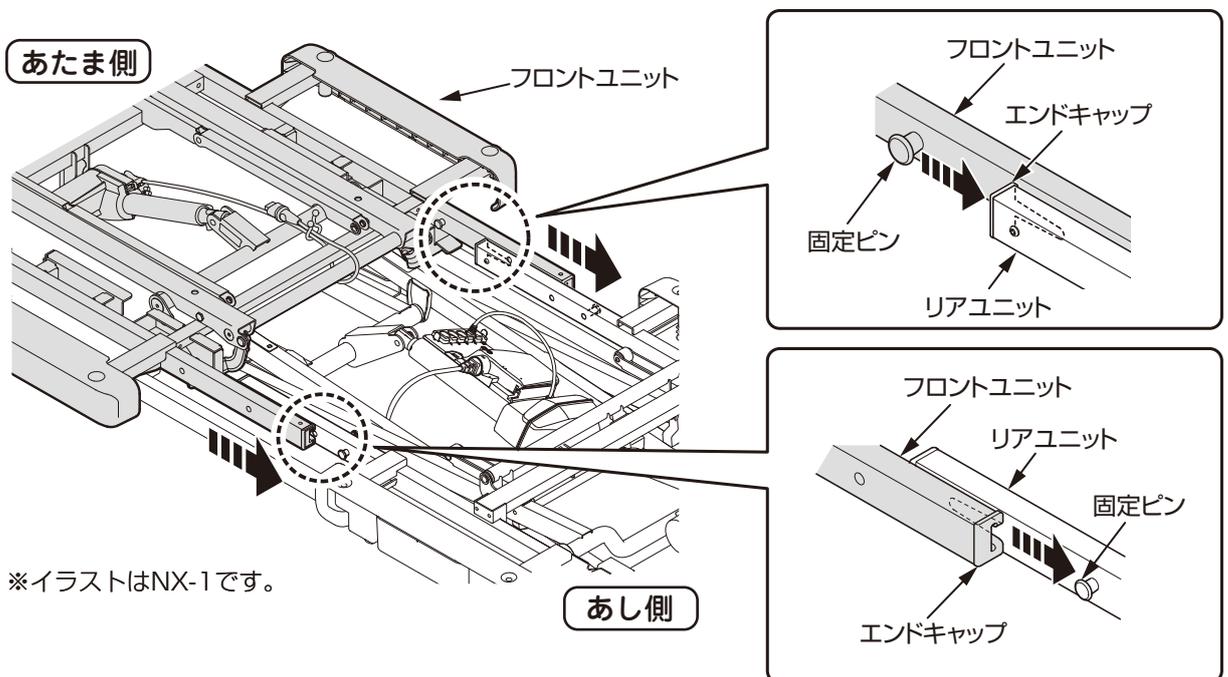


2. ハイローベースユニットの矢印ラベルとフロントユニットのローラー受けの矢印ラベルを合わせてローラー受にローラーをはめて取り付けます。
フロントユニットのローラー受けがハイローベースユニットのローラーに合うように取り付けます。



※イラストはNX-1です。

3. フロントユニット、リアユニットのそれぞれの内側、外側の固定ピンとエンドキャップの受け口がかみ合うようにフロントユニットを「あし側」にスライドさせます。



※イラストはNX-1です。

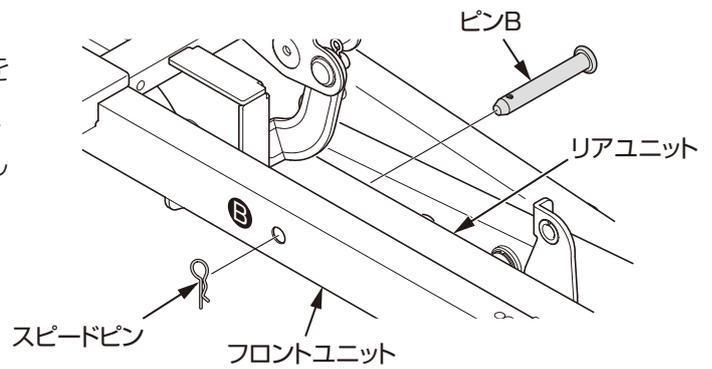
⚠ 注意

事故・破損の原因になります

- ◆フロントユニットとリアユニットの固定ピンがエンドキャップの受け口に確実にハマり込んでいることを必ず確認してください。

2 ピンBで固定する

フロントユニットとリアユニットの穴を合わせて、ピンBをベッド内側から外に向けて差し込み、スピードピンで固定します。(左右2ヶ所)



STEP6 スペーサーの取り外し ▶ NX-B

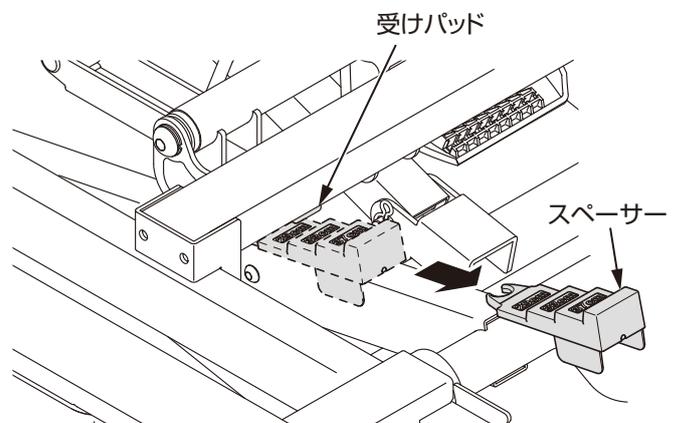
NX-1,NX-2,NX-Hではこの作業は行いません

1 スペーサーを取り外す

STEP4で昇降フレームとリアユニットの間に、はめ込んだスペーサーを取り外します。

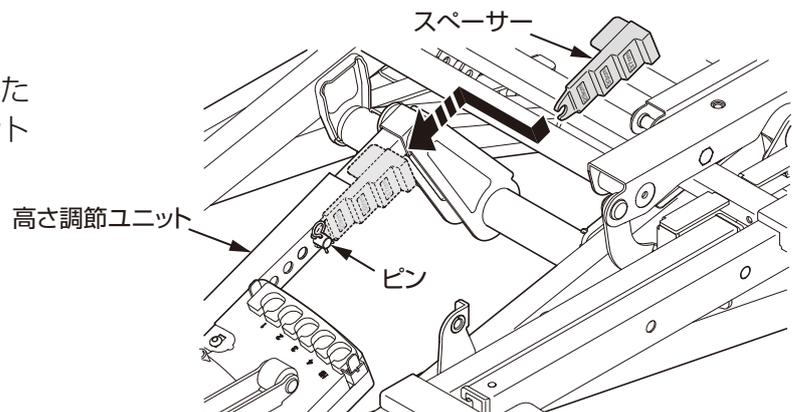
Point

- ゆかからボトム面までの高さを25cmに調節している場合は、この作業は必要ありません。

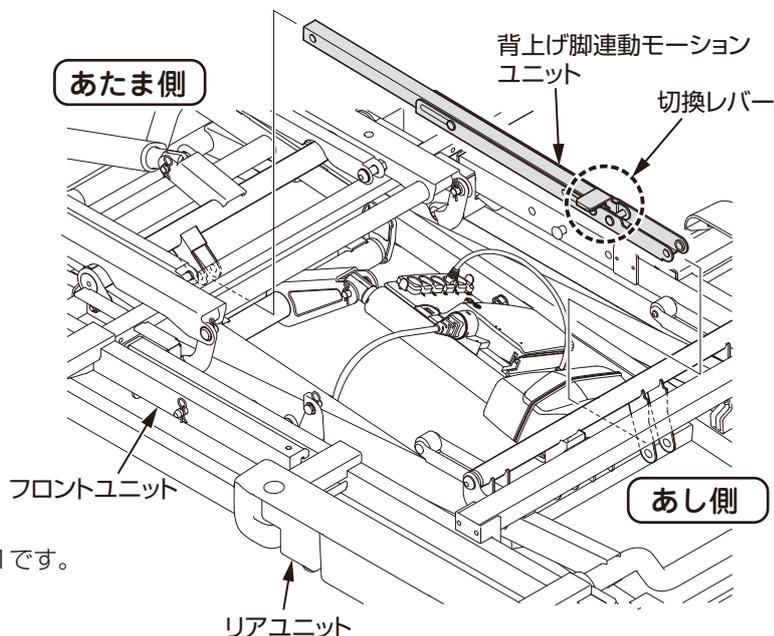


2 スペーサーを収納する

紛失を防ぐため、取り外したスペーサーを、高さ調節ユニットのピン軸部にはめ込みます。



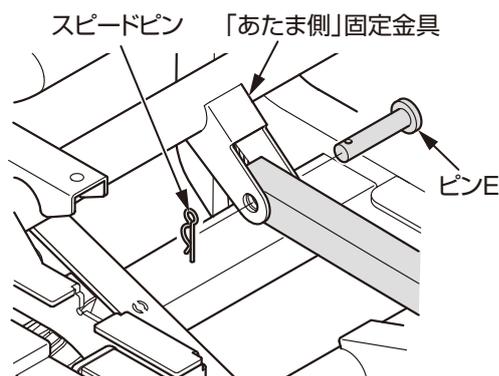
1 背上げ脚連動モーションユニットの取り付け先を確認する



※イラストはNX-1です。

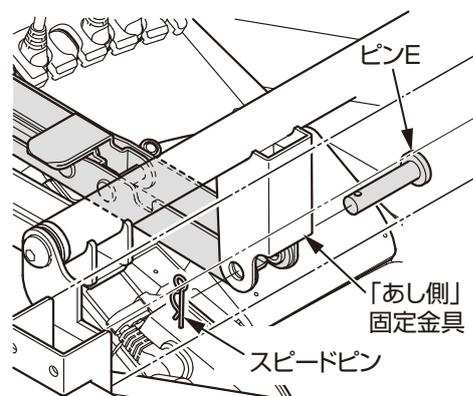
2 背上げ脚連動モーションユニットの「あたま側」をフロントユニットの「あたま側」固定金具に固定する

ピンEを穴に通してスピードピンで固定します。



3 背上げ脚連動モーションユニットの「あし側」をリアユニットの「あし側」固定金具に固定する

ピンEを穴に通してスピードピンで固定します。



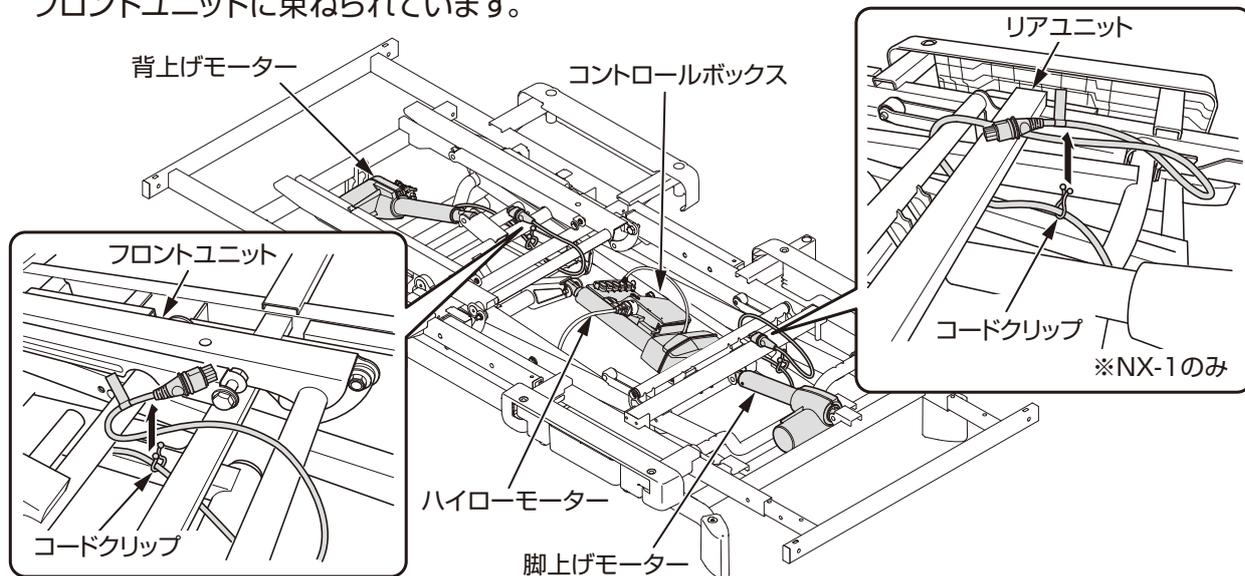
注意

事故・破損の原因になります

- ◆膝・脚ボトムの落下に注意してください。
- ◆ピンEはスピードピンで確実に固定してください。

Point

- 脚上げモーター (NX-1のみ)・背上げモーター (NX-Hはなし) のコードは、リアユニットおよびフロントユニットに束ねられています。



注意

静電気によって故障するおそれがあります

静電気は衣類や人体に帯電しています。コード類をコントロールボックスに接続する前に、ベッド以外の金属製のものに触れるなどして、必ず静電気を逃してください。

故障や感電の原因となるおそれがあります。

コード類を接続する際には接続口に直接手を触れないでください。

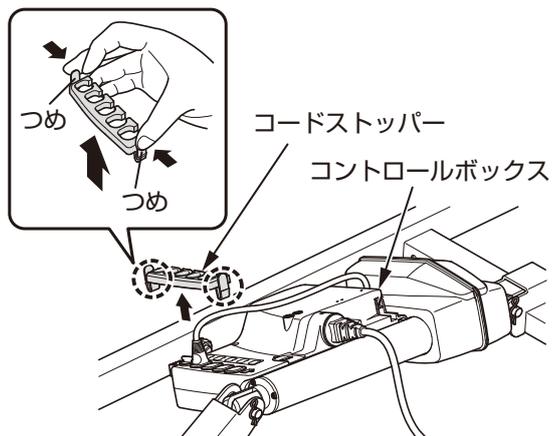
1 コードストッパーを取り外す ▶NXシリーズ共通

1. コントロールボックスからコードストッパーを取り外します。コードストッパーは両端のつまめを押さながらゆっくり持ち上げて取り外してください。

注意

コードストッパーの両端のつまめがコントロールボックスから外れていることを確認してから、ストッパーを取り外してください。

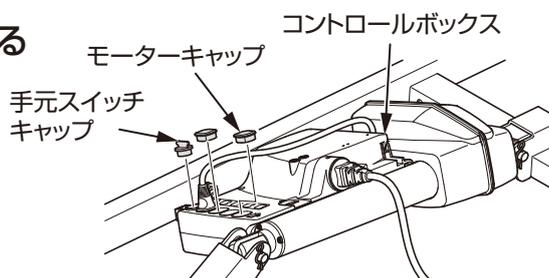
両端のつまめが外れていない状態で外すと破損します。



2 コントロールボックスにコード類を接続する

▶NX-1・NX-2

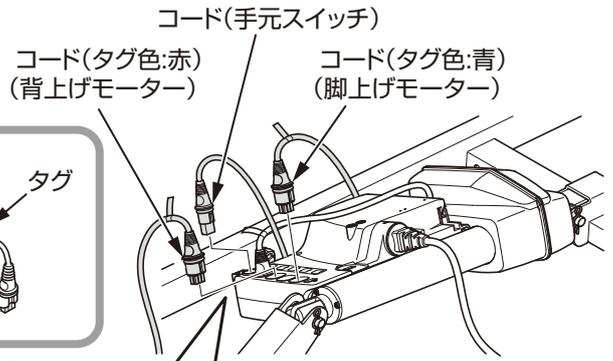
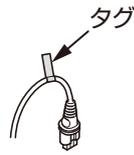
1. コントロールボックスから、モーターキャップ (NX-1は2個、NX-2は「あたま」を1個)、手元スイッチキャップを取り外します。



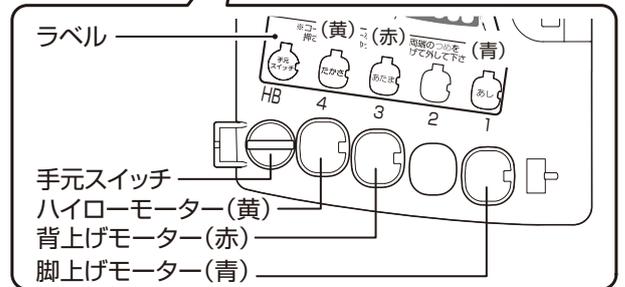
2. 背上げモーターのコード(タグ色:赤)を接続します。

Point

- コードのタグの色とコントロールボックスのラベルの色を合わせて接続すると、簡単に作業することができます。

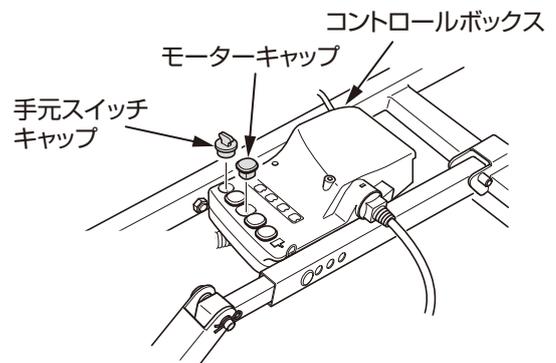


3. 脚上げモーターのコード(タグ色:青)を接続します。(NX-1のみ)
4. 手元スイッチのコードを接続します。



▶ NX-B

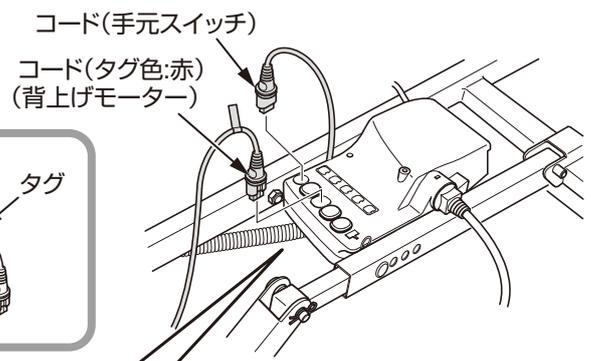
1. コントロールボックスから「あたま」のモーターキャップ、手元スイッチキャップを取り外します。



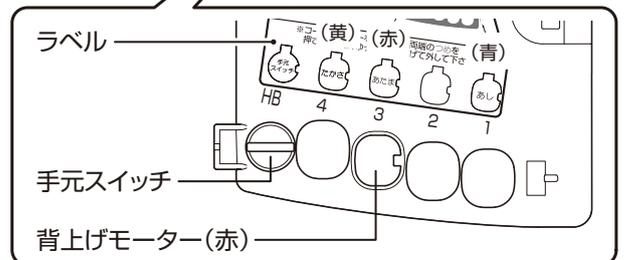
2. 背上げモーターのコード(タグ色:赤)を接続します。

Point

- コードのタグの色(タグ色:赤)とコントロールボックスのラベルの色(赤)を合わせて接続してください。

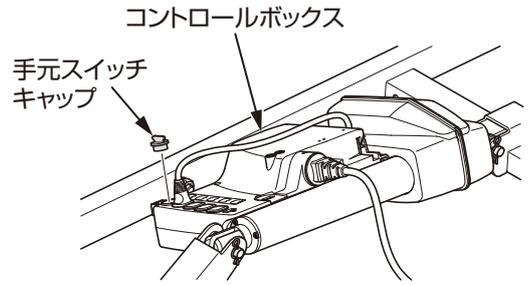


3. 手元スイッチのコードを接続します。

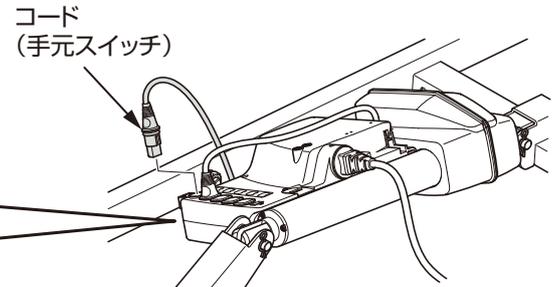
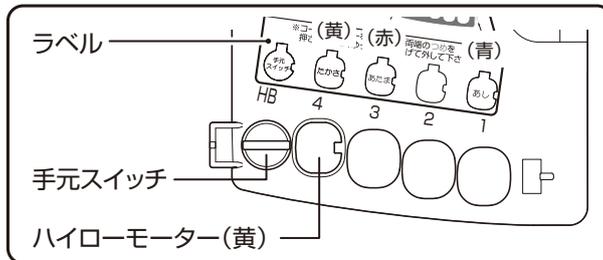


▶NX-H

1. コントロールボックスから手元スイッチキャップを取り外します。



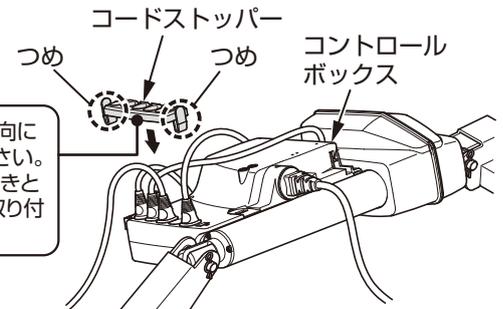
2. 手元スイッチのコードを接続します。



3 コードストッパーを取り付ける ▶NXシリーズ共通

1. コントロールボックスに「カチッ」と音がするまで、左右のつめをしっかりと差し込みます。

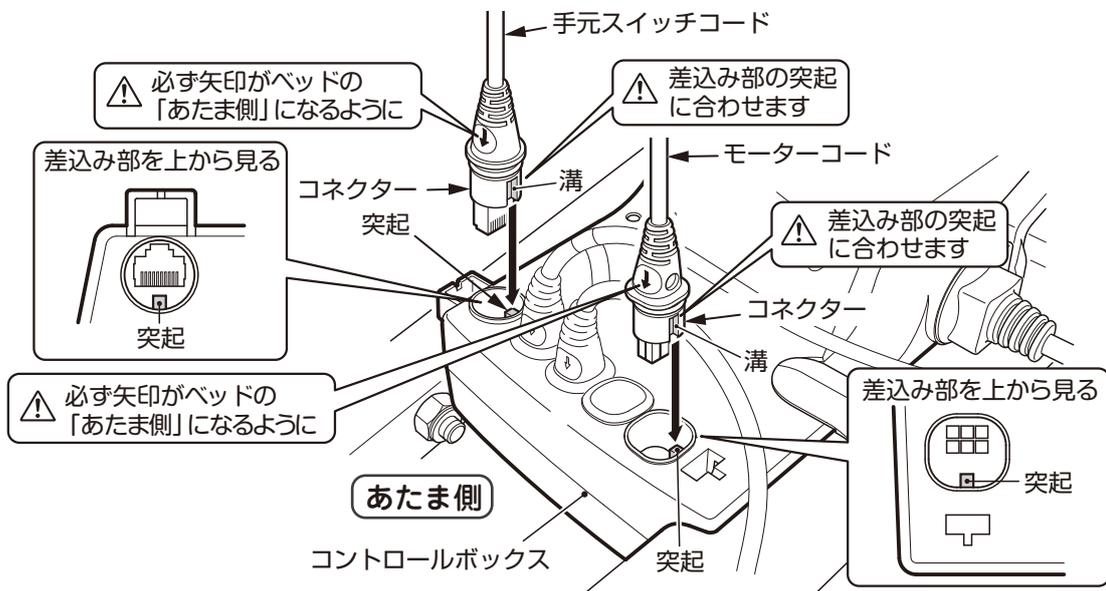
❗ 取り付けの方向に注意してください。(取り外したときと同じ向きで取り付け)



⚠ 注意

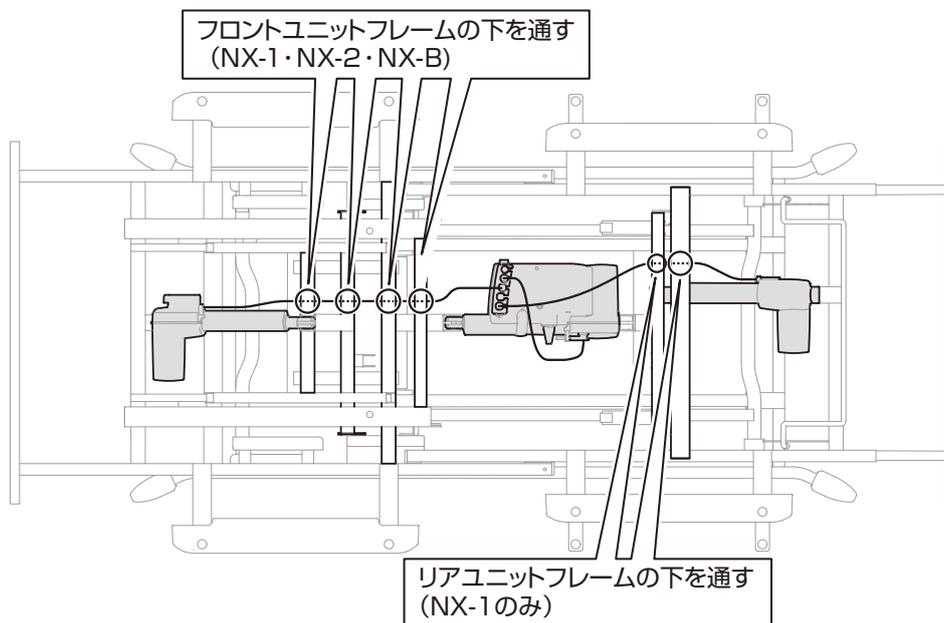
コード先端のコネクターの差込みには方向性がありますので、正しい向きで差込んでください

- 各コードの矢印表示が、ベッドの「あたま側」になる向きにして、コントロールボックスの差込み部に真上から真直ぐに、奥までしっかりと差込んで接続してください。差込む際には、各コードのコネクターの溝とコントロールボックスの差込み部の突起の向きが合っていることも確認してください。
- 間違った向きで無理やりコードを差込むとコネクタ部が変形して破損の原因となります。

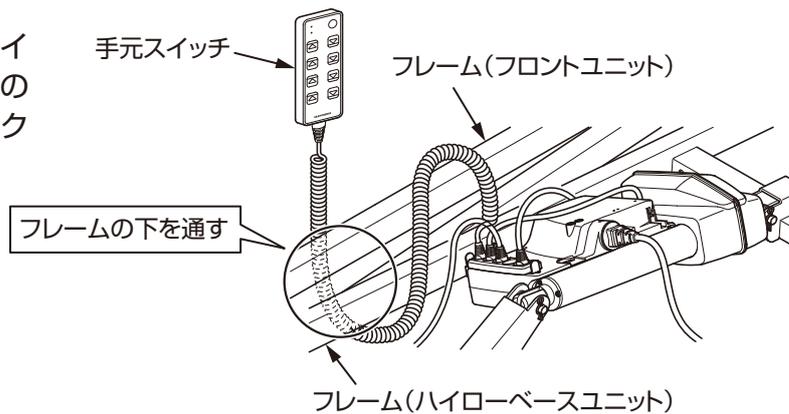


Point

- 各コードは下図のように配線してください。

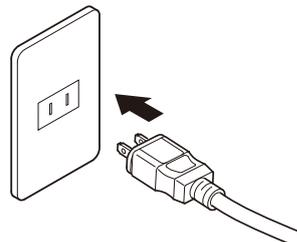


- 手元スイッチのコードは、ハイローベースユニットのフレームの下側を通してコントロールボックスに接続してください。



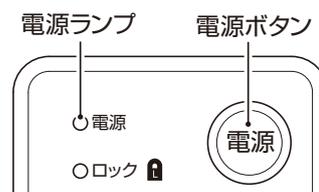
1 電源プラグをコンセントに差し込む

コントロールボックスの電源ランプが点灯します。
電源ランプの位置は、下のイラストを参照してください。



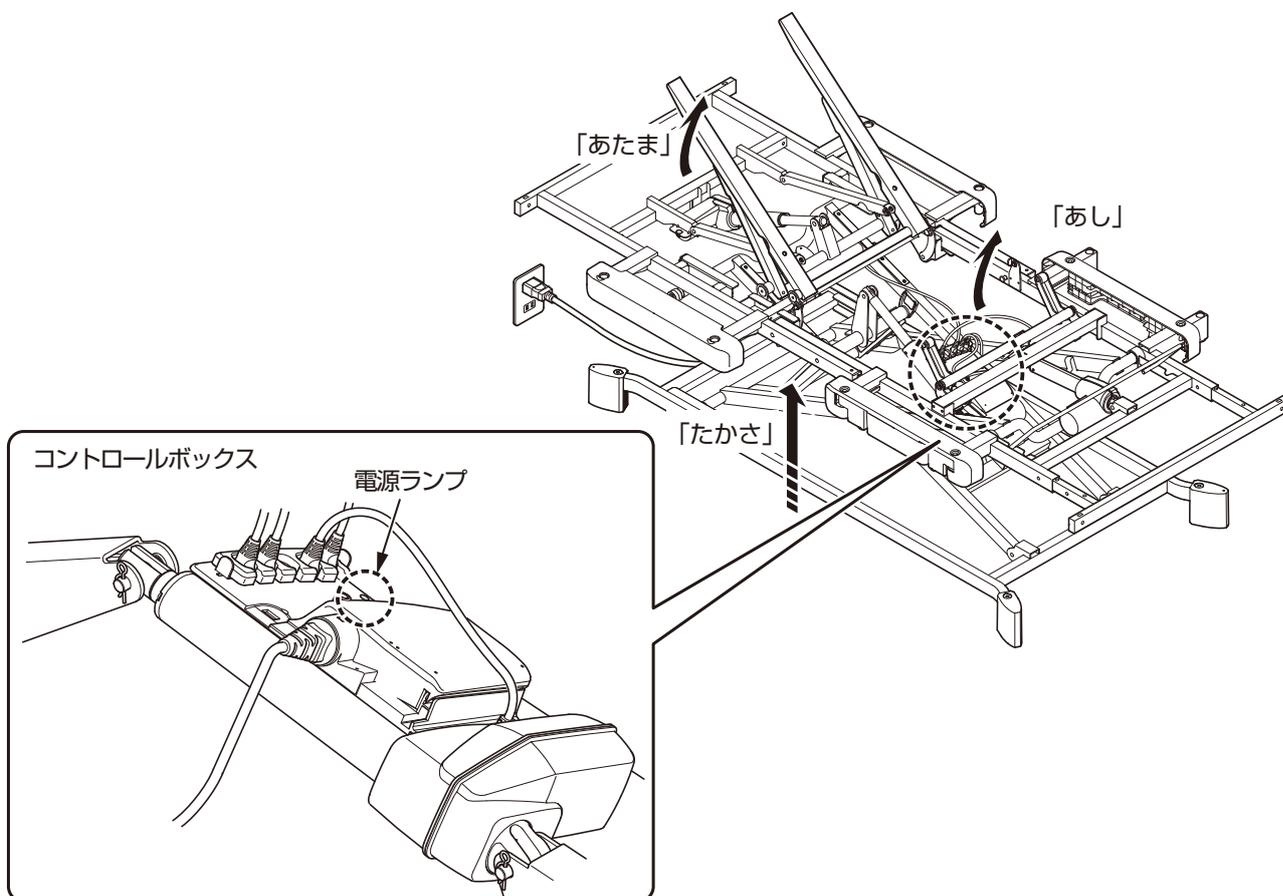
2 手元スイッチの電源をオンにする 9ページ 参照

電源ボタンを押して、手元スイッチが使える状態となっていることを緑色のランプ表示で確認してください。



3 ベッドの動作を確認する

手元スイッチのボタンを「あたま (NX-Hなし)」、「あし (NX-1のみ)」、「たかさ (NX-Bなし)」の順に押し、正常に動作するか、またモーターや手元スイッチのコードがからまったりフレームに引っ掛かったりしていないか確認します。



Point

- たかさは、十分上げた状態にしておくと組み立てやすくなります。(NX-1,NX-2,NX-H)

この時点で下記の項目を確認してください。

- ・コントロールボックスの電源ランプは点灯していますか？
- ・ピンAとピンB、ピンE (NX-2、NX-Bのみ) スピードピンは確実に差し込まれていますか？
- ・モーターから異常音がしていませんか？
- ・あたま (NX-Hなし)、あし (NX-1のみ)、たかさ (NX-Bなし) がスムーズに動作しますか？

以上の項目を確認して、異常がある場合は、もう一度「STEP8 コード類の接続 **32 ページ 参照**」から見直してください。

それでも直らない場合は、組み立てをやめて電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

4 水平な状態に戻す

確認が終わったら、「あたま(NX-Hなし)」、「あし(NX-1のみ)」を水平な状態に戻してください。水平な状態に戻したあと、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

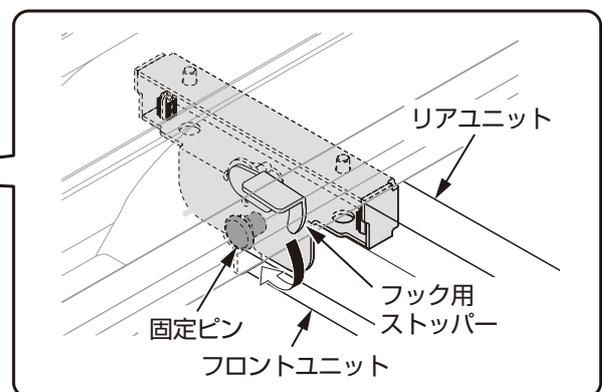
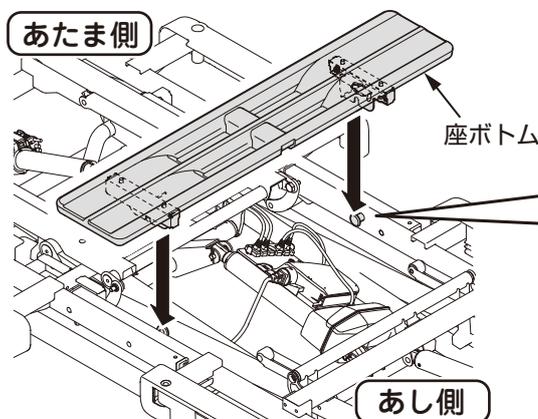
事故・ケガの原因になります

- ◆取り付け作業をするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。取り付け作業はモーターが動かない状態でおこなってください。

STEP10 座ボトムを取り付け ▶NXシリーズ共通

1 座ボトムを取り付ける

1. 座ボトムの受け口が、リアユニット内側の固定ピンにかみ合うよう、しっかり取り付けます。
2. フック用ストッパーを回転させ、固定ピンに確実に固定してください。



注意

事故・破損の原因になります

- ◆座ボトムは、フック用ストッパーで確実に固定してください。

1 膝・脚ボトムを取り付ける

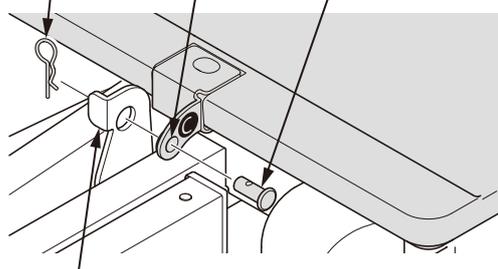
膝・脚ボトムを図のように持ち、リアユニットの連結部の穴を合わせます。

2 ピンCで固定する

ピンCを外側から穴に通し、スピードピンで固定します。

取付穴の横にはラベルで●の表示を設けています。(左右2ヶ所)

スピードピン 連結部の穴 ピンC



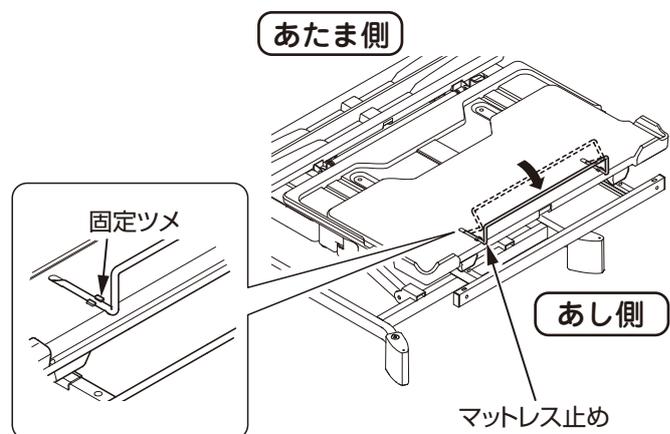
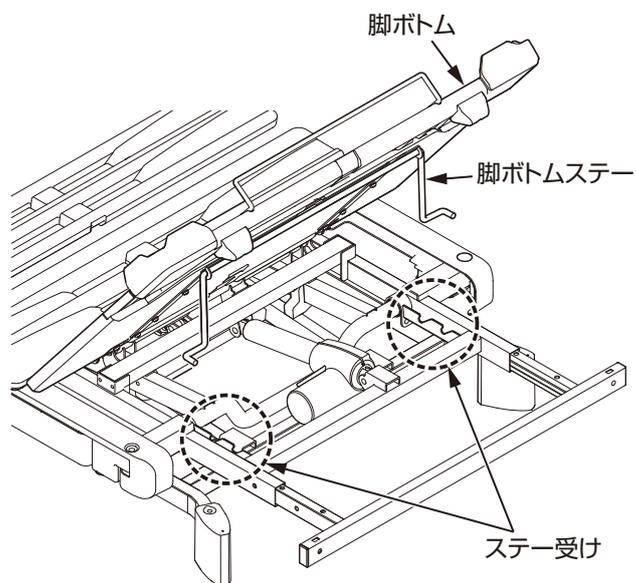
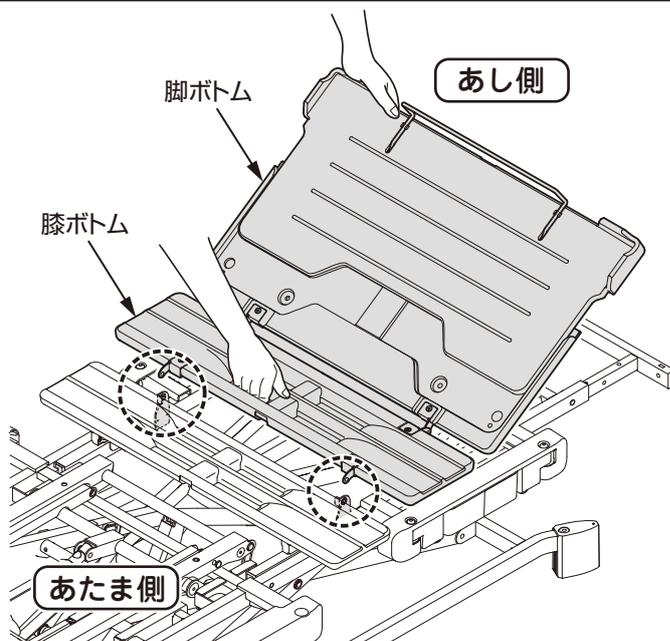
連結部(リアユニット側)

3 脚ボトムステーをステー受けの溝にはめる

16 ページ 参照

4 マットレス止めが固定されているか確認する

マットレス止めが脚ボトムから外れてしまっている場合、脚ボトムの固定ツメに押し込んで固定します。



注意

事故・破損の原因になります

- ◆膝・脚ボトムの落下に注意してください。
- ◆ピンCはスピードピンで確実に固定してください。

Point

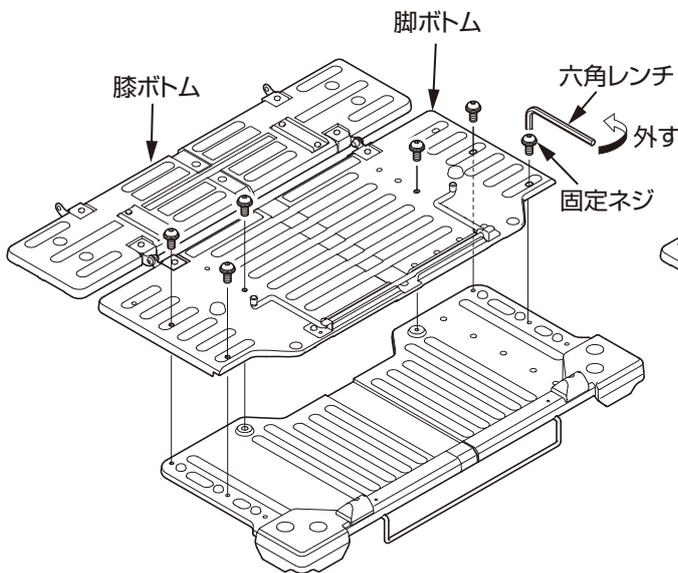
● ショートサイズで使用する場合

※工場出荷時は、レギュラーサイズに設定されています。

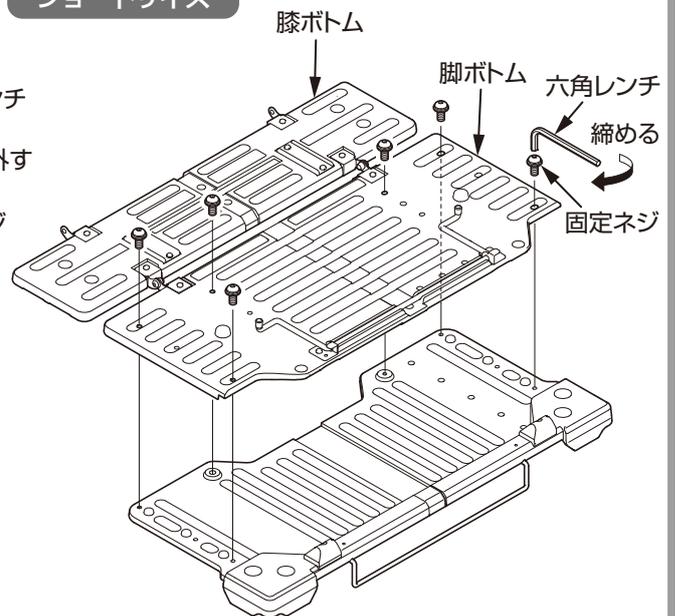
ロングサイズをご使用になる際は、ロングボトムユニット (オプション) をご利用ください。

1. 脚ボトム裏側の固定ネジを付属の六角レンチで外します。(6ヶ所)
2. 脚ボトムの凹部と凸部を合わせて位置決め凸部をショート位置凹部に組み合わせます。

レギュラーサイズ

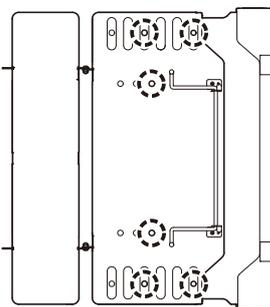


ショートサイズ

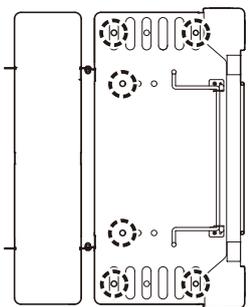


3. 六角レンチを使用して1. で外した固定ネジで固定します。(6ヶ所)
固定ネジの取り付け位置は右図を参照してください。

レギュラーサイズ



ショートサイズ



⚠ 注意

事故・破損の原因になります

◆固定ネジは六角レンチで確実に固定してください。

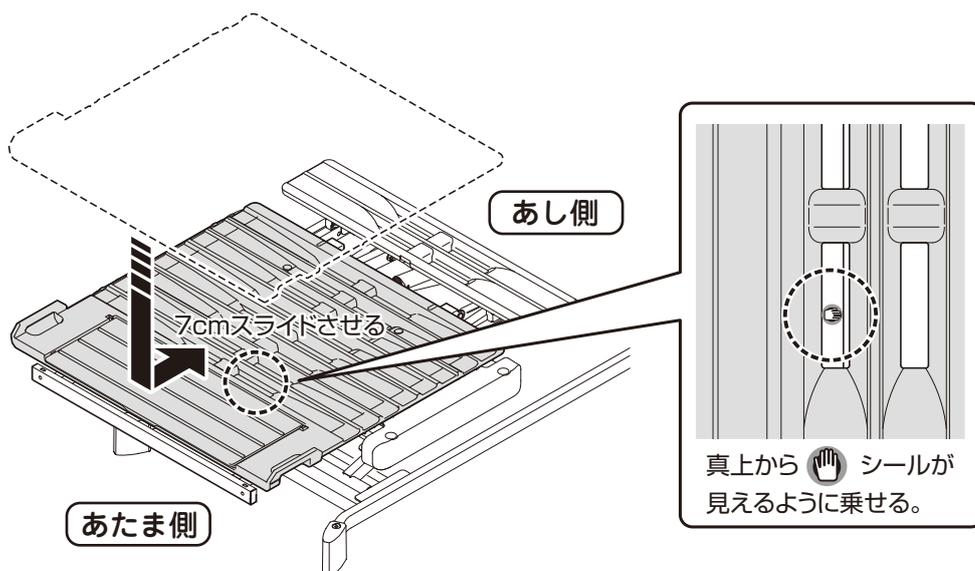
◆脚ボトムの長さを変更したときは、必ずリアフレームも同じサイズに変更してください。

26 ページ 参照

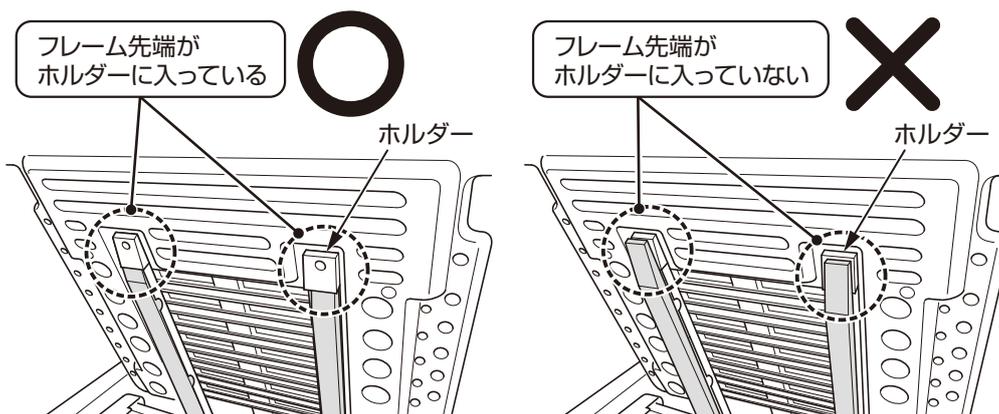
1 背ボトムをフレームに乗せる

▶NX-1・NX-2・NX-B

1. 背ボトムは、位置を合わせながらフロントユニットの真上から乗せます。
2. 背ボトムを「あし側」にスライドさせます。
約7cmスライドさせると正しい位置で止まり、ネジ止め穴が真上から見えます。
約7cmのスライド量は、空気穴と空気穴の距離です。



3. 背ボトムの背面に手を添えて持ち上げ、フレーム先端が白い樹脂製のホルダーの内側に入っていることを確認します。



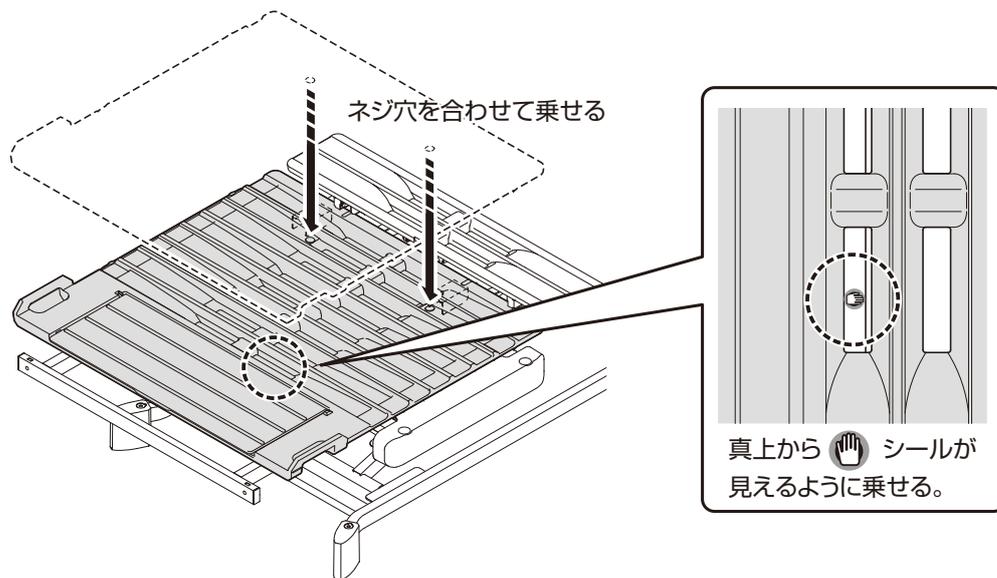
注意

事故・ケガの原因になります

◆背ボトムをスライドさせるとき、空気穴に手や指を入れないでください。

▶ NX-H

1. 図のように、背ボトムとリアフレームのネジ穴を合わせ、背ボトムの空気穴の真下に
 シールが見える位置に乗せる。



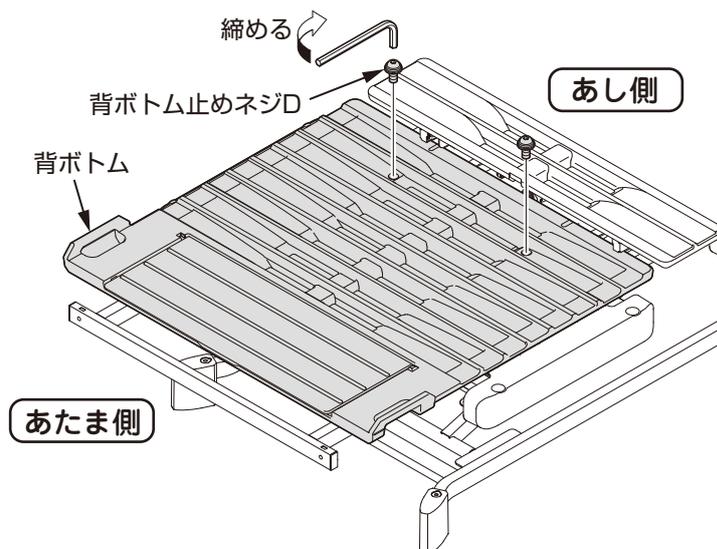
注意

事故・ケガの原因になります

◆背ボトムを乗せるとき、空気穴に手や指を入れないでください。

2 背ボトム止めネジDで固定する

1. 背ボトムの穴とフロントユニットのネジ穴を合わせ、背ボトム止めネジDを付属の六角レンチで固定します。(2ヶ所)



注意

事故、破損をします。

◆ネジは確実に締め込み、固定してください。

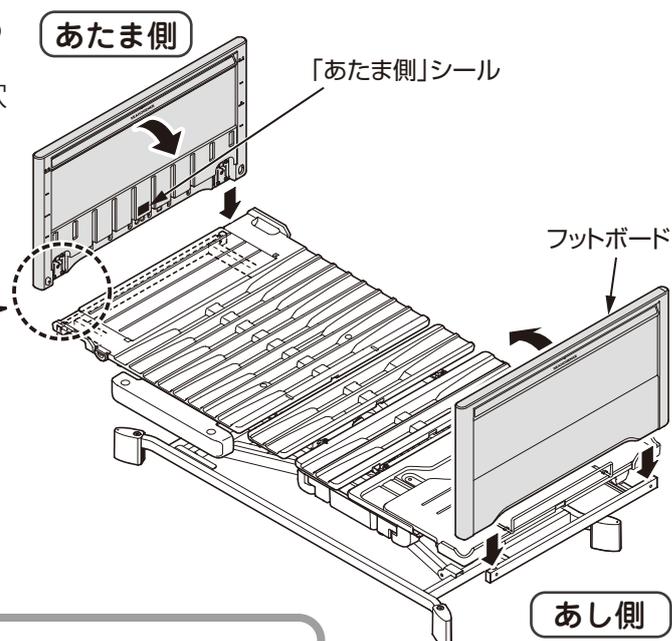
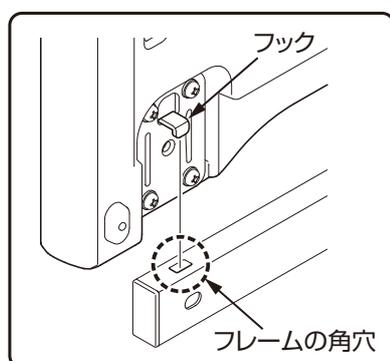
⚠ 注意

事故・破損・ケガの原因になります

- ◆ヘッド・フットボードの取り付け、取り外しの際は、手や指などをはさまないように注意してください。
- ◆ボードが外れるおそれがありますので、ヘッド・フットボードはしっかり最後まで差し込み、確実にノブボルトで固定してください。
- ◆ヘッド・フットボードに腰を掛けたり寄りかかったり、無理な荷重をかけないでください。

1 ヘッド・フットボードを取り付ける

ボード掛け金具のフックをフレームの角穴に差し込みます。
(内側に少し傾けながら差し込みます。)

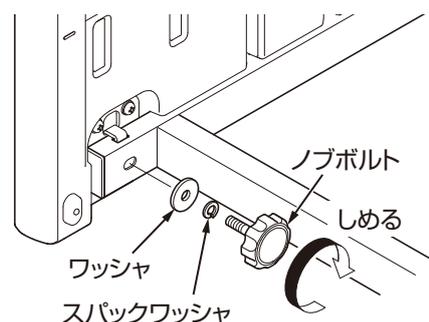


Point

- 「あたま側」シールを貼り付けた側がヘッドボードになります。

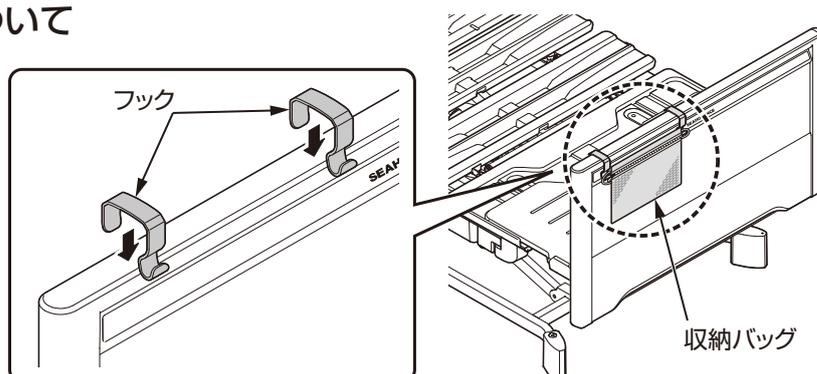
2 ノブボルトで固定する

穴の位置を合わせ、ノブボルトとスパックワッシャ、ワッシャで固定します。(左右)



3 収納バッグのご利用について

付属のフックを使用して、収納バッグをボードの外側にかけることができます。お好みに応じてご利用ください。取扱説明書などを入れることができます。



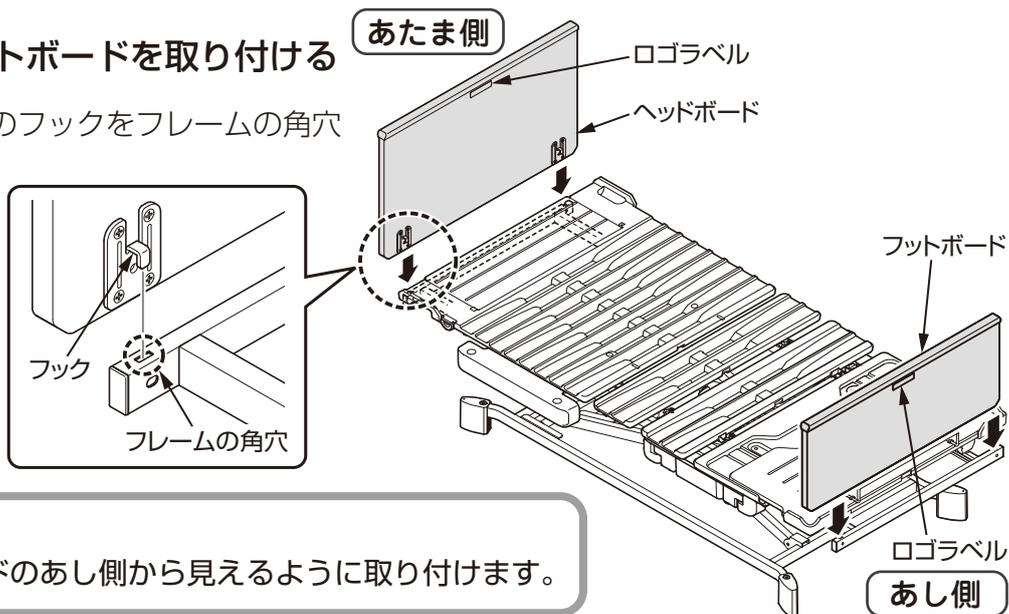
⚠ 注意

事故・破損・ケガの原因になります

- ◆ヘッド・フットボードの取り付け、取り外しの際は、手や指などをはさまないように注意してください。
- ◆ボードが外れるおそれがありますので、ヘッド・フットボードはしっかり最後まで差し込み、確実にノブボルトで固定してください。
- ◆ヘッド・フットボードに腰を掛けたり寄りかかったり、無理な荷重をかけないでください。

1 ヘッド・フットボードを取り付ける

ボード掛け金具のフックをフレームの角穴に差し込みます。



Point

- ロゴラベルがベッドのあし側から見えるように取り付けます。

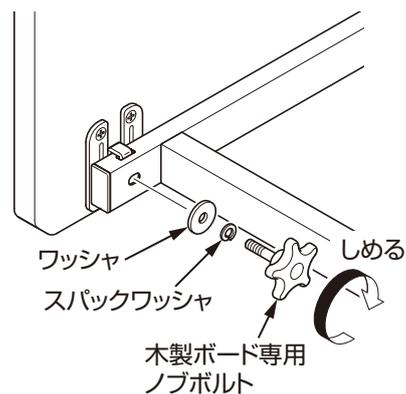
2 木製ボード専用ノブボルトで固定する

穴の位置を合わせ、木製ボード専用ノブボルトとスパックワッシャ、ワッシャで固定します。(左右)

⚠ 警告

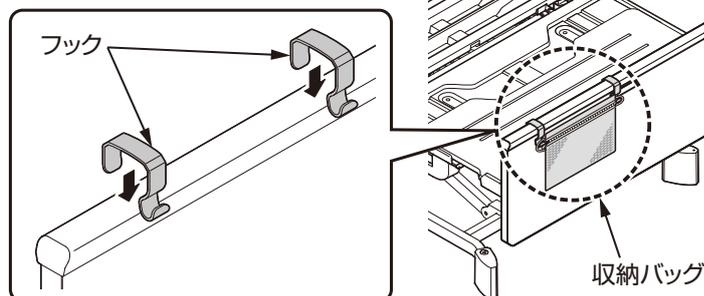
事故・ケガの原因になります

- ◆必ず同梱されている木製ボード専用ノブボルトを使用して確実に締め付けて固定してください。他のノブボルトやネジで取り付けした場合、ボードが固定されずに外れてケガをするおそれがあります。



3 収納バッグのご利用について

付属のフックを使用して、収納バッグをボードの外側にかけることができます。お好みに応じてご利用ください。取扱説明書などを入れることができます。



組み立て後の点検

ベッドの組み立てが終了したら、以下の項目にそって点検してください。



Point

- 手元スイッチで操作しながら点検している際に異常音や振動が生じた場合は、すぐに販売店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

点検項目		参照ページ	チェック
1	リアユニットの取り付け	p.25	<input type="checkbox"/>
	①リアユニットはハイローベースユニットに確実に取り付けられていますか？ ②ピンAはスピードピンで確実に固定されていますか？		
2	フロントユニットの取り付け	p.28	<input type="checkbox"/>
	①フロントユニットはハイローベースユニットに確実に取り付けられていますか？ ②ピンBはスピードピンで確実に固定されていますか？		
3	背上げ脚連動モーションユニットの取り付け (NX-2、NX-Bのみ)	p.31	<input type="checkbox"/>
	①ピンEはスピードピンで確実に固定されていますか？		
4	コード類の接続	p.32	<input type="checkbox"/>
	①正しい位置に接続されていますか？ ②確実に差し込まれていますか？		
5	座ボトム取り付け	p.37	<input type="checkbox"/>
	①座ボトムが固定ピンにフック用ストッパーで確実に固定されていますか？		
6	膝・脚ボトムの取り付け	p.38	<input type="checkbox"/>
	①ピンCはスピードピンで確実に固定されていますか？		
7	背ボトムの取り付け	p.40	<input type="checkbox"/>
	①背ボトム止めネジDは確実に固定されていますか？		
8	電源について	p.36	<input type="checkbox"/>
	①ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。 このとき、コントロールボックスの電源ランプは点灯していますか？		
9	操作 (動作時) について	p. 9 p.11	<input type="checkbox"/>
	①手元スイッチのボタンを押して、あたま (NX-Hなし)・あし (NX-1のみ)・たかさ (NX-Bなし) がスムーズに動作しますか？		
	②モーターから異常音がしませんか？ ③手元スイッチのボタンを押して背ボトムを上げた際、高さを昇降させた際に、周囲に十分なすき間がありますか？		

以上の項目を点検しても異常がある場合には、電源プラグをコンセントから抜き販売店、または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

設置

オプション

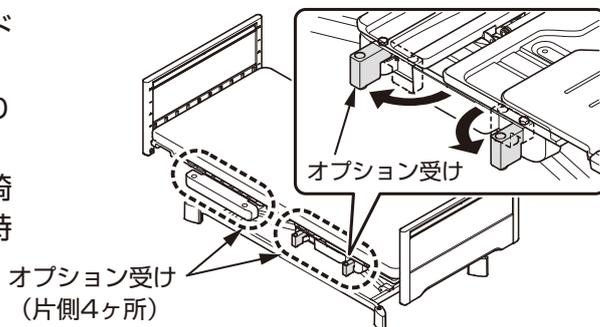
オプション

オプション受けの使用法

ベッド両側のオプション受けの穴を利用してサイドレールなどが使用できます。

あし側のオプション受けは、回転させることによりボトム下部に格納できます。

格納することによりベッドからの突出を抑えて、車椅子をより接近させることが可能です。移乗や歩行時にも引っかかりや動作の妨げにはなりません。



サイドレール JIS認証対象

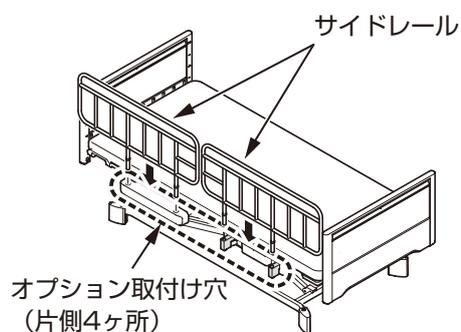
ベッド両側のオプション受けの穴を利用してサイドレールが使用できます。

※適合するサイドレール、ベッドへの取付け位置は組み合わせ表※1を参照して正しく取り付けてください。

※必ずベッドのサイズに合ったサイドレールをご使用ください。

※本製品と下記の図表のサイドレールの組み合わせは JIS 認証を取得しています。図表以外のサイドレールと組み合わせた場合、JIS 認証を取得していない状態となります。

※1 45～47 ページ



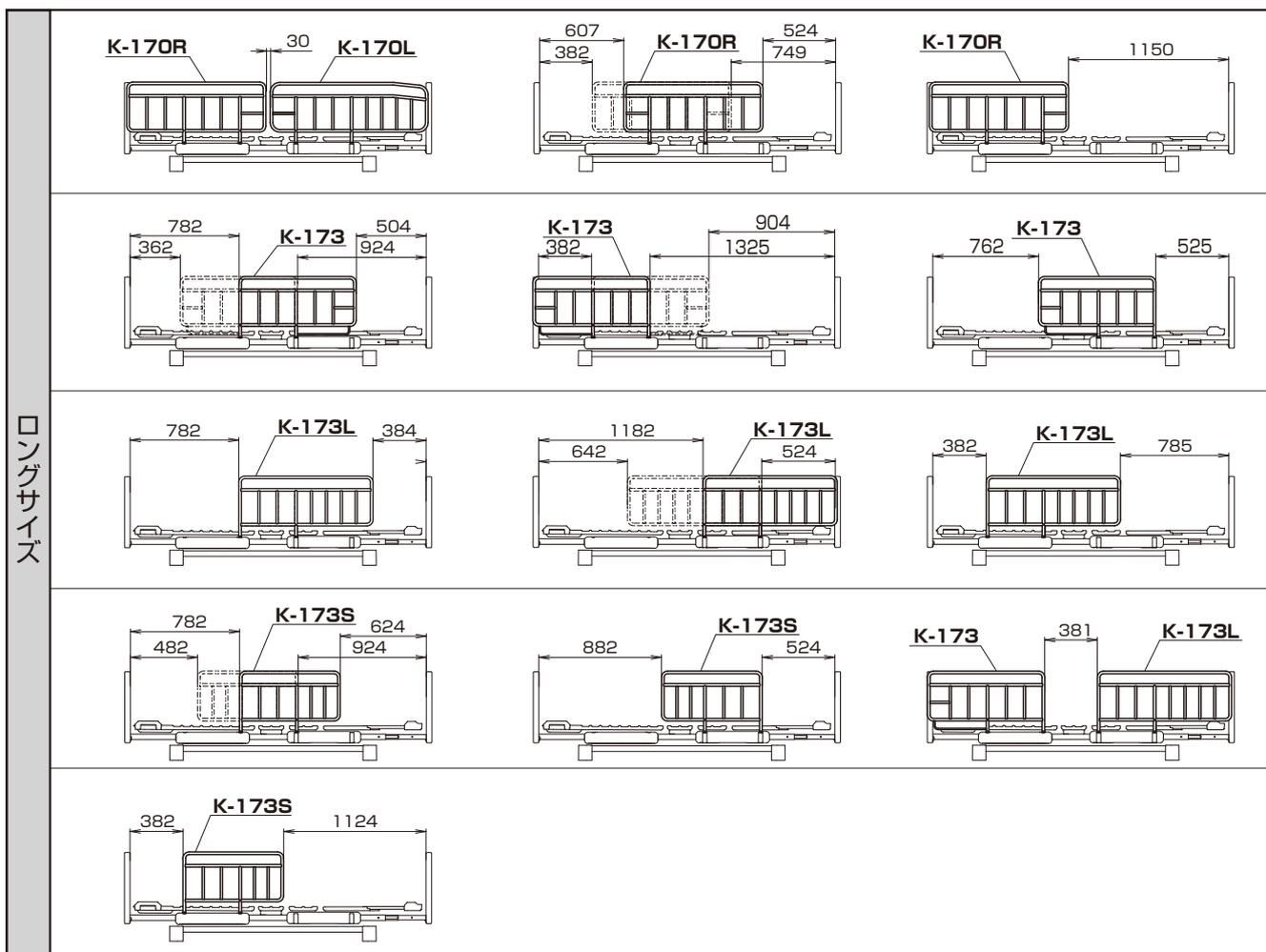
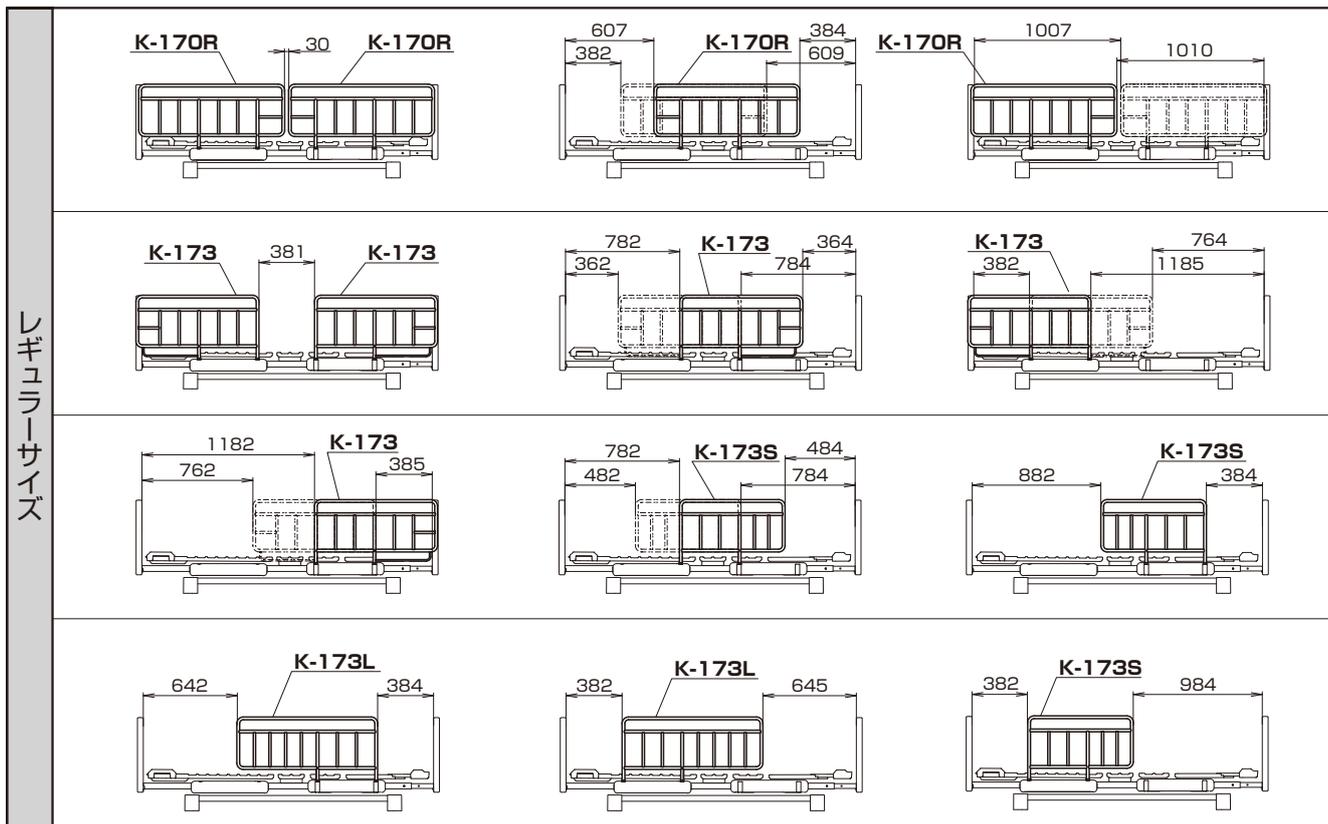
● 各ベッドサイズごとの標準的なサイドレールの組み合わせ

(単位:mm)

ショートサイズ			

● 各ベッドサイズごとの標準的なサイドレールの組み合わせ (つづき)

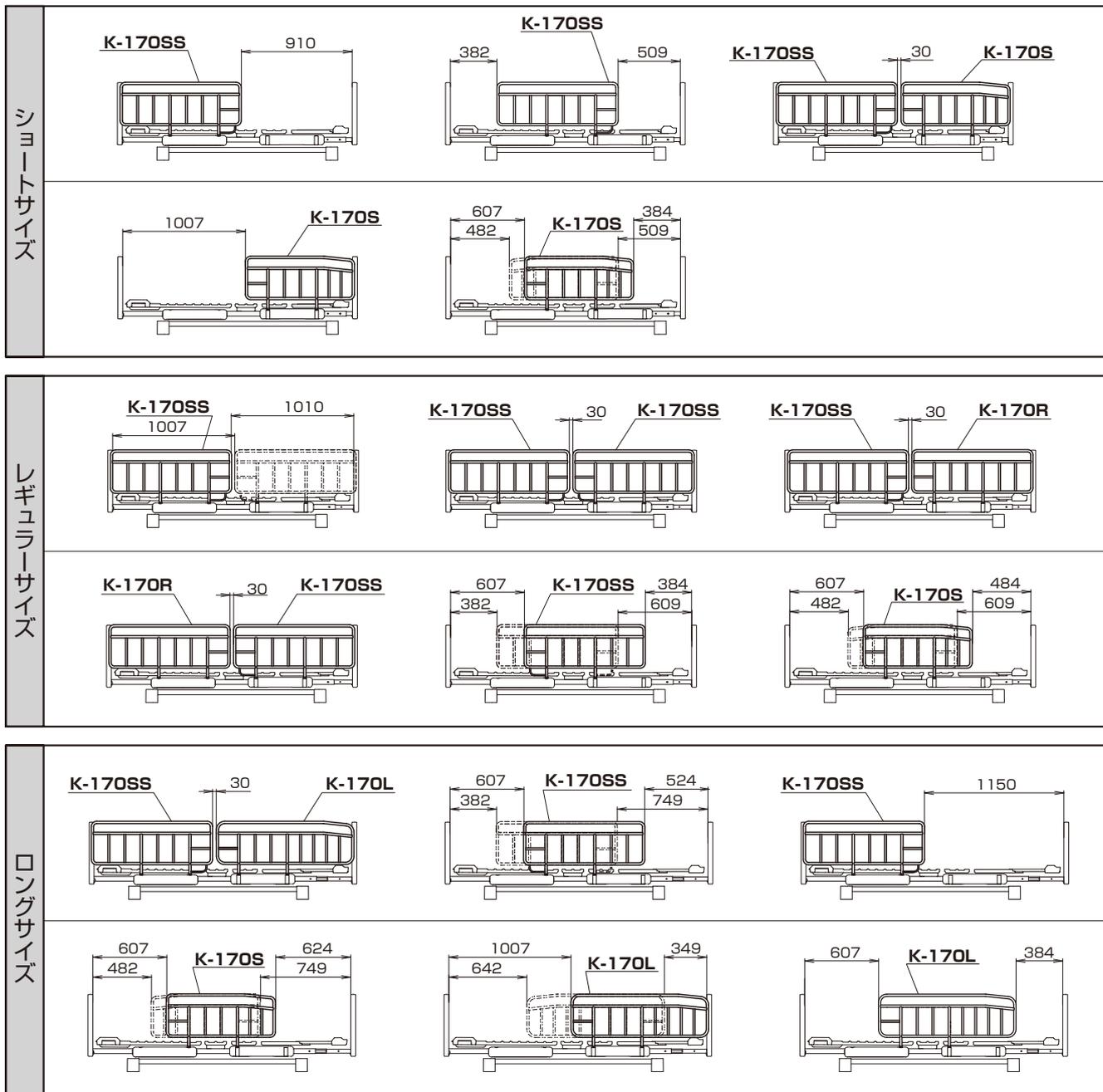
(単位:mm)



オプション

● K-170SS、K170S、K-170Lを使用した
各ベッドサイズごとのサイドレールの組み合わせ

(単位:mm)



警告

事故・破損・ケガの原因になります

- ◆サイドレールの差込み部を2ヶ所ともベッドのオプション受けの穴に差込んでください。
- ◆サイドレールを取り付ける際は、オプション受けの穴に異物が入っていないことを確認してください。
異物が入っていると確実に取り付けることができず、ベッドからの転落や、意図せぬすき間が発生することにより、身体の一部がはさまれてケガをするおそれがあります。
- ◆組み合わせを間違えると事故につながるおそれがあります。

サポートグリップ K-95 JIS認証対象

ベッド両側のオプション受けの穴を利用してサポートグリップを使用できます。

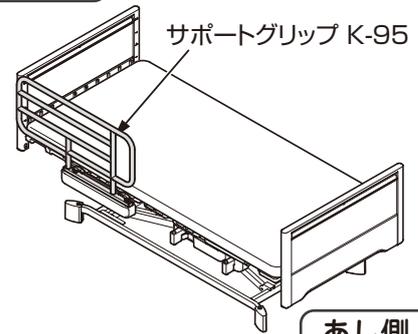
※安全のため、ご使用の方がベッドから転落するおそれがある場合などには、このサポートグリップと併用して「回転式アーム介助バー K-47R、K-45R、K-40RX」または「サイドレール K-195RX、K-195SX、K-195LX、K-173、K-173S、K-173L」をベッドのサイズに応じて、組み合わせてください。

※ベッドへの取り付け位置は組み合わせ表を参照して正しく取り付けてください。

※本製品とこのサポートグリップと「回転式アーム介助バー K-47R、K-45R、K-40RX」または「サイドレール K-195RX、K-195SX、K-195LX、K-173、K-173S、K-173L」の組み合わせはJIS認証を取得しています。

図表以外と組み合わせた場合、JIS認証を取得していない状態となります。

あたま側



あし側

● サポートグリップ K-95を使用した 各ベッドサイズごとのサイドレールの組み合わせ

(単位:mm)

レギュラーサイズ				
ショートサイズ				
ロングサイズ				

オプション



警告

事故・破損・ケガの原因になります

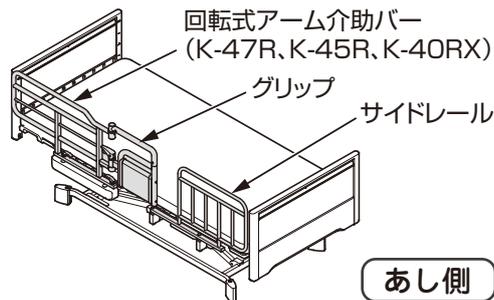
- ◆固定脚を2ヶ所ともベッドのオプション受けの穴に差込んでください。
- ◆サポートグリップを取り付ける際は、オプション受けの穴に異物が入っていないことを確認してください。異物が入っていると確実に取り付けることができず、ベッドからの転落や、意図せぬすき間が発生することにより、身体の一部がはさまれてケガをするおそれがあります。
- ◆ベッドに取り付ける際は取り付けレバーで確実に固定してください。
- ◆組み合わせを間違えると事故につながるおそれがあります。

回転式アーム介助バー K-47R/K-45R/K-40RX JIS認証対象

ベッド両側のオプション受けの穴を利用して回転式アーム介助バー(K-47R、K-45R、K-40RX)を使用できます。

回転式アーム介助バー(K-47R、K-45R、K-40RX)は、ベッドからの起き上がりや立ち上がりなどの動作を補助するのに役立ちます。

あたま側



あし側

※安全のため、お使いいただく方がベッドから転落するおそれがある場合などには、「K-47R、K-45R、K-40RX 回転式アーム介助バー」と併用して「サイドレール K-195RX、K-195SX、K-195LX、K-173、K-173S、K-173L」を組み合わせてご使用ください。
 ※ベッドへの取付け位置は図表を参照して正しく取り付けてください。

※本製品と「K-47R、K-45R、K-40RX 回転式アーム介助バー」と「サイドレール K-195RX、K-195SX、K-195LX、K-173、K-173S、K-173L」の組み合わせは JIS 認証を取得しています。図表以外と組み合わせた場合、JIS 認証を取得していない状態となります。

● レギュラーサイズ

(単位:mm)

● ショートサイズ

(単位:mm)

あたま側	K-47R K-45R K-40RX		K-173	あし側	あたま側	K-47R K-45R K-40RX		K-173S	あし側
	K-47R K-45R K-40RX		K-195RX			K-47R K-45R K-40RX		K-195SX	
	K-47R K-45R K-40RX					K-47R K-45R K-40RX			

● ロングサイズ

(単位:mm)

あたま側	K-47R K-45R K-40RX		K-173L	あし側
	K-47R K-45R K-40RX		K-195LX	
	K-47R K-45R K-40RX			



警告

事故・破損・ケガの原因になります

- ◆固定脚を2ヶ所ともベッドのオプション受けの穴に差込んでください。
- ◆グリップは、必ず固定して使用してください。
転倒やはさみ込みの危険があります。
- ◆ベッドに取り付ける際は取り付けレバーまたは、固定ネジで確実に固定してください。
- ◆組み合わせを間違えると事故につながるおそれがあります。

キャスターセット K-128/K-129 JIS認証対象

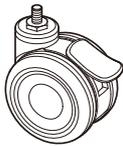
- 本製品に取り付けることができるキャスターは、K-128 (10cm) 、K-129 (7.5cm) です。
- キャスターは、ストッパー付きとなしの2種類があります。

※本製品とK-128とK-129の組み合わせはJIS認証を取得しています。これ以外のキャスターと組み合わせた場合、JIS認証を取得していない状態となります。

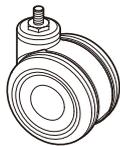
Point

- ベッドの移動が頻繁にある場合や、ご利用者の体重が重い場合は、K-128をおすすめします。

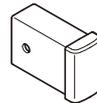
部品の確認



キャスター
ストッパー付き(2個)



キャスター
ストッパーなし(2個)



キャップ(4個)



スプリングワッシャ(4個)



専用スパナ(1個)

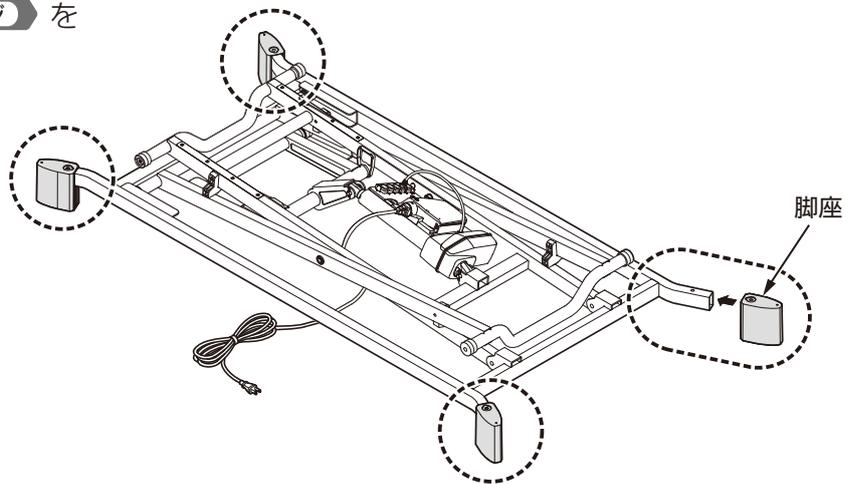


ワッシャ(4個)

取り付けかた

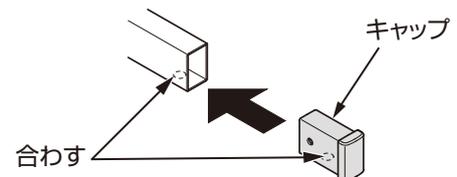
1 ハイローベースユニットの脚座を取り外す

取り外しかたは **67ページ** を参照してください。



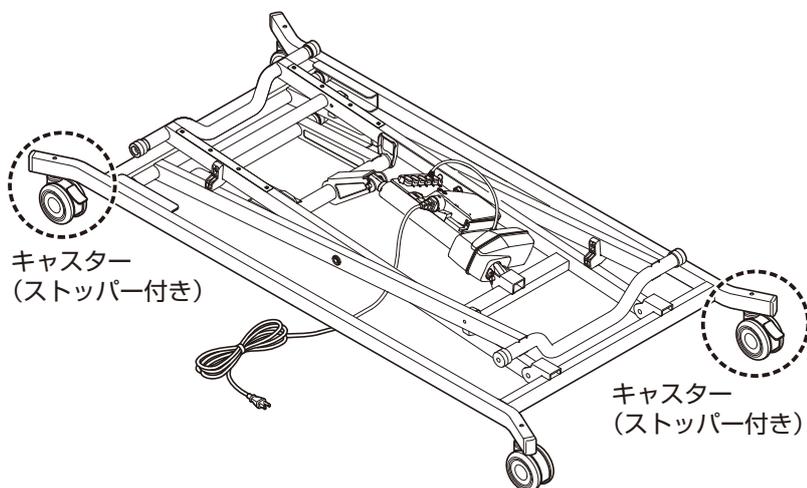
2 キャップを差し込む

ハイローベースユニットの先端の下部の丸穴とキャップのネジ穴位置を合わせて差し込んでください。(4カ所)

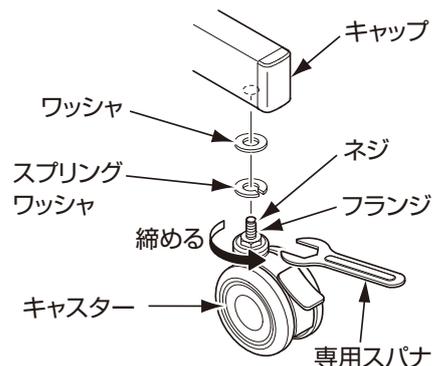


3 キャスターを取り付ける

1. ストッパー付きと無しのキャスターが対角になるように取り付けてください。



2. キャスターのネジにワッシャとスプリングワッシャを入れて、キャスターを取り付けてください。専用スパナを使用して、フランジを締め付けてください。(4カ所)



Point

- キャスター（ストッパー付き）をロックし、ハイローベースユニットが動かない状態にしてからベッドを組み立てるようにしてください。

警告

破損・ケガの原因になります

- ◆キャスターは確実に締め付けてください。
キャスターの脱落によりベッドがバランスを崩し、転落・ケガをするおそれがあります。
- ◆ベッドを移動させるとき以外は、必ずロックを掛けてください。
利用者がベッドに乗り降りする際に、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。
- ◆キャスターがロックされた状態でベッドを無理に動かすと、故障の原因となりますので、絶対におこなわないでください。

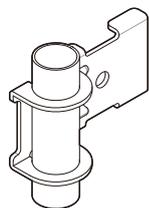
注意

家財破損の原因になります

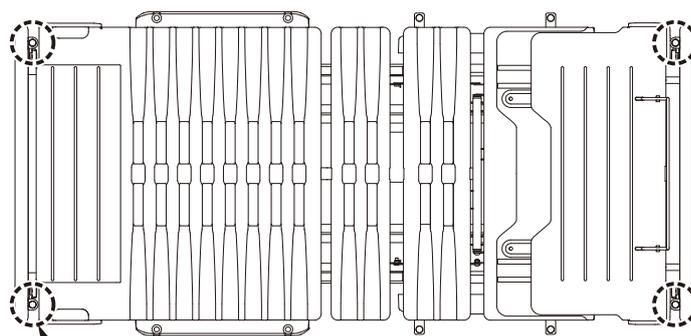
- ◆畳やじゅうたんなどの上で長期間使用する場合は、脚座やキャスターの下に別売の脚座保護パッド（品番K-145）などを敷いてください。
畳やじゅうたんなどがへこむおそれがあります。

IV ポールホルダー K-1500 JIS認証対象

ヘッドボード、フットボードのノブボルトを利用して4ヶ所に取り付けることができます。
IVポールを使用するときに使います。



IVポールホルダー

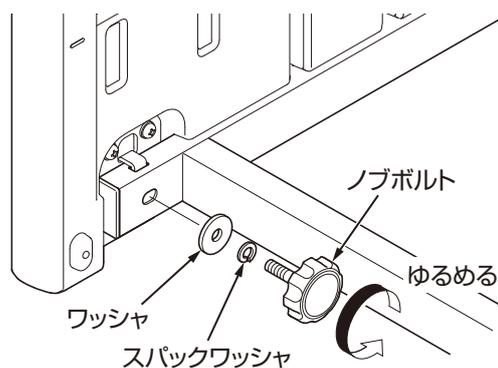


IVポールホルダー

取り付けかた

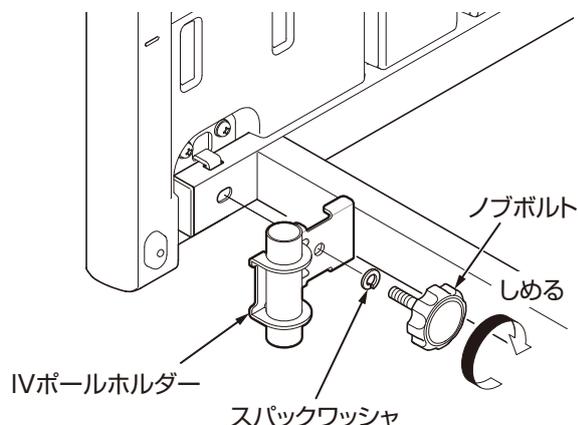
1 ヘッドボードまたはフットボードのノブボルトを外す

IVポールホルダーを取り付ける位置のノブボルトを外します。



2 ノブボルトで固定する

ヘッドボードまたはフットボードとIVポールホルダーの穴の位置を合わせ、ノブボルトとスパックワッシャで固定します。取り外した部品は、大切に保管してください。

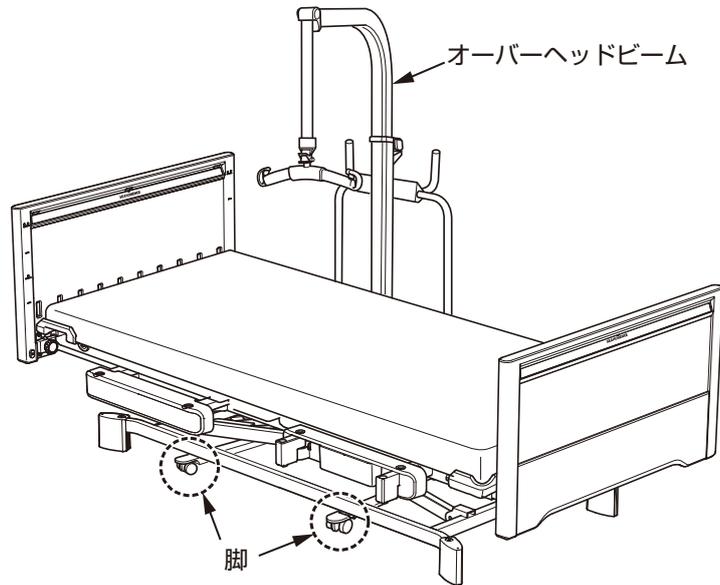


警告

- ◆IVポールを差し込んだままでIVポールを持つてのベッドの移動はしないでください。
- ◆点滴用のチューブなどをIVポールやベッドにはさまないように注意してください。
チューブなどが外れてケガをしたり、チューブなどが破損・変形したりするおそれがあります。

介護リフト使用時のご注意

下図の床走行式電動介護リフトが使用できます。
走行訓練用万能リフト「ゴルボ9000 Low Base」の使用をおすすめします。



警告

事故・破損・ケガの原因になります

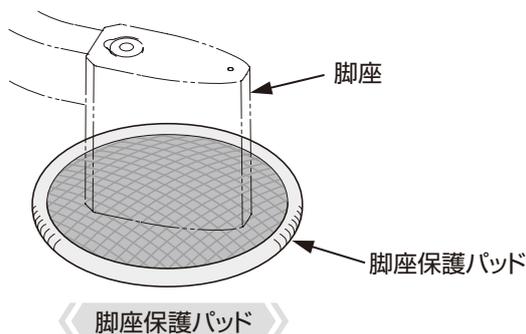
- ◆床走行式電動介護リフト付属の取扱説明書を必ず読む。
- ◆ベッドを上げるときや、オーバーヘッドビームを下げるときは、はさみ込みに十分注意する。
- ◆床走行式電動介護リフトの脚をベッドの下に差し込むときは、電源コードを踏んだり、乗り越えたりしない。
電源コードが破損により、感電・火災のおそれがあります。

脚座保護パッド K-145

Point

- 畳、じゅうたん、フローリングなどの上でベッドを長期間使用し、畳やじゅうたんなどがへこむおそれがある場合は別売の脚座保護パッドをご利用ください。
- 裏面はすべりを抑えた素材を使用しています。

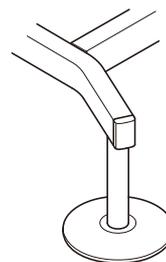
品番 K-145



ハイトスペーサー K-140 JIS認証対象

ハイトスペーサー K-140 を取り付けることにより、介護リフトなどの使用のためにベッド下側に空間が必要なため、ベッドのゆかからの高さを 7.5cm 高くすることができます。

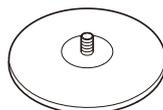
※本製品とハイトスペーサーK-140の組み合わせはJIS認証を取得しています。これ以外のハイトスペーサーを組み合わせた場合、JIS認証を取得していない状態となります。



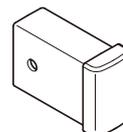
部品の確認



ハイトスペーサー(4個)



脚座(4個)

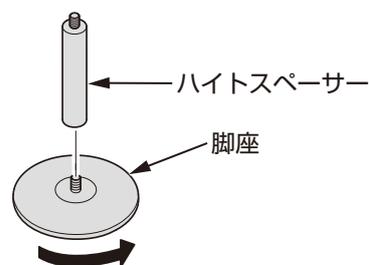


キャップ(4個)

取り付けかた

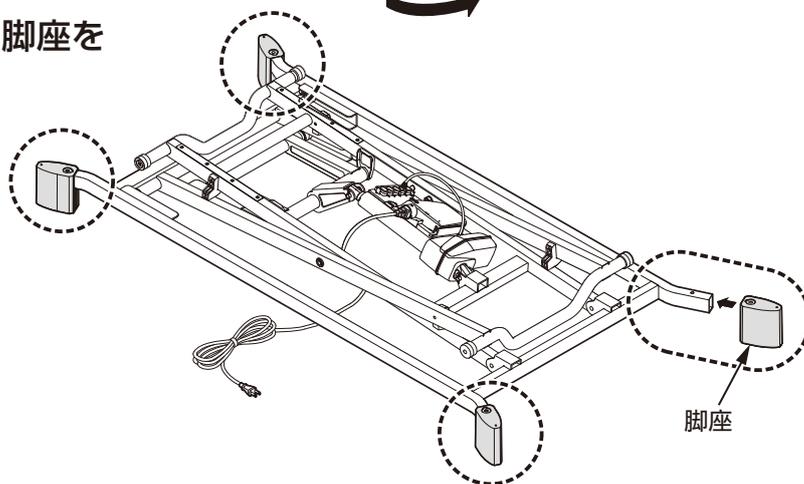
1 ハイトスペーサーを組み立てる

脚座をハイトスペーサーにねじ込んで確実に取り付けてください。(4個)



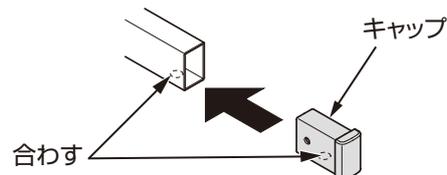
2 ハイローベースユニットの脚座を取り外す

取り外しかたは 70 ページ を参照してください。



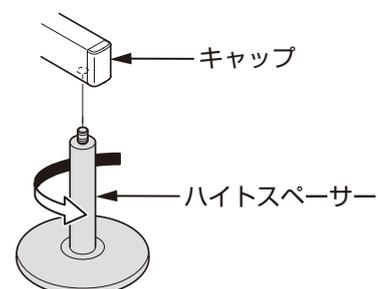
3 キャップを差し込む

ハイローベースユニットの先端の下部の丸穴とキャップのネジ穴位置を合わせて差し込んでください。(4カ所)



4 ハイトスペーサーを取り付ける

ハイトスペーサーを手で回して、ハイローベースユニットに取り付けてください。(4カ所)

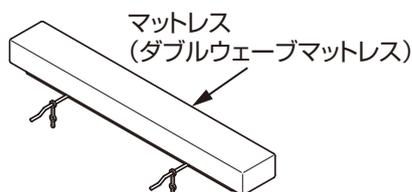


ロングボトムユニット LBU-8308F/LBU-9008F

ロングボトムユニットは、本製品をご使用していただくとき、ベッド本体のボトム長さがご使用者さまの身長に比べ短い際に、脚ボトムの先端に取り付け14cm延長して使用することを目的に作られたものです。このユニットに組み込んでいるマットレスは、ご使用者さまの脚先だけを乗せることを目的としています。

部品の確認

83cm幅 LBU-8308F
90cm幅 LBU-9008F



ロングボトムユニット

ネジ(2本)

スペーサ(2個)

プラスドライバー(1個)

取り付けかた

1 フットボードを取り外す **61 ページ 参照**

2 リアユニット・脚ボトムの位置を調整する

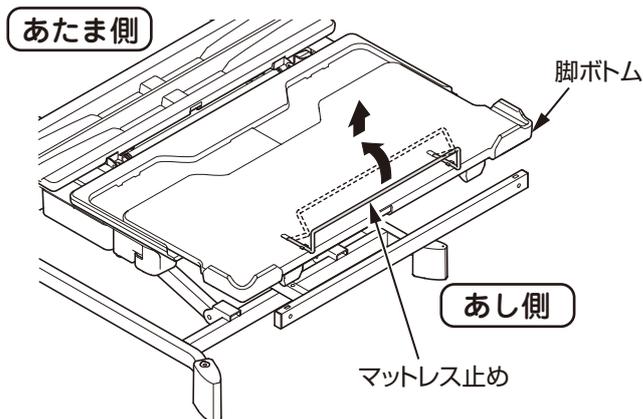
1. リアユニットの位置をロングサイズに調整します。 **26 ページ 参照**

2. 脚ボトムの位置をレギュラーサイズに調整します。 **39 ページ 参照**

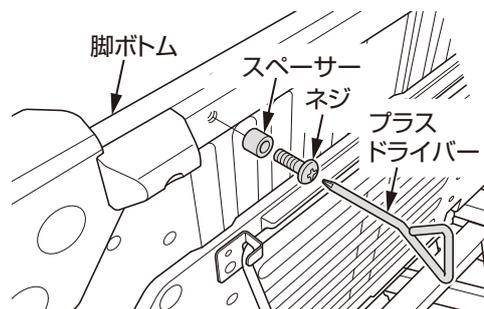
3 マットレス止めを取り外す

1. マットレス止めを、脚ボトムの固定ツメから外します。

2. マットレス止めを持ち上げて取り外します。

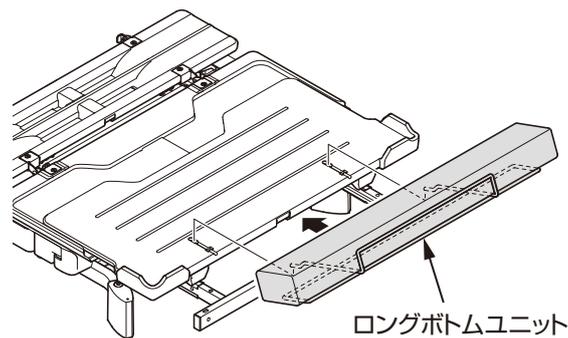


4 脚ボトムの裏側のスペーサーにネジを通して固定する。

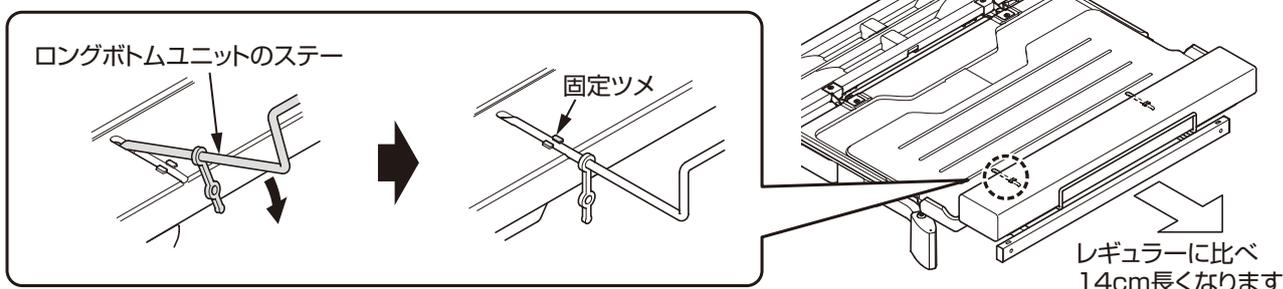


5 ロングボトムユニットを取り付ける

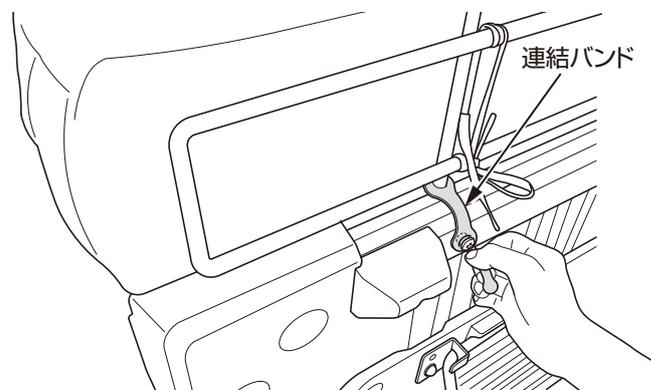
1. ロングボトムユニットのステーを脚ボトムの穴に差し込みます。



2. ステーを脚ボトム溝の固定ツメに押し込んで固定します。



3. ロングボトムユニットのステーに取り付けている、連結バンドの先を引っ張って、穴をネジで固定したスペーサーに引っ掛けて止めます。



6 フットボードを取り付ける 42 ~ 43 ページ 参照



警告

故障・ケガの原因になります

◆ベッドの上で飛び跳ねない。

ケガやベッド故障のおそれがあります。特にお子さまにご注意ください。

◆ベッドのサイズに合ったマットレスを必ず使用してください。

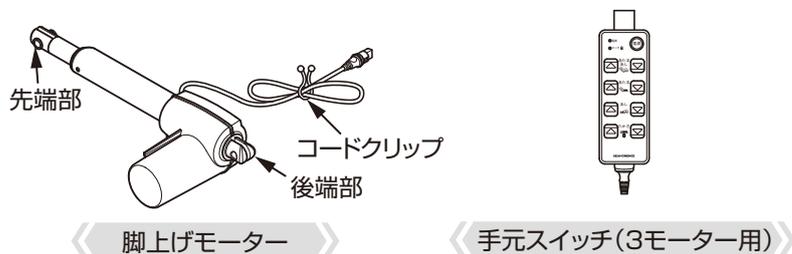
ボトムのすき間や穴に手や足の指などがはさまれたり、はまったりして動けなくなり、けがをするおそれがあります。

後付けフットモータユニット FMU-L2780

後付けフットモータユニットを本製品(NX-2)に取り付けることにより、膝・脚ボトムだけでの角度調整ができるようになります。

部品の確認

FMU-L2780



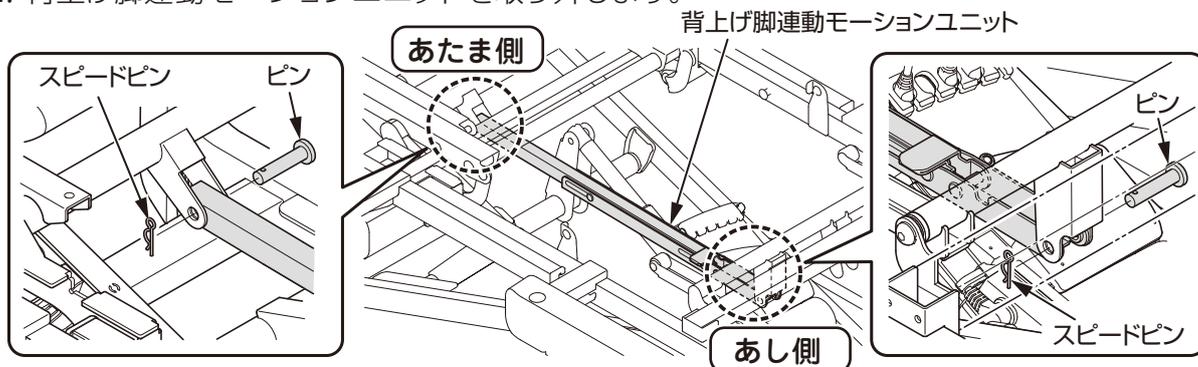
取り付けかた ▶ NX-2

NX-1, NX-B, NX-Hではこの作業は行いません

1 フットボード、各ボトムを外す **61 ~ 63 ページ** 参照

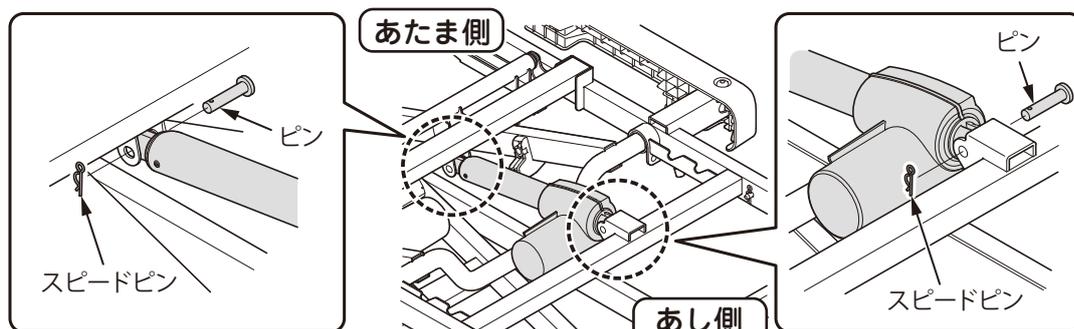
2 背上げ脚連動モーションユニットを取り外す

1. 背上げ脚連動モーションユニットを取り付けているピン、スピードピンを取り外します。(2ヶ所)
2. 背上げ脚連動モーションユニットを取り外します。



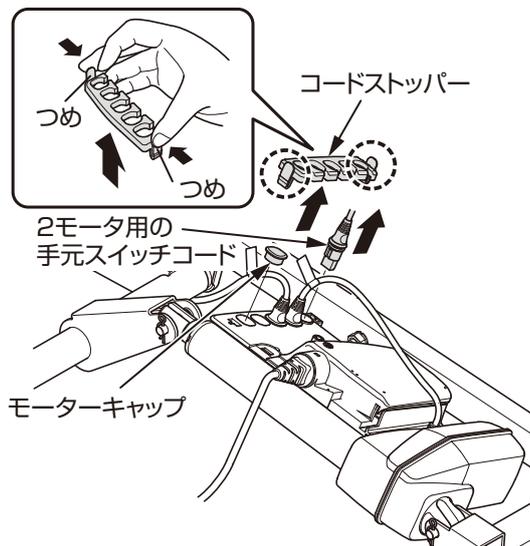
3 脚上げモーターを取り付ける

1. 脚上げモーターを取り付け位置に後端部を「あし側」、先端部を「あたま側」に配置します。
2. 脚上げモーターの後端部、先端部をピン、スピードピンで固定します。



4 コントロールボックスにコードを接続する

1. コントロールボックスからコードストッパーと脚上げモーター接続口のモーターキャップを外し、2 モーター用の手元スイッチのコードを取り外します。コードストッパーは両端のつめを指で押さえながら上に持ち上げて取り外してください。



⚠️ 注意

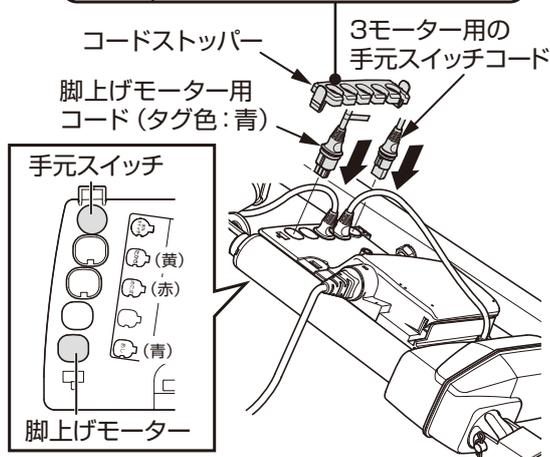
コードストッパーの両端のつめがコントロールボックスから外れていることを確認してから、ストッパーを取り外してください。

2. コントロールボックスに3モーター用の手元スイッチのコード、脚上げモーター用のコード(タグ色:青)を接続します。

⚠️ 取り付けの方向に注意してください。(取り外したときと同じ向きで取り付ける)

Point

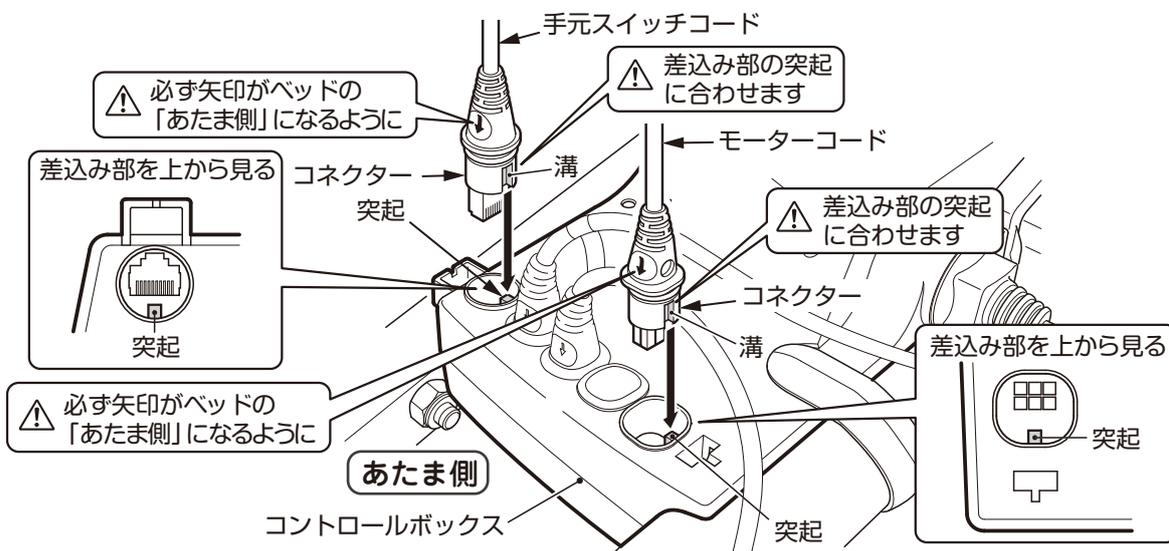
- コードのタグの色とコントロールボックスのラベルの色を合わせて接続すると、簡単に作業することができます。



⚠️ 注意

コード先端のコネクターの差込みには方向性がありますので、正しい向きで差込んでください

- 各コードの矢印表示が、ベッドの「あたま側」になる向きにして、コントロールボックスの差込み部に真上から真直ぐに、奥までしっかりと差込んで接続してください。差込む際には、各コードのコネクターの溝とコントロールボックスの差込み部の突起の向きが合っていることも確認してください。
- 間違った向きで無理やりコードを差込むとコネクター部が変形して破損の原因となります。

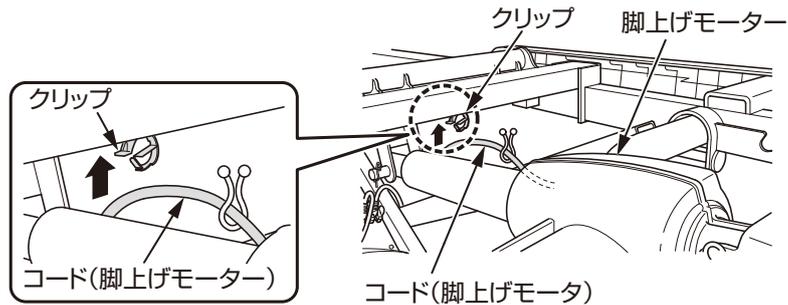


⚠ 注意

静電気によって故障するおそれがあります

静電気は衣類や人体に帯電しています。コード類をコントロールボックスに接続する前に、ベッド以外の金属製のものに触れるなどして、必ず静電気を逃してください。故障や感電の原因となるおそれがあります。コード類を接続する際には接続口に直接手を触れないでください。

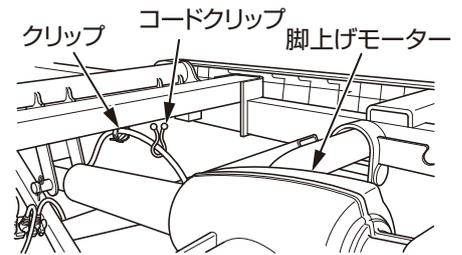
3. コードストッパーを元の位置に取り付けます。
4. 脚上げモーター用のコードをリアユニットのクリップで固定します。



Point

- 分解時にコードを束ね易くするため、脚上げモーター用のコードを固定するとき、コードクリップがクリップと脚上げモーターの間にあることを確認してください。

束ね方は65ページに記載の「コード類の取外し」を参照してください。 **65 ページ 参照**



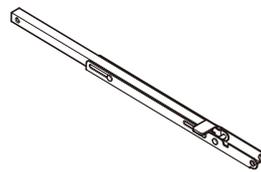
5 各ボトム、フットボードを取り付ける **42 ~ 43 ページ 参照**

取り外した部品

※取り外した部品は、大切に保管してください。



NX-2
手元スイッチ



背上げ脚連動モーションユニット



モーターキャップ

マットレス

■支援用具があれば日常生活が可能な方に適応

DUO WAVE (デュオウェーブ) / ダブルウェーブマットレス

MB-5200 シリーズ
MB-2500 シリーズ
MB-4500 シリーズ

<サイズ>

幅 90cm・83cm

長さ ショート=181cm

レギュラー・ロング=191cm

厚み 8cm

- 腰をかけたとき、手をついたときの沈み込みが少なく、安定性と体圧分散性に優れています。
- 独自のダブルウェーブ構造によりベッドの動きに合わせてしなやかに曲がります。
- 体圧を維持する適度な硬さと長時間の使用にもへたがりありません。
- 通気性・通水性があるので、カビや雑菌などが繁殖しにくく、清潔さを保てます。
- MB-2500/5200 は難燃、通気性・通水性がある側生地を使用しています。
- MB-2501 は難燃、側生地に制菌加工を施し、通気性・通水性がある側生地を使用しています。
- MB-4501 は抗菌、難燃、清拭が可能な防水性の側生地を使用しています。防水性の側生地には通気性・通水性はありません。
- 上下、裏表の区別はありません。

■お好みによって使い分けることができる【硬め】、【柔らかめ】のダブルフェース

リバーシブルマットレス

MA-3000 シリーズ
RM-100 シリーズ
RM-400 シリーズ

<サイズ>

幅 90cm・83cm

長さ ショート=181cm

レギュラー・ロング=191cm

厚み MA-3000=10cm

RM-100/400=8cm

- ソフトフェース面は、全体的に柔らかく身体に優しくフィットして自然な寝姿勢を保つことができます。
- ハードフェース面は、全体的に硬めで不自然な身体の沈み込みを抑えて寝返り時の安定性に優れています。
- 通気性・通水性があるので、カビや雑菌などが繁殖しにくく、清潔さを保てます。
- MA-3000 は通気性・通水性がある側生地を使用し、中材の素材ごと交換が可能です。
- RM-100 は難燃、側生地に制菌加工を施し、通気性・通水性がある側生地を使用しています。
- RM-400 は抗菌、難燃、清拭が可能な防水性の側生地を使用しています。防水性の側生地には通気性・通水性はありません。

■体圧分散効果とリハビリを促進する床ずれ予防マットレス

C-MAX (シーマックス)

SA-2030 シリーズ

<サイズ>

幅 90cm・83cm

長さ ショート=181cm

レギュラー・ロング=191cm

厚み 12cm

- シーホネンス独自のオリジナルウレタン構造により高い体圧分散効果を発揮します。
- マットレス底面は、底づきを防止するため硬めのウレタンフォームを使用しています。ベッドの背上げ・膝上げに合わせて柔軟に曲がるようにスリット加工を施しています。
- マットレス両サイドは、しっかりと安定した端座位姿勢がとれるように、また起き上がり時に手や肘を使ってしっかりと上体を起こすことができるよう硬めのウレタンフォームを使用しています。
- 抗菌、難燃、清拭が可能な防水性の側生地を使用しています。

■高反発ウレタン素材とスリット加工によりベッドの動きにフィットしたマットレス

Fit Tex (フィットテックス)

SA-1020 シリーズ

<サイズ>

幅 90cm・83cm

長さ ショート=181cm

レギュラー・ロング=191cm

厚み 8cm

- ほどよい柔らかさの高反発ウレタンフォームを使用しており、快適な弾力でからだを安定して支えるとともに体動を吸収してリラックスできる寝心地をご提供します。
- マットレス全体にスリット加工を施すことで体圧を分散するとともに、ベッドの背上げ・膝上げの動きに合わせて柔軟に曲がります。
- 抗菌、清拭が可能な防水性の側生地を使用しています。



警告

◆ベッドのサイズに合ったマットレスを必ず使用してください。

ボトムのスき間や穴に手や足の指などがはさまれたり、はまったりして動けなくなり、ケガをするおそれがあります。



ベッドの分解

ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めしますが、ご自分でおこなう場合は以下の手順でおこなってください。

ベッドの分解の前に

1. ベッドに取り付けているオプション（サイドレールや回転式アーム介助バーなど）をベッドから取り外して、寝具・マットレスなどをベッドから降ろします。
2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
3. ベッドの高さを一番上まで上げます。（NX-1・NX-2・NX-Hのみ）
4. 背ボトムと膝ボトムを一番低い位置まで下げます。（NX-1・NX-2・NX-Bのみ）
5. 電源プラグをコンセントから抜きます。

注意

事故・ケガの原因になります

- ◆ キャスター（K-128またはK-129）使用の場合は、必ずストッパーをロックし固定状態にしてから作業をおこなってください。
固定状態になっていない場合、分解作業中にベッドが動いておもわぬケガをするおそれがあります。
- ◆ 取り外し作業をするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
取り外し作業はモーターが動かない状態でおこなってください。

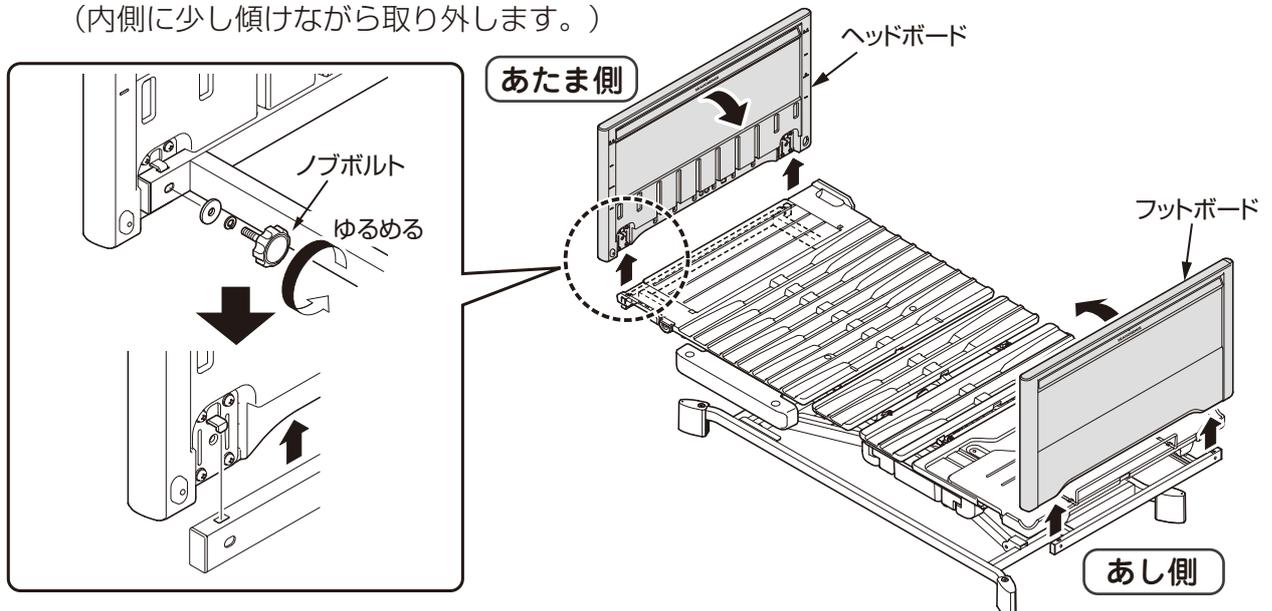
ベッドの分解のしかた

STEP1 ヘッドボード・フットボードの取り外し ▶ NXシリーズ共通

ベッドの高さを十分に上げておくと作業が楽になります。

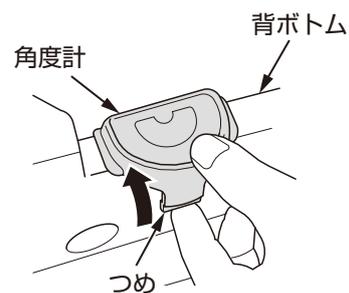
1 ヘッド・フットボードを取り外す

ノブボルトを緩めて外し、ヘッド・フットボードを両手で持って取り外します。
（内側に少し傾けながら取り外します。）

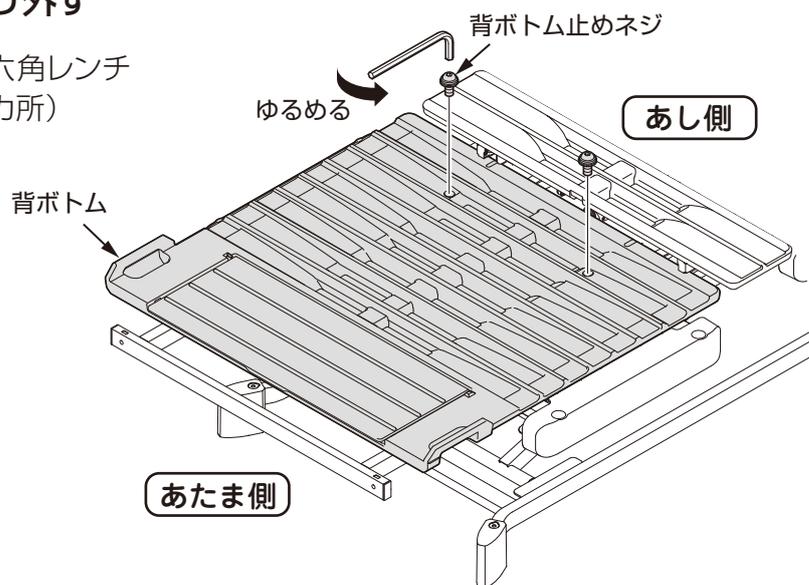


1 角度計を取り外す

角度計の下のつめを矢印の方向に持ち上げながら、角度計を取り外します。

**2** 背ボトム止めネジDを取り外す

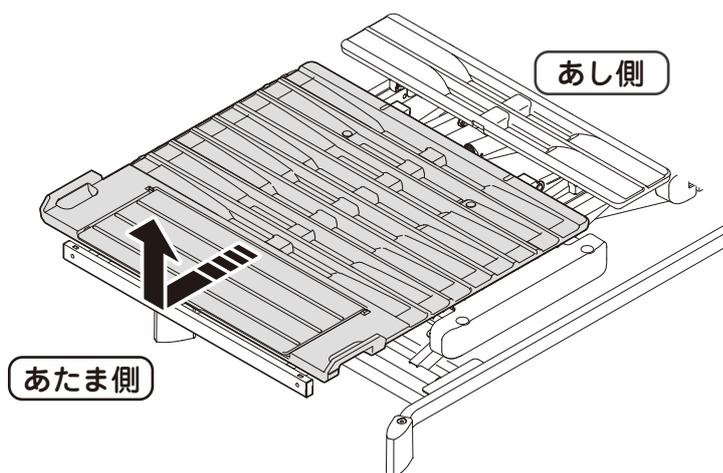
背ボトム止めネジDを付属の六角レンチを使用して取り外します。(2カ所)

**3** 背ボトムを取り外す

背ボトムをあたま側にスライドさせて、取り外します。

Point

- NX-Hはスライドさせず、真上に持ち上げて取り外します。

**注意**

事故・ケガの原因になります

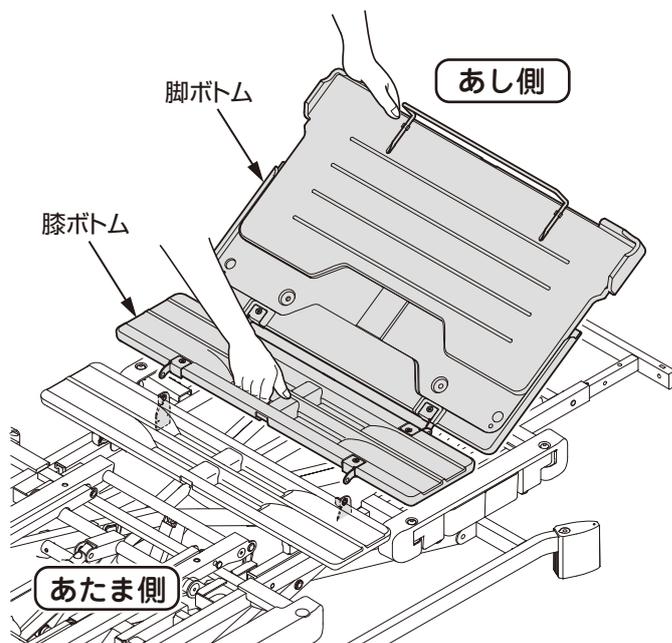
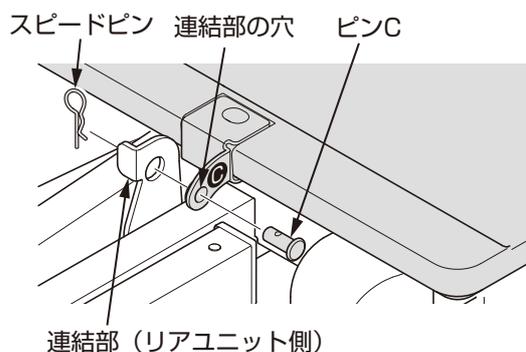
- ◆背ボトムをスライドさせるとき、空気穴に手や指を入れないでください。

STEP3 膝・脚ボトムを取り外し

▶NXシリーズ共通

1 ピンCを取り外す

スピードピンを抜き、ピンCを取り外します。



2 膝・脚ボトムを取り外す

膝・脚ボトムを取り外します。



注意

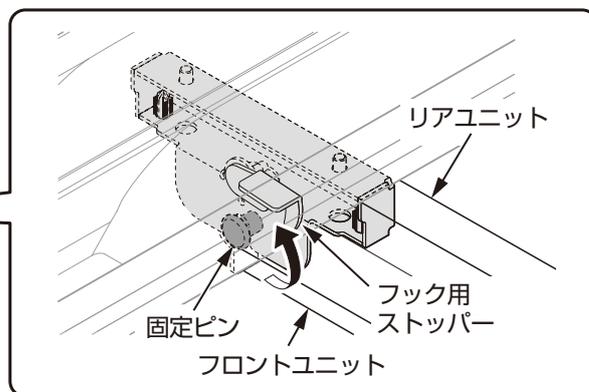
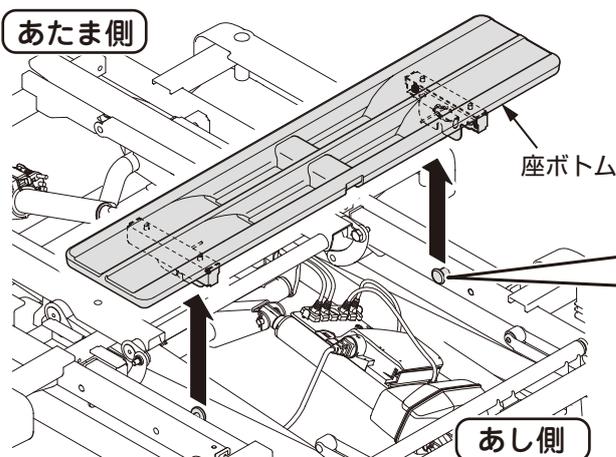
破損・故障の原因になります
◆膝・脚ボトムの落下に注意する。

STEP4 座ボトムを取り外し

▶NXシリーズ共通

1 座ボトムを取り外す

1. フック用ストッパーを回転させ、固定ピンから外します。



2. 座ボトムを上を持ち上げて取り外します。

Point

●脚座以外の取り外した部品は、部品ケースに入れて保管することをおすすめします。

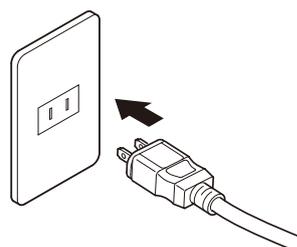
STEP5 ベッドの高さを一番下まで下げる

▶NX-1・NX-2・NX-H

NX-Bではこの作業は行いません

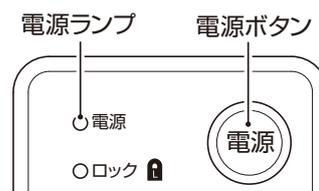
1 電源プラグをコンセントに差し込む

コントロールボックスの電源ランプが点灯します。



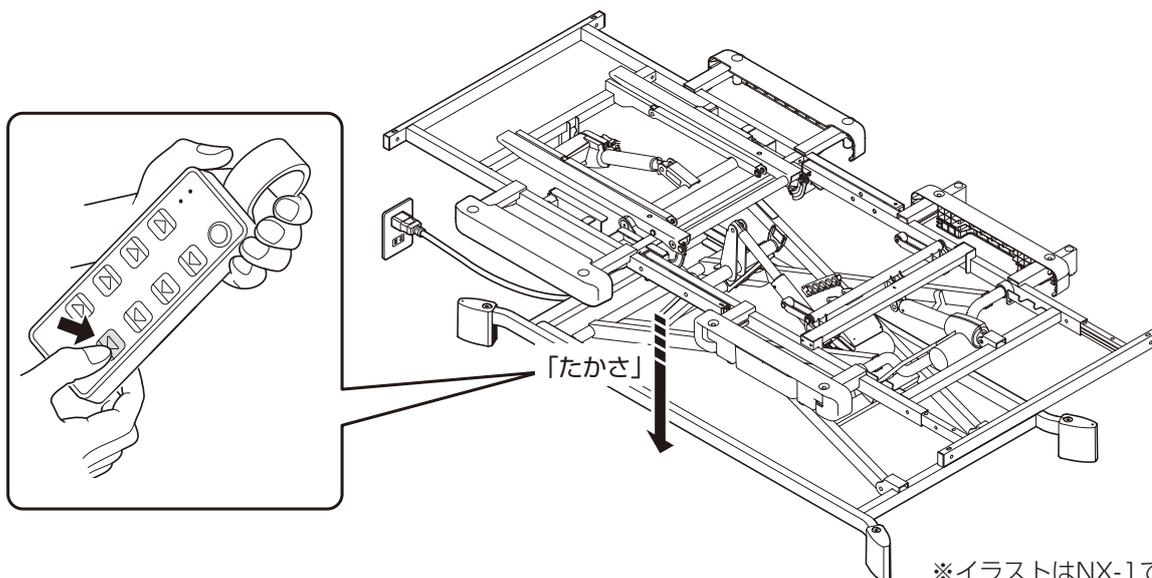
2 手元スイッチの電源をオンにする 9ページ 参照

電源ボタンを押して、手元スイッチが使える状態となっていることを緑色のランプ表示で確認してください。



3 ベッドのたかさを一番下まで下げる ▶NX1・NX-2・NX-H

手元スイッチの「たかさ」の「▽さがる」を押して、ベッドの高さを一番下まで下げてください。電源プラグをコンセントから抜いてください。



※イラストはNX-1です。

1 コントロールボックスからコード類を抜く

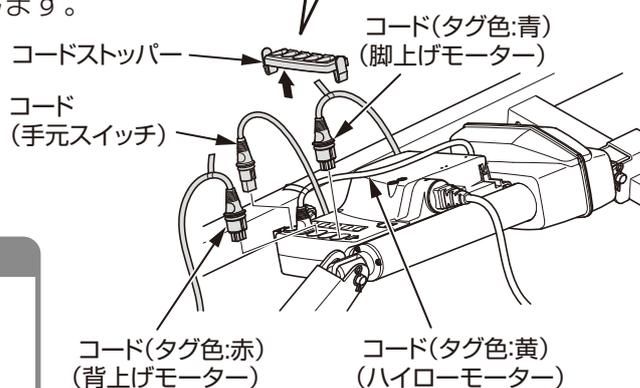
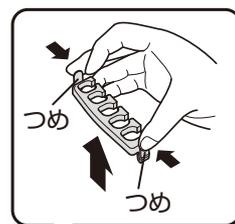
1. コードストッパーを取り外す。コードストッパーは両端のつめを指で押さえながら上に持ち上げて外してください。背上げモーターのコード（タグ色：赤）（NX-1・NX-2・NX-B）、脚上げモーターのコード（タグ色：青）（NX-1のみ）、手元スイッチのコードを取り外します。



ハイローモーターのコード（タグ色：黄）は抜かないでください。

注意

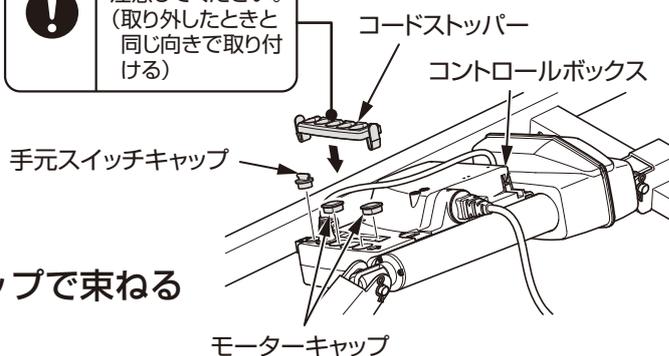
コードストッパーの両端のつめがコントロールボックスから外れていることを確認してから、ストッパーを取り外してください。



2. コントロールボックスに手元スイッチキャップとモーターキャップを取り付けた後、コードストッパーを取り付けます。



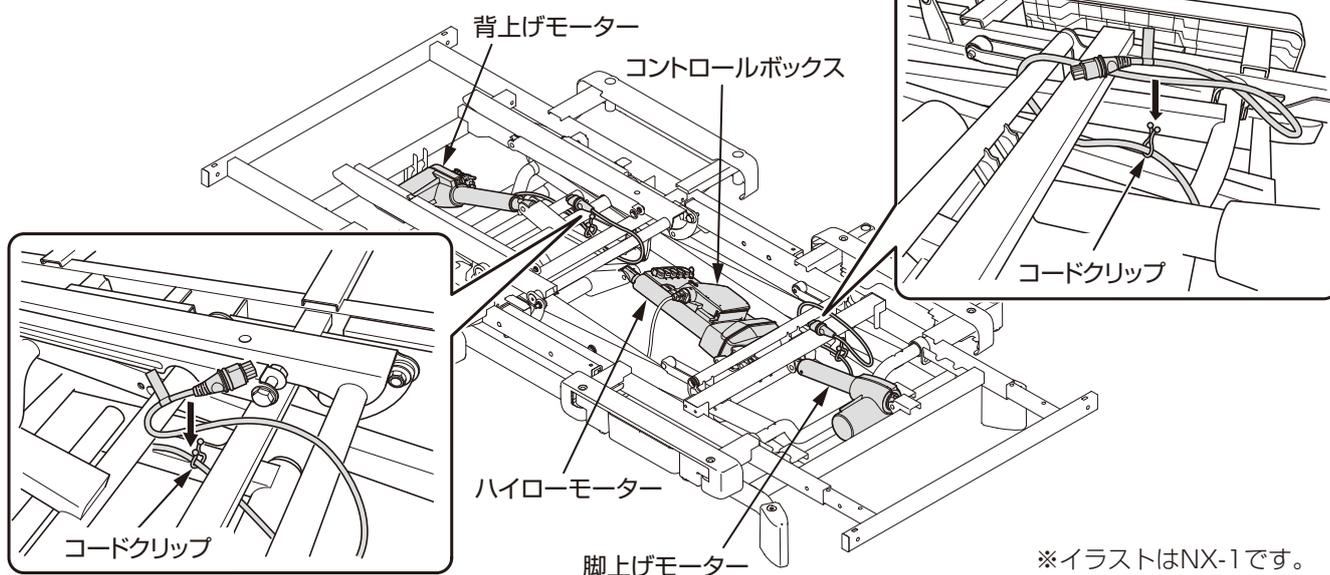
取り付けの方向に注意してください。（取り外したときと同じ向きで取り付け）



2 各モーターのコードをコードクリップで束ねる

▶NX-1・NX-2・NX-B

1. 背上げモーター、脚上げモーター（NX-1のみ）のコードをコードクリップで束ねます。



※イラストはNX-1です。

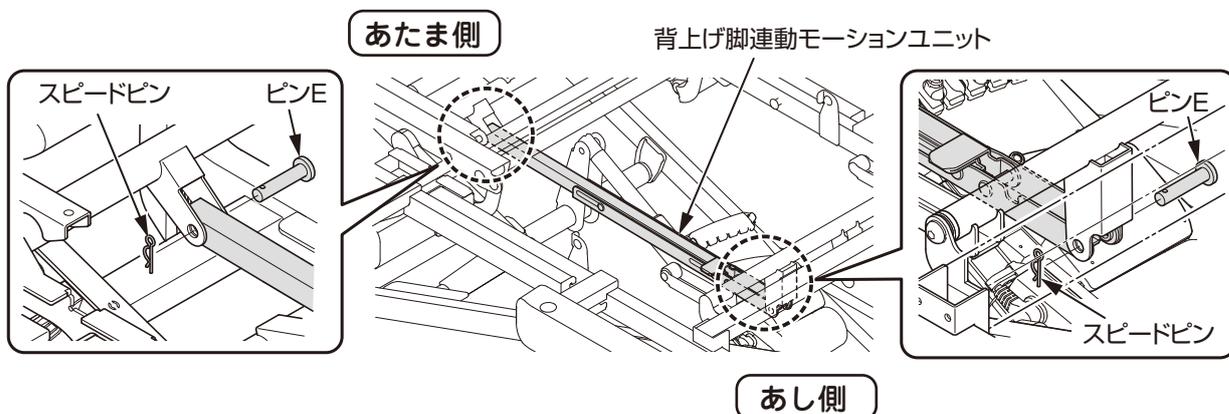
STEP7 背上げ脚連動モーションユニットの取り外し

▶ NX-2・NX-B

NX-1,NX-Hではこの作業は行いません

1 背上げ脚連動モーションユニットを取り外す

1. 脚連動モーションユニットを取り付けているピンE、スピードピンを取り外します。(2ヶ所)
2. 脚連動モーションユニットを取り外します。



STEP8 リアユニットの調節

▶ NX-B

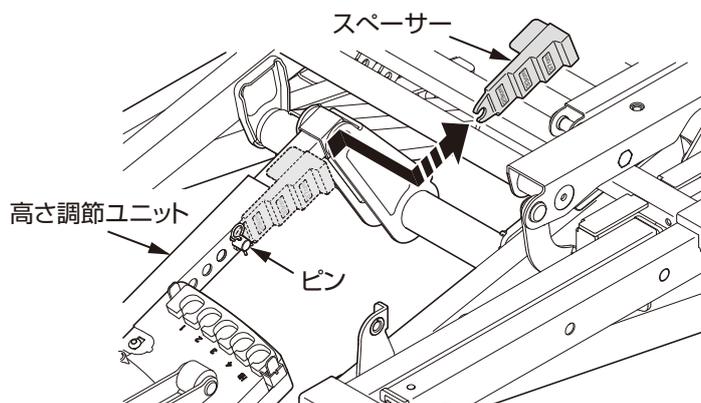
NX-1,NX-2,NX-Hではこの作業は行いません

Point

- NX-Bのゆかからボトム面までの高さを25cmでご使用の場合は、以下の作業は必要ありません。

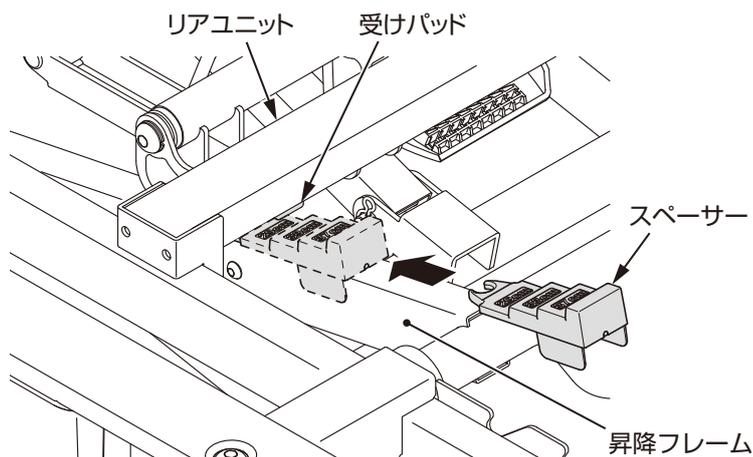
1 収納されているスペーサーを取り外す

高さ調節ユニットのピン軸部から、スペーサーを取り外します。

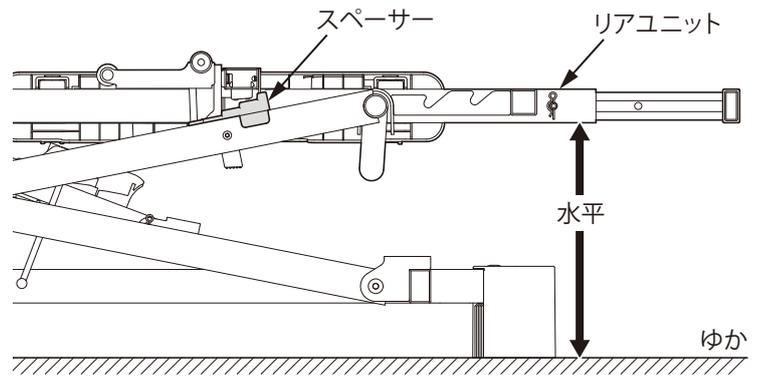


2 スペーサーを昇降フレームとリアユニットの間にはめ込む

ボトム面の高さに合ったスペーサーの段に、リアユニットの受けパッドが乗るように、スペーサーを昇降フレームとリアユニットの間にはめ込みます。



3 リアユニットがゆかと水平になっていることを確認する



⚠ 注意

事故・破損の原因になります

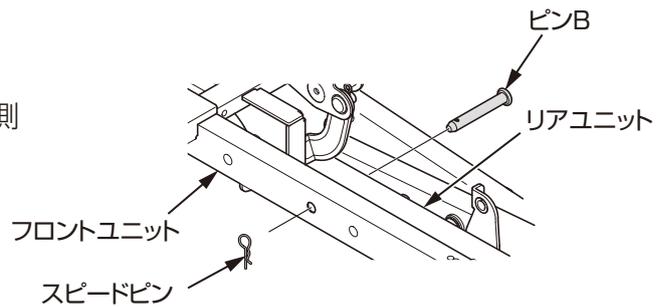
◆リアユニットがゆかと水平になっていないと、フロントユニットを取り外したときにバランスを崩すため危険です。必ずボトム面の高さに合った段のところにスペーサーをはめ込んでください。

STEP9 フロントユニットの取り外し

▶ NXシリーズ共通

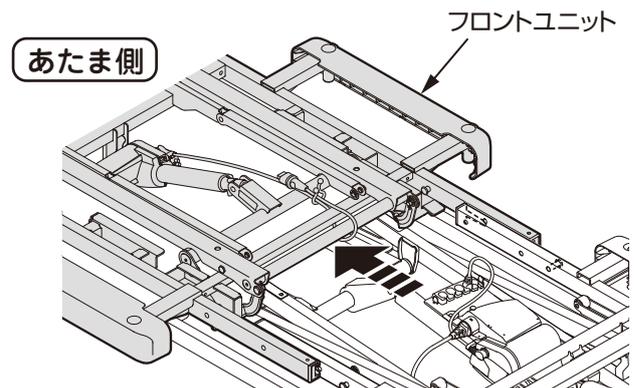
1 ピンBを取り外す

スピードピンを外し、ピンBをベッド内側に向けて抜きます。(左右2ヶ所)

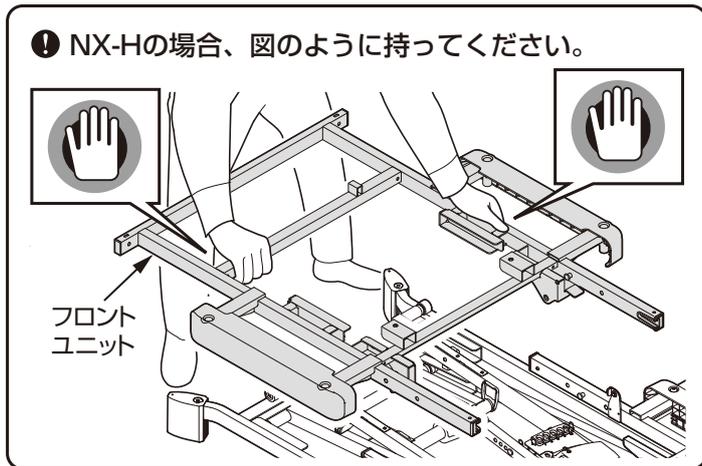
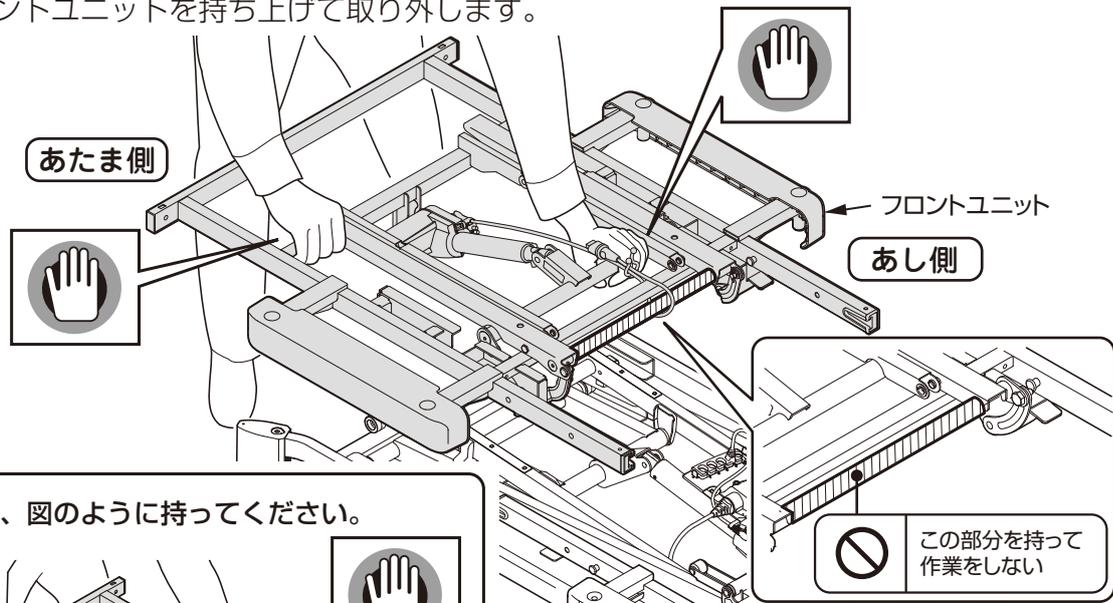


2 フロントユニットを取り外す

1. フロントユニットを「あたま側」にスライドさせます。



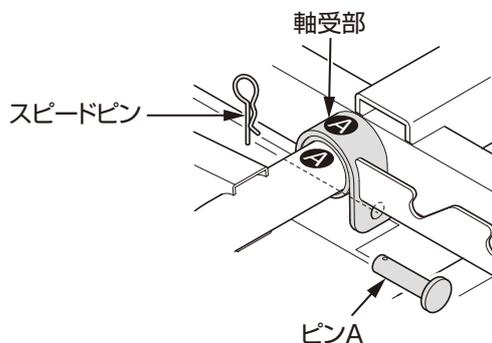
2. フロントユニットを持ち上げて取り外します。



STEP10 リアユニットの取り外し ▶ NXシリーズ共通

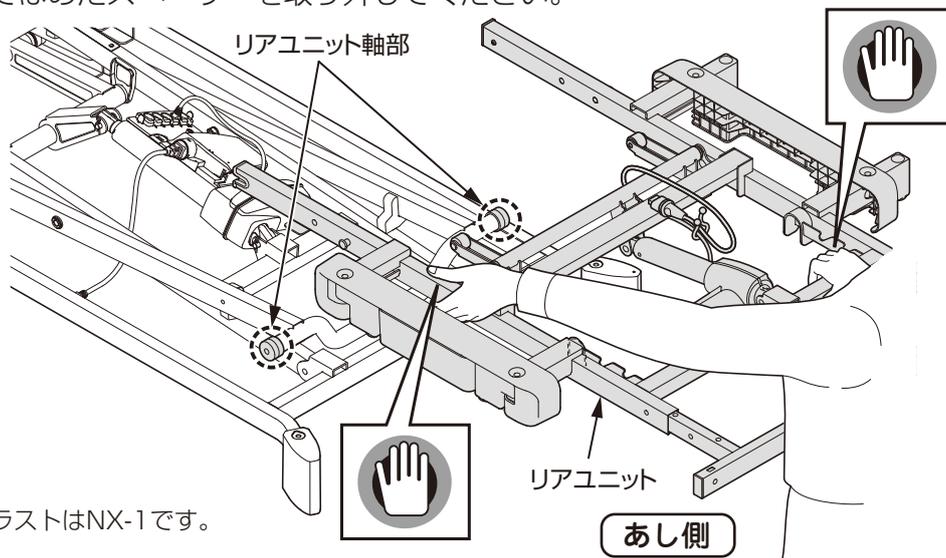
1 ピンAを取り外す

リアユニット軸受部 (Aシール貼付け部) 下側にあるスピードピンを抜き、ピンAを取り外します。(左右)



2 リアユニットを取り外す

リアユニットを持ち上げて取り外します。
NX-Bは、STEP8ではめたスペーサーを取り外してください。



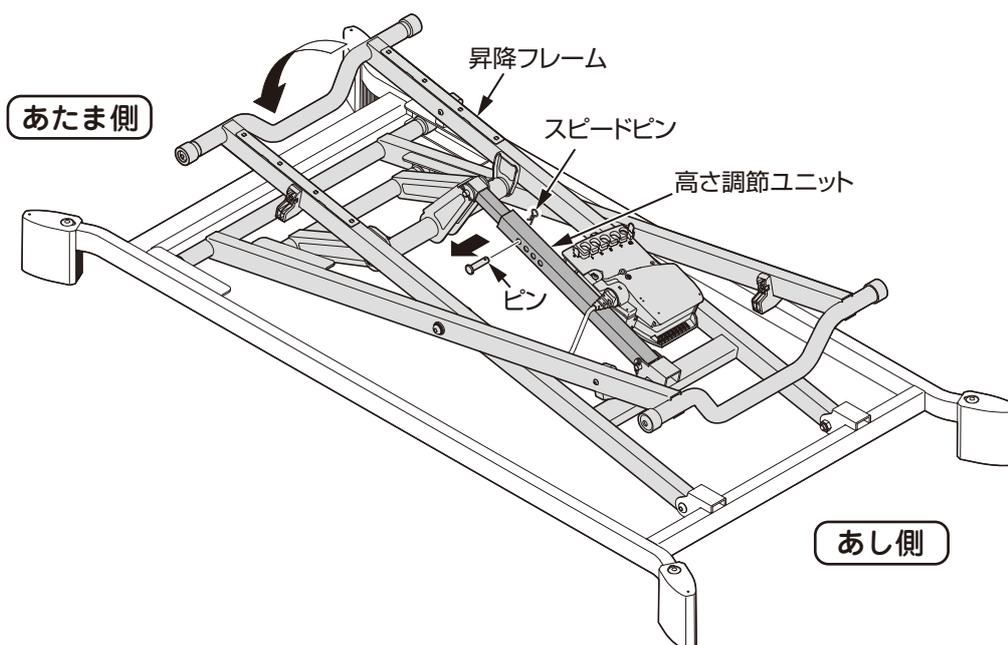
※イラストはNX-1です。

1 高さ調節ユニットを25cmにする

Point

- 25cmで使用している場合には、この作業は必要ありません。

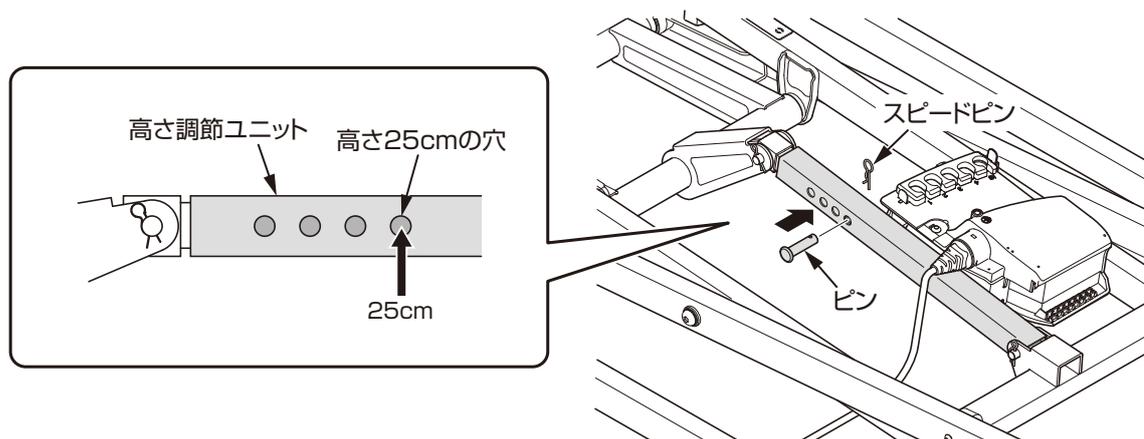
1. あたま側の昇降フレームを持ちながら、高さ調節ユニットのピンとスピードピンを取り外し、昇降フレームを下までおろします。

**注意**

事故・破損・ケガの原因になります

- ◆高さ調節ユニットのピンとスピードピンを取り外すときは、必ずあたま側の昇降フレームを持ちながらおこなってください。昇降フレームが落下して事故、破損、ケガの原因になります。

2. 取り外したピンを25cmの位置に差し込み、スピードピンで固定します。



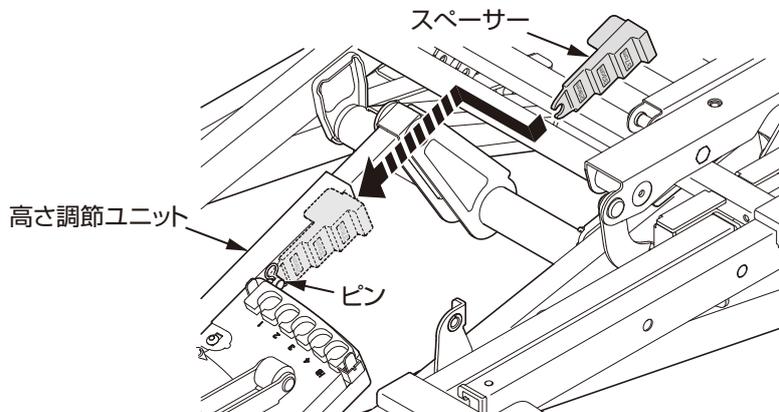
STEP12 スペースを収納する

▶ NX-B

NX-1,NX-2,NX-Hではこの作業は行いません

1 スペースを収納する

紛失を防ぐため、STEP10で取り外したスペースを、高さ調節ユニットのピン軸部にはめ込みます。



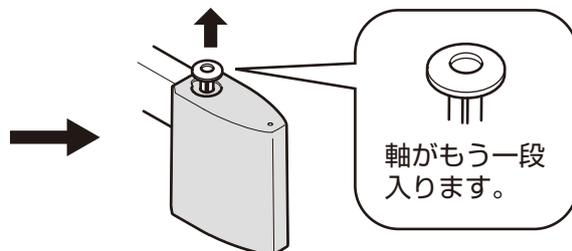
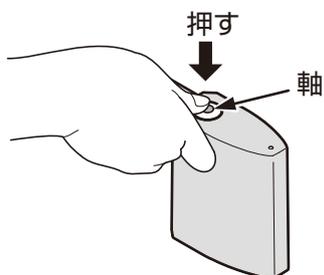
STEP13 脚座の取り外し(脚座を取り外して保管する場合)

▶ NXシリーズ共通

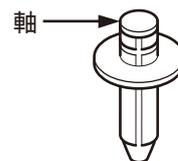
1 プッシュリベットの固定を解除する (4ヶ所)

プッシュリベットの軸をカチッと音がするまで押し込みます。

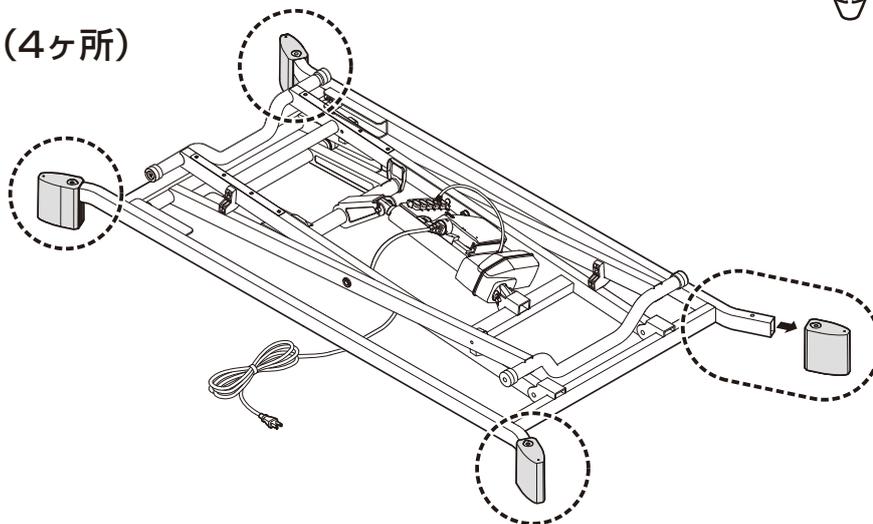
※指で押し込めない場合は、押し込みすぎないように注意してドライバーなどで軽く押し込んでください。



※再度取り付ける際は、下図のように軸を出してください。



2 脚座を取り外す (4ヶ所)



付属部品と分解したユニットの保管

ベッドを分解した後、本取扱説明書および下記の付属品、その他の部品を組立てピンセットに収納し保管してください。

●取扱説明書 (1冊)

取扱説明書

□収納バック

●組立て部品

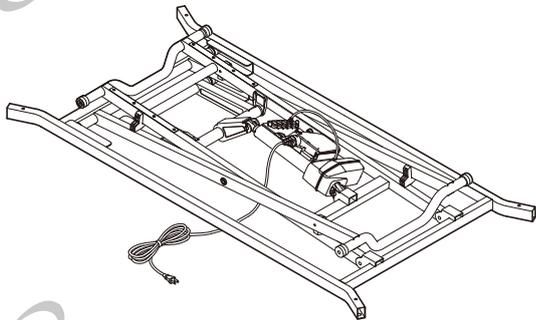
□脚座(4個)

□組立てピンセット (1セット)

! これらの付属部品は、組立てピンセットに収納します。

□ピンA(2本)	□ピンB(2本)	□ピンC(2本)	□ピンE (NX-2・NX-Bのみ) (2本)
□プッシュリベット (4本)	□スピードピン (NX-1・NX-H(6本+予備1本) NX-2・NX-B(8本+予備1本))		
□ワッシャ(4個)	□背ボトム止めネジD(2本)		
□ノブボルト(4本)	□スパックワッシャ(4個)		
□角度計 (1個)	□六角レンチ (1本)	□コードクランプ (2個)	□フック (2個)

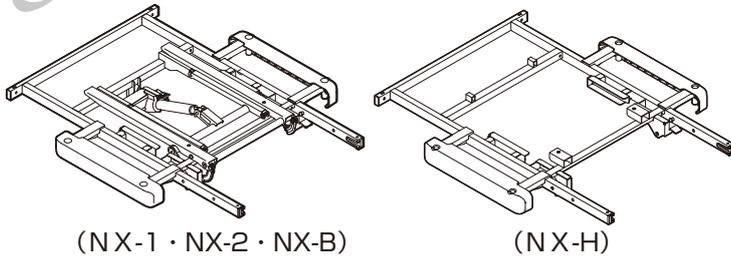
●ハイローベースユニット



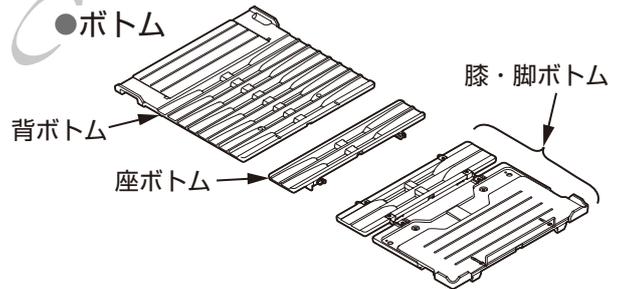
お願い

◆手元スイッチ、電源コードは束ねてハイローベースユニットに固定して保管してください。

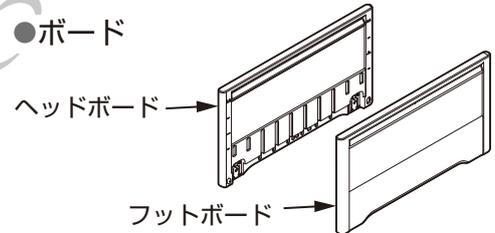
●フロントユニット



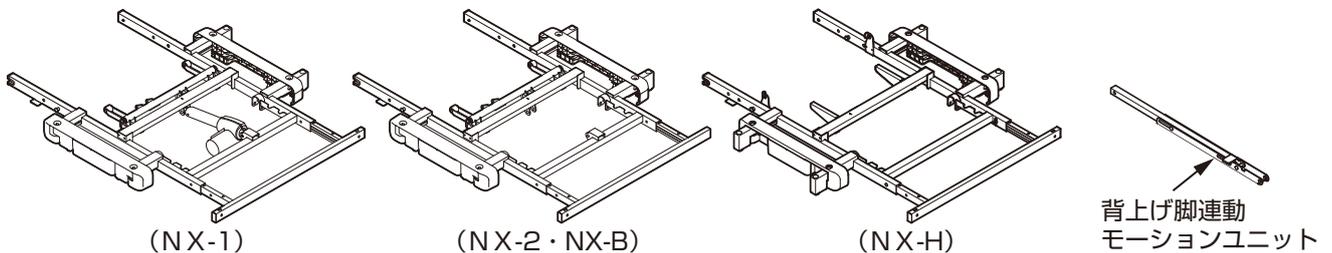
●ボトム



●ボード



●リアユニット





こんなときは

日常のお手入れ

- 拭き掃除をする場合は柔らかい布を使用し、水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞っておこなってください。
- その後、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- 洗浄液を使用する場合は下記の薬品を指定の濃度に薄めてご使用ください。

消毒用エタノール：76.9%～81.4%
 塩化ベンザルコニウム液(オスバン)：0.05%～0.2%
 クロルヘキシジン液(ヒビテン)：0.05%
 塩化ベンゼトニウム液(ハイアミン)：0.05%～0.2%

・オスバンは、日本製薬㈱の登録商標です。
 ・ヒビテンは、アストラゼネカ・ユークエイ・リミテッドの登録商標です。
 ・ハイアミンは、ロンザ インコーポレーテッドの登録商標です。



警告

事故・故障・ケガの原因になります

- ◆必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

破損の原因になります

- ◆水で薄めた中性洗剤を使用する。
揮発性のもの(シンナー、ベンジン、アセトン、クレゾール)などは絶対に使用しないでください。本体が変色したり、塗装がはがれるおそれがあります。

故障かな？と思ったら

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしてください。それでも直らない場合は、ベッドの使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜き販売店に修理をご依頼ください。

症状	チェック	処置
コントロールボックスのランプが消えている	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	コンセントに電源はきていますか？	コンセントに他の電気器具のプラグを差し込んで確認してみてください。
手元スイッチを押しても動かない	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	コンセントに電源はきていますか？	コンセントに他の電気器具のプラグを差し込んで確認してみてください。
	手元スイッチコードがコントロールボックスから抜けかけていませんか？	手元スイッチコードをコントロールボックスにしっかりと差し込んでください。 コードストッパーを確実に取り付けてください。
	長時間連続で操作していませんか？	20～30分後に操作してください。
ボトム、ベッドの高さが上がらない	ベッド周辺、可動部に障害物はありませんか？	障害物を取り除いてください。
	手元スイッチの緑色ランプが点灯していますか？	電源ボタンを押してください。
	手元スイッチのオレンジ色ランプが点灯していませんか？	ロックを解除してください。 9ページ 参照

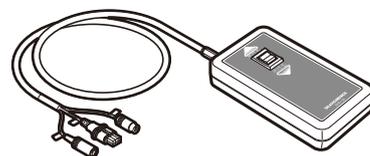
緊急時の背下げ操作（停電・故障時などの対応）

電動在宅介護ベッド 和夢“彩”は、背ボトムが上がっている状態で停電などの緊急時に背ボトムが下げられなくなった場合に手で背ボトムを下げることができます。

「背下げの方法」には、「セーフティハンドスイッチを使用する方法」と、セーフティハンドスイッチを使用しないで「手動での方法」の2つがあります。

Point

- セーフティハンドスイッチ（SHS-135）【別売】をご用意いただくことで、急な停電で電源が確保できない緊急時でも、安全にベッドを操作することができます。



- セーフティハンドスイッチを使用するとベッドの背ボトム「下げ」以外にも、膝ボトム「上げ・下げ」操作、ベッドの高さ「下げ」操作をおこなうことができます。

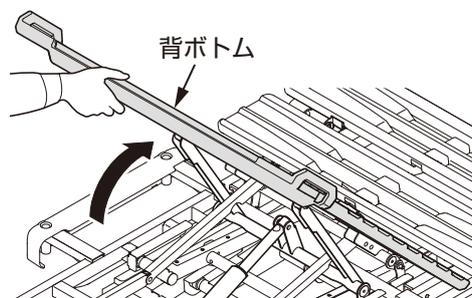
⚠ 注意

事故・破損・ケガの原因になります

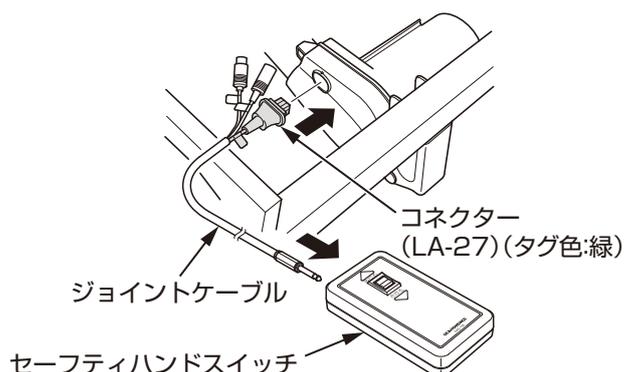
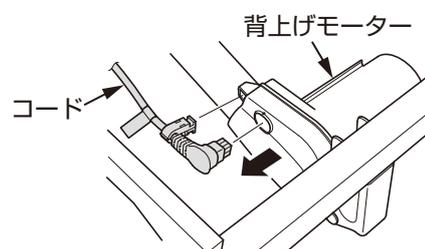
- ◆療養されている方・寝具をベッドから降ろして作業をおこなってください。
- ◆背ボトムを手で支えて作業をおこなってください。
- ◆電力が回復するまで、電源プラグはコンセントから抜いてください。
- ◆スピードピンを外す際は、ラジオペンチやプライヤーを使用してください。

セーフティハンドスイッチ（SHS-135）【別売】を使用する方法について

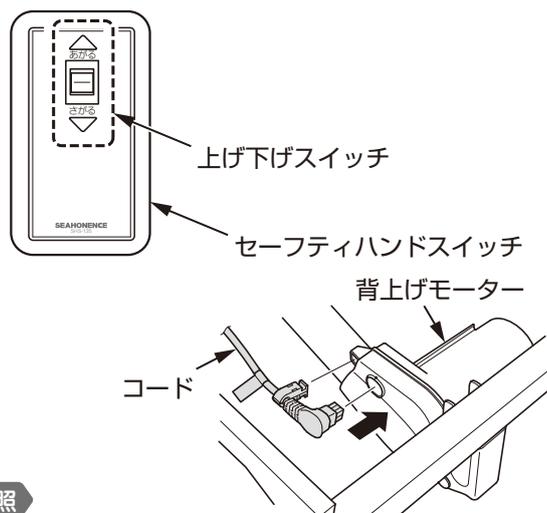
1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 作業をしやすくするため、ヘッドボードを取り外します。 **61 ページ 参照**
3. 背ボトムを持ち上げます。
4. 背上げモーターからコードを抜きます。



5. 背上げモーターにジョイントケーブルのコネクター（LA-27）（タグ色：緑）を接続します。
6. ジョイントケーブルをセーフティハンドスイッチに接続します。



7. セーフティハンドスイッチの上げ下げスイッチを操作して背ボトムを一番下まで下げます。



8. 背上げモーターからセーフティハンドスイッチのジョイントケーブルコネクタを抜き、手順4.で抜いたコードを接続します。

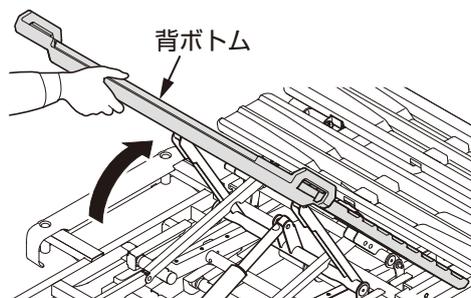
9. 背ボトムを手で支えながら降ろします。

10. ヘッドボードを取り付けます。▶ 42～43 ページ 参照

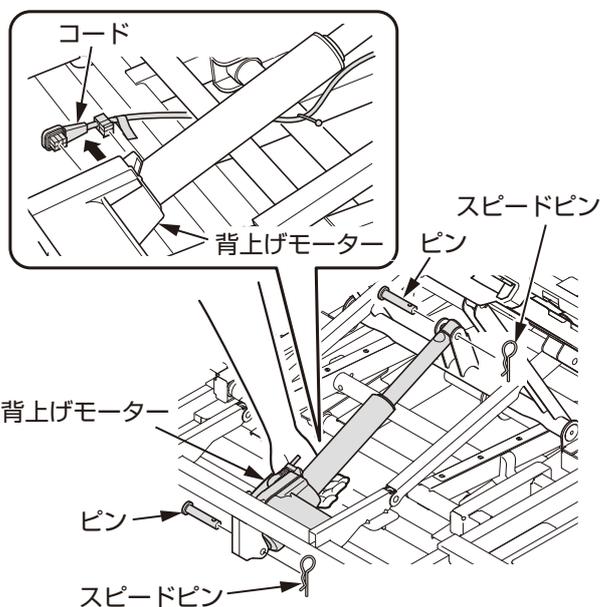
手動で行う方法について

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 作業をしやすくするため、ヘッドボードを取り外します。▶ 61 ページ 参照

3. 背ボトムを持ち上げます。



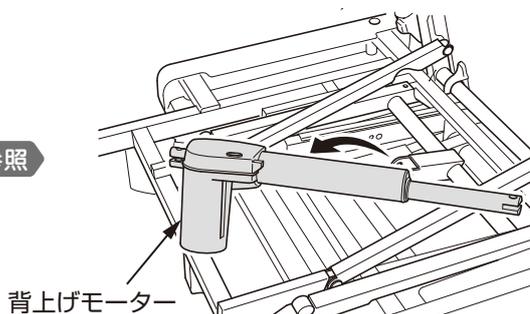
4. 背上げモーターからコード抜きます。
5. 背上げモーターの後端側のピンとスピードピンを取り外します。



Point

- 外した固定ピン、スピードピンは、背ボトムを元に戻す際に使用します。紛失しないように保管してください。

6. 背上げモーターを取り外し床に降ろします
7. 背ボトムを手で支えながら降ろします
8. ヘッドボードを取り付けます ▶ 42～43 ページ 参照



もどしかた

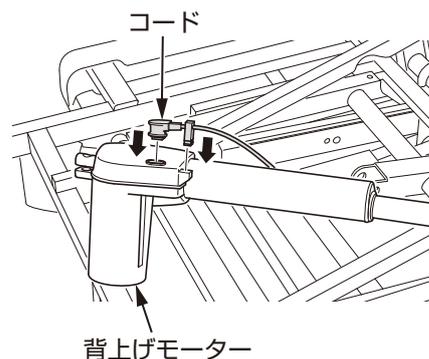
Point

- セーフティハンドスイッチ (SHS-135)【別売】を使用して背下げをおこなったときは、以下の作業は必要ありません。電力の回復が確認できたら、電源プラグをコンセントに差し込み使用を開始できます。

電力が回復したら以下の手順でベッドをもとの状態に戻してください。

1. 作業をしやすくするため、ヘッドボードを取り外します。
61 ページ 参照
2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
3. 背上げモーターに、背下げ作業時に抜いたコードを差し込みます。

手元スイッチの「あたま」の「マさがる」ボタンを押して背上げモーターのシャフトを最後まで引き込みます。

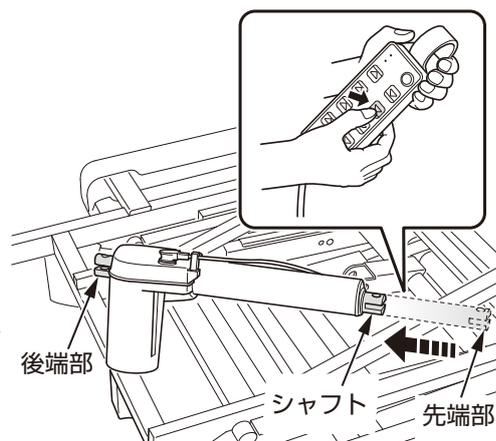


注意

事故・ケガの原因になります

- ◆操作が完了し次の作業をする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

5. 背ボトムを持ち上げます。
6. 背上げモーターを支えながら、後端部のピンを通し、スピードピンで固定します。
7. 背上げモーターの先端部のピンを通し、スピードピンで固定します。

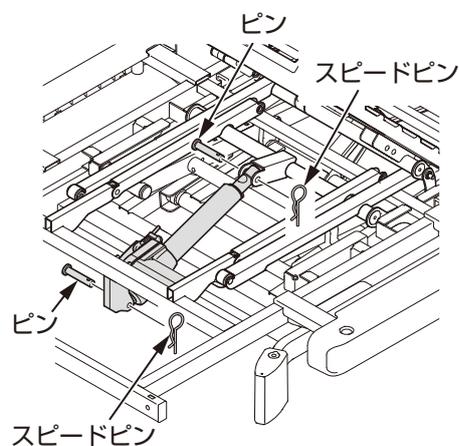


注意

事故・ケガの原因になります

- ◆ピンはスピードピンで確実に固定してください。

8. 背ボトムを手で支えながら降ろします。
9. ヘッドボードを取り付けます。**42 ~ 43 ページ 参照**



保管と移動

組み立てた状態で保管する場合

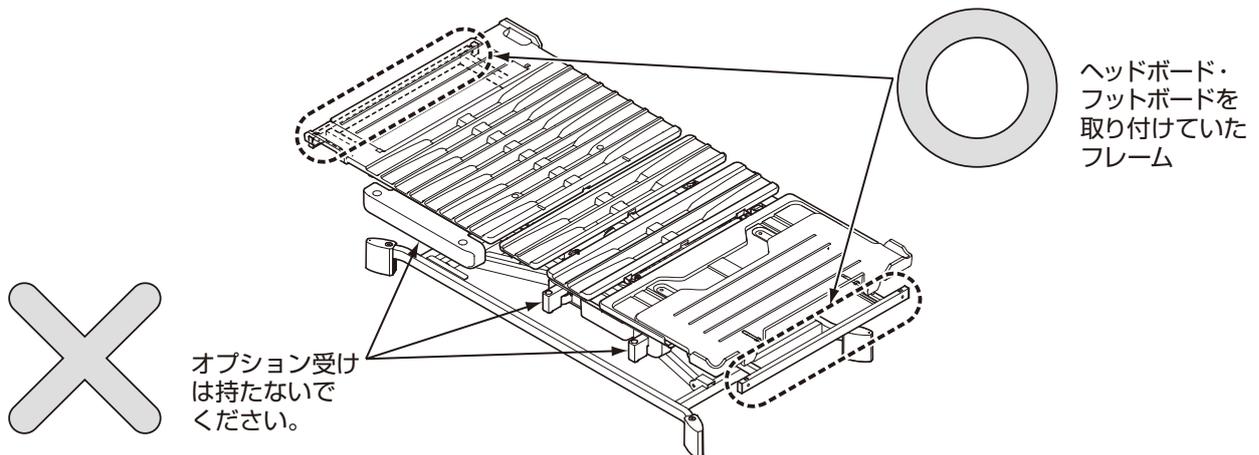
組み立てた状態で保管する場合

- ベッドの高さを最低位置まで下ろしてください。
- 背ボトム、膝ボトムを水平の位置まで下ろしてください。
- ベッドの上にはマットレス以外のものを乗せないでください。
- マットレスの上には何も乗せないでください。（マットレスの上に物を乗せたままにしますとマットレスが変形する場合がありますのでおやめください）
- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、電源コードは破損しないよう束ねてください。
- 立て掛けたり、横倒しにしないでください。
- 高温、多湿、ホコリの多い場所での保管は避けてください。
- 取扱説明書は大切に保管してください。
- お使いになる場合は、「組み立て後の点検」 **44 ページ** 参照 に従って点検してください。

組み立てた状態で移動する場合

組み立てた状態で移動する場合

- 背中、腰を痛めないように2人以上で運んでください。
- 療養されている方をベッドから降ろして、寝具、マットレス、ヘッドボード・フットボード、オプション（回転式アーム介助バー、サイドレールなど）は取り外してください。
- 移動の際は、フレームを両手でしっかり持つておこなってください。
- 危険ですのでヘッドボード・フットボード、オプション受けなどは持たないでください。



- 電源コード、手元スイッチは、移動の前に束ねてキズなどがつかないようにベッドに固定してください。

分解して保管または移動する場合

ベッドの分解は販売店、または弊社カスタマーサポート（有料）にご依頼されることをお勧めします。

お客様でベッドを分解される場合は、「分解」を参照してベッドを分解してください。 **61～71 ページ** 参照

使用を再開する場合は、「設置」を参照して組み立てた後に必ず点検してください。 **18～44 ページ** 参照

仕様

品名		電動在宅介護ベッド 和夢シリーズ “彩”		
品番		NX-1/ NX-2/ NX-B/ NX-H		
サイズ (幅)		90cm 幅		83cm 幅
タイプ (長さ)		ショート	レギュラー	ロング
寸法	a: 全幅	99.5cm		92.5cm
	b: 全長	196cm	206cm	220cm
	c: 脚座中心長さ	145cm		
	d: ボトム高さ	NX-1、NX-2、NX-H: 25 ~ 67.5cm (ゆかからボトム上面まで) NX-B: 25・29・33・37cm (組かえ式)		
	e: ヘッドボード高さ	39cm (ボトム上面からヘッドボード上面まで)		
	f: フットボード高さ	39cm (ボトム上面からフットボード上面まで)		
	ボトム幅	90cm	83cm	
	ボトム長さ	181cm	191cm	205cm
質量	NX-1	約 88.0kg		約 84.0kg
	NX-2 ^{※3}	約 87.5kg		約 83.5kg
	NX-B ^{※3}	約 86.5kg		約 82.5kg
	NX-H	約 77.5kg		約 73.5kg
モーター数	NX-1: 3モーター NX-2: 2モーター		NX-B: 背上げ 1モーター NX-H: ハイロー 1モーター	
操作	手元スイッチ、ボタン操作			
主な材質	ハイローベースユニット	スチール製・抗菌剤入り粉体焼付塗装仕上げ・		
	リアユニット	合成樹脂成形品・アルミダイカスト成形品		
	フロントユニット	塗装色: ディープブラウン		
	ボトムユニット	ポリプロピレン樹脂ブロー成形品・鋼板		
	ヘッド・フットボード	ポリプロピレン樹脂ブロー成形品・高級木目シート貼り・鋼板		
最大利用者体重	138kg			
安全動作荷重	174kg (1700N) ^{※1}			
最大マットレス厚	17cm ^{※2}			
背上げ	傾斜角度	NX-1、NX-2、NX-B: 背ボトム: 0 ~ 70度		
	昇降時間	約 27秒		
膝上げ	傾斜角度	NX-1: 0 ~ 30度 / NX-2、NX-B: 0 ~ 20度		
	昇降時間	NX-1: 約 15秒 / NX-2、NX-B: 背上げと連動		
高さ調節	昇降距離	NX-1、NX-2、NX-H: 42.5cm / NX-B: 4cm 間隔		
	昇降時間	NX-1、NX-2、NX-H: 約 30秒 / NX-B: 手動組かえ式		
動作保証条件	10 ~ 40℃ / 30 ~ 75%RH			
モーター形式	リニアアクチュエータ (DC モーター)			
電源電圧、周波数	AC100V 50/60Hz			
消費電力 (無負荷)	背上げ: 約 40W 以下、膝上げ: 約 40W 以下、高さ調節: 約 80W 以下			
待機電力	約 10W 以下			
連続使用時間	約 2分 (間欠 18分)			
動作音	65dB 以下			

ベッド本体

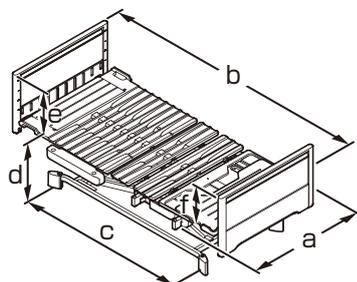
電装品

※1 最大利用者体重とマットレスやオプションを含めた重さ

※2 JIS に適合する最大マットレス厚

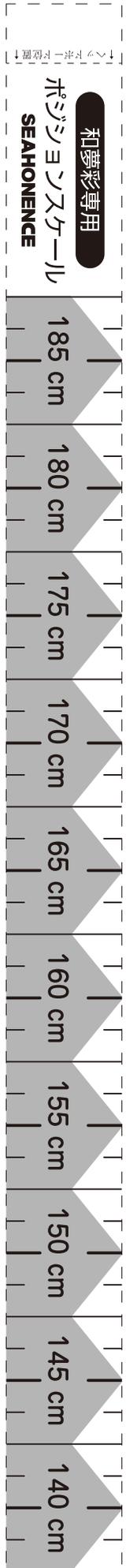
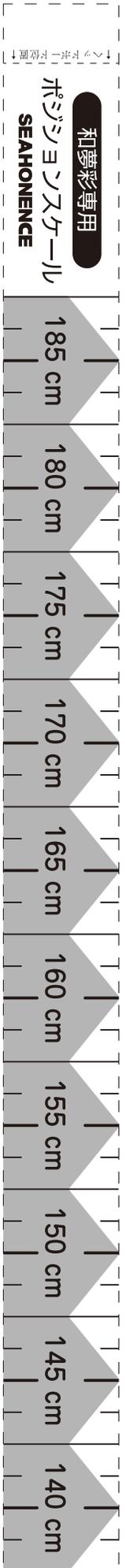
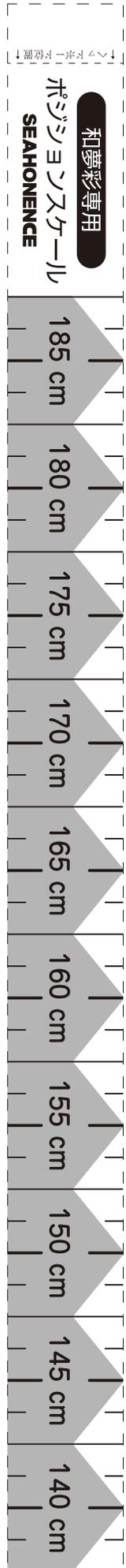
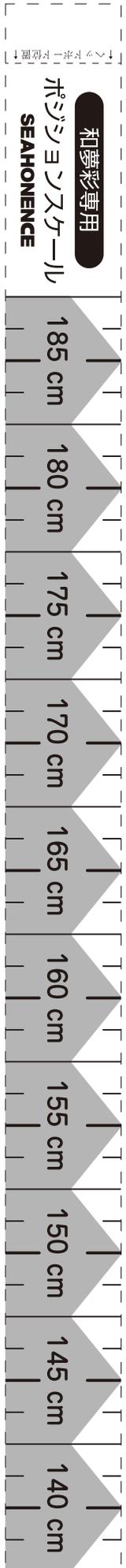
※3 背上げ連動モーション

■各部の寸法



※a~fの寸法は、上記表に記載しています。

	項目	箇所
a	全幅	最大外径寸法 (オプション受け収納時)
b	全長	最大外径寸法
c	脚座間の長さ	脚座の中心間長さ
d	ボトムの高さ	ゆか~ボトム間 (最低高さ~最高高さ)
e	ヘッドボード高さ	ボトム上面~ヘッドボード上端
f	フットボード高さ	ボトム上面~フットボード上端



このページをコピーして「ポジションスケール」を使用してください。

17 ページ 参照

保証とアフターサービス

修理を依頼される時

故障した際は、お買い上げ販売店もしくは弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 品名、品番 ●故障・異常の内容(できるだけ詳しく) ●お買い上げ日 ●お名前、ご住所、電話番号

■修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、今一度この取扱説明書をよくお読みください。それでも異常のある場合は、お買い上げ販売店もしくは弊社カスタマーサポートにご相談ください。

■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは、下記の保証書をご覧ください。

アフターサービスについてご不明な点

お買い上げの販売店もしくは弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

保証書

このベッドには保証書を添付しています。「販売店・購入日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

保証書

品名/品番	電動在宅介護ベッド 和夢シリーズ“彩” NX-1・NX-2・NX-B・NX-H	保証期間	お買い上げより1年間
お客様	お名前	販売店	お買い上げ日 年 月 日
	〒		販売店名
	住所		住所
	TEL		TEL

1.1年間の保証期間に取扱説明書に従った正常な使用状況で故障した場合には、無償修理致します。

2.保証期間内でも次の場合は有償になります。

- ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および破損がある場合。
- ②お買い上げ後の落下による故障および破損。
- ③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧による故障および破損。
- ④本書の提示がない場合。
- ⑤本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

3.本書は国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

4.本書は再発行いたしませんので紛失しないようご注意ください。

※販売店さまへのお願い… お買い上げ日および貴店名、住所、電話番号を記入、捺印したうえでお客様にお渡しください。

修理、お取り扱い・お手入れなどのご相談は、
まずお買い上げの販売店、レンタル取次店へお申し付けください。

10月1日は 福祉用具の日

カスタマーサポートお問い合わせ窓口 ●●● FreeCall ^{無 料} ^{ツーフ} 0120-20-1001



シーホネンス株式会社

札幌/仙台/東京/神奈川/静岡/名古屋/大阪/高松/広島/九州/南九州/宮崎/沖縄

本 社 / 〒537-0001 大阪市東成区深江北3-10-17
TEL(06)6973-3471 FAX(06)6973-3440

医療・介護ベッドの最新情報は、シーホネンス・ホームページをご覧ください。 www.seahonence.co.jp